

2022年度 事業報告書

公益財団法人 武田科学振興財団

本年度は新型コロナウイルスの感染防止に努めつつ、行事開催等は、ほぼコロナ以前の状態に戻した。その結果、全体予算の94.6%を遂行した。

1. 科学技術に関する研究機関および研究者に対する研究助成（研究助成）

- (1) 武田報彰医学研究助成は、財団の理事・評議員等から推薦された、大学、研究機関の研究室立上げ3年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究に対して、1件3,000万円10件 計3億円を贈呈した。
- (2) ハイリスク新興感染症研究助成は、満55歳未満の研究者を対象に公募を行い、人類にとって脅威となりうるハイリスク新興感染症の対策に必要な基礎研究、臨床研究、疫学・社会医学的研究等の多様な研究に対して、1件1,000万円10件 計1億円を贈呈した。
- (3) 生命科学研究助成は、満55歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究に対して、1件1,000万円30件 計3億円を贈呈した。
- (4) 医学系研究助成は、医学系の満45歳未満の研究者を対象に公募を行い、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1件200万円242件 計4億8,400万円を贈呈した。[がん領域（基礎・臨床）67件、精神・神経・脳領域50件、感染領域23件、基礎66件、臨床36件]
継続助成は、本研究助成の2019年度および2020年度被助成者を対象に公募を行い、1件300万円29件 計8,700万円を贈呈した。[がん領域（基礎・臨床）4件、精神・神経・脳領域8件、感染領域2件、基礎10件、臨床5件]
- (5) 薬学系研究助成は、薬学系の満45歳未満の研究者を対象に公募を行い、薬学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1件200万円40件 計8,000万円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の 2019 年度および 2020 年度被助成者を対象に公募を行い、1 件 300 万円 5 件 計 1,500 万円を贈呈した。

- (6) ライフサイエンス研究助成は、医学・歯学・薬学系を除く大学・学部や研究機関、高等専門学校に所属する満 45 歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究に対して、1 件 200 万円 41 件 計 8,200 万円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の 2019 年度および 2020 年度被助成者を対象に公募を行い、1 件 300 万円 5 件 計 1,500 万円を贈呈した。

- (7) 特定研究助成は、研究機関を対象に公募を行い、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む、研究機関内の複数の部署・研究室における共同研究に対して、1 件 3,300 万円～5,000 万円 12 件 計 5 億円を贈呈した。

- (8) ビジヨナリーリサーチ助成（スタート）は、我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する、将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究を対象に公募を行い、1 件 200 万円 31 件 計 6,200 万円を贈呈した。

継続助成（ホップ）は、2019 年度および 2020 年度（スタート）被助成者を対象に公募を行い、1 件 500 万円 10 件 計 5,000 万円を贈呈した。

継続助成（ステップ）は、2019 年度および 2020 年度（ホップ）被助成者を対象に公募を行い、1 件 1,000 万円 6 件 計 6,000 万円を贈呈した。

継続助成（ジャンプ）は、2019 年度および 2020 年度（ステップ）被助成者を対象に公募を行ったが、採択なしであった。

- (9) 中学校・高等学校理科教育振興助成は、国内の中学校・高等学校（高等専門学校を除く）およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に公募を行い、中学校および高等学校の理科教育に貢献する研究または実践に対して、1 件 30 万円 70 件 計 2,100 万円を贈呈した。（中学校 19 件、高等学校 51 件）

- (10) 杏雨書屋研究助成は、日本在住の研究者を対象に公募を行い、杏雨書屋所蔵の資料に関わる研究に対して、1 件 50 万円～100 万円 6 件 計 470 万円を贈呈した。

以上、研究助成の贈呈金総額は 21 億 6,070 万円（対前年度実績比 1 億 2,070 万円減）となった。

2. 研究者および学生に対する奨学助成（奨学助成）

(1) 外国人留学研究者に対する助成（外国人留学助成）

日本において医学・薬学などの医療分野で研究する外国人留学研究者に対する留学助成を行った。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度まで来日できなかった留学生の大半が来日した。7 指定国より 86 名、その他の国より 13 名、計 99 名に留学助成を行った。2021 年度までに開始済みの留学生の継続分を含めて留学助成金として総額 1 億 4,060 万円を支給した。

なお、1964 年に本事業を開始して以来、2023 年 3 月末までに助成した外国人留学研究者の総数は 47 カ国から 1,851 名となった。

本年度に留学助成を行った来日留学研究者数は、次の通りである。

〈2023年3月31日現在〉

| 国 別 | 2022年度 計画 (人数) | 2022年度 承認 (人数) | 実 績 (人数) | | | | 備 考 |
|---------|----------------------|----------------------|----------|-----------|-----------|----|--------------|
| | | | 本年度 | 前年度 繰越 | 次年度 繰上 | 計 | |
| 台 湾 | 3 | 2 | 1 | 5 | | 6 | 1名次年度繰越 |
| タ イ | 6 | 6 | 5 | 15 | | 20 | 1名次年度繰越 |
| フィリピン | 6 | 6 | 6 | 12 | | 18 | |
| 韓 国 | 3 | 1 | 0 | 4 | | 4 | 1名次年度繰越 |
| 中 国 | 8 | 8 | 6 | 14 | | 20 | 2名次年度繰越 |
| インドネシア | 6 | 2 | 2 | 10 | | 12 | |
| ベトナム | 3 | 3 | 2 | 4 | | 6 | 1名次年度繰越 |
| 7カ国 小計 | 35 | 28 | 22 | 64 | | 86 | |
| 上記7カ国以外 | 10 | 7 | 5 | 8 | | 13 | 1名次年度繰越、1名辞退 |
| 総 計 | 45 | 35 | 27 | 72 | | 99 | |

本年度は、インドネシアおよび韓国で留学助成事業が、それぞれ 40 周年および 50 周年に当たり次のとおり記念事業を行った。

インドネシア 40 周年記念事業 2023 年 2 月 19 日（日）ジャカルタ

韓国 50 周年記念事業 2023 年 3 月 16 日（木）ソウル

(2) 医学部博士課程入学者に対する助成（医学部博士課程奨学助成）

医学部医学科卒業見込学生および医学部医学科卒業者で国内の指定 7 大学（北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学）の

医学（系）研究科博士課程基礎医学系への入学者（各大学 2 名、計 14 名）に対し、奨学金（年間 360 万円、最大 4 年間）の支給を行う事業を実施しているが、2022 年度は北海道大学からの推薦者が 1 名だったため、残り 1 名の枠を過去 5 年間の推薦者が最も多かった京都大学に割り当てた。

2019 年度から 2021 年度の奨学助成者 40 名と合わせて計 54 名に、総額 1 億 9,260 万円を奨学助成した。

なお、2022 年 5 月 26 日（木）に 2022 年度医学部博士課程奨学助成認定式および医学部博士課程奨学助成 10 周年記念式典を開催した。

医学部博士課程奨学助成で、博士号取得者が累計で 72 名となり、そのうち 48 名が取得後も基礎研究機関に所属した。

(3) 海外研究留学生に対する助成（海外研究留学助成）

2019 年度より若手医師でかつ博士号保持者または博士課程在籍者を対象とした海外研究留学助成事業を行っている。本年度は、2019 年度留学生 8 名、2020 年度留学生 9 名、2021 年度留学生 10 名と合わせて、計 37 名に渡航費込みで総額 1 億 5,832 万円を助成した。

また、2023 年度の海外研究留学生について公募を行い、選考の結果、10 名を決定した。2023 年 2 月 13 日（月）に 2023 年度海外研究留学助成認定式を開催した。

海外研究留学助成の累計採択者は 50 名となった。

3. 我が国の医学界における優れた研究者に対する褒賞（武田医学賞）

医学界において顕著な業績を挙げた研究者として、財団の理事・評議員等から推薦された 20 名の候補者について、9 名の選考委員による慎重かつ公正な選考の結果、3 名（下記参照）の褒賞を決定した。受賞者には、2022 年 11 月 14 日（月）開催の贈呈式において、武田医学賞（賞状、賞牌、楯）および副賞（1 件 2,000 万円）をそれぞれ贈呈した。

畠山 昌則 博士

受賞時職名：微生物化学研究所 特任部長

研究題目：バクテリア由来分子による発がんシグナル伝達系に関する研究

岡部 繁男 博士

受賞時職名：東京大学 教授

研究題目 : イメージングによる神経回路動態の解明

竹田 潔 博士

受賞時職名 : 大阪大学 教授

研究題目 : 腸管恒常性を維持する分子基盤の解明

4. 科学技術の時流に合ったテーマによる国際シンポジウムの開催 (国際シンポジウム)

本年度は下記 第 21 回 武田科学振興財団 生命科学シンポジウムを開催した。

テ ー マ : “Towards Understanding Human Development and Evolution”

「ヒト発生と進化の理解に向けて」

組織委員長 : 斎藤 通紀 (京都大学 教授)

組織委員 : 後藤 由季子 (東京大学 教授)

柊 卓志 (欧州分子生物学研究所 グループリーダー)

講 演 : 18 名 (国内 7 名、海外 11 名)

ポスター発表 (82 件)

会 期 : 2023 年 1 月 27 日 (金) ~ 28 日 (土)

場 所 : 大阪国際会議場 (大阪市中之島)

参 加 者 : 194 名

ポスター褒賞 : シンポジウムに応募したポスター発表者を対象に、選考委員会で決定し、褒賞金として 1 件 50 万円 5 件 計 250 万円を贈呈した。

5. 科学技術の振興に関する出版物の発刊 (本草医書発刊)

杏雨書屋機関誌『杏雨』25 号を 2022 年 8 月に発刊した。

また、2023 年 2 月に『積砂版大蔵経目録』第十一冊を発刊した。

6. 東洋医書その他図書資料の保管、整理、収集および公開 (本草医書公開)

(1) 保管・管理

写真撮影 87,560 枚、複写製本 556 冊、補修 289 点を行った。

(2) 公開

閲覧者は 110 名 (閲覧図書 900 部、2,650 冊)、複写依頼は 55 名 (複写部数 214 部、9,083 枚)、展示室見学者は 4,151 名 (特別展示会を含む) であった。各項目ともに新型コロナウイルス感染症流行前のレベルに回復した。

<常設展示会>

4月から「流行り病を乗り越えて」をテーマとした展示に全面模様替えして開催した。(見学者4,151名)

<特別展示会>

(i) 春季：4月18日(月)～6月30日(木)(4月23日(土)を除く土日祝は閉館)に「天保の本草学—緒鞭会に見る学びのかたち—」をテーマに開催した。(見学者：316名)

(ii) 秋季：10月24日(月)～11月4日(金)(11月3日(祝)を除く)に「杏雨書屋の宗教文献—『敦煌秘笈』『磧砂版大藏経目録』とその周辺—」をテーマに開催した。(見学者：1,386名)

(3) 研究講演会

① 第45回研究講演会

日時：2022年4月23日(土)13:00～15:20

場所：武田科学振興財団 5階

演題：「富山藩主 前田利保公の学び—本草・緒鞭会を通して—」

演者：兼子 心氏 (富山市売薬資料館 学芸員)

演題：「交差する学芸—緒鞭会の本草と園芸—」

演者：平野 恵氏 (台東区立中央図書館 郷土・資料調査室 専門員)

② 第46回研究講演会

日時：2022年10月29日(土)13:00～15:20

場所：武田科学振興財団 5階

演題：「敦煌秘笈コレクションにみられる旧蔵印」

演者：岩本篤志氏 (立正大学文学部准教授)

演題：「保存と展観を目的としたデジタルアーカイブ—大谷文書の保存・修復・記録の事例報告—」

演者：岡田至弘氏 (龍谷大学名誉教授)

(4) 稀覯本購入

温疫論刊誤 卷四 1点

和智・新妻文庫 263点

延寿院家丸散方・山科家丸散方 二卷 1点

栗園臚稿 1点

浅田宗伯伝記（付随資料1冊2枚） 1点
当流酬医頓得 1点
恵徳方 卷三上 1点
神農像刀劍柄頭1組 1点
ライッセ「大画法書」（蘭語版）1740年 1点
傷寒論拆義・皇朝医叢統篇 各1点
刀暇録 1点
神農本経記聞 1点
曲直瀬玄鑑書状 1点
曲直瀬玄淵書状 1点
小野蘭山書状 1点
福井恒斎書幅 1点
本草関係写本32冊一括 1点
中野康章資料1箱一括 1点
医心方 1点
ゴルテル「新精選外科学」（蘭訳・第3版）1762年 1点
格致餘論鈔 1点
升汞丹製法秘伝 1点
浅田宗伯書幅 2点
神農図 1点
三好退蔵書簡卷 1点
司馬凌海書幅 1点
白澤図 1点
ウィンスロウ「人体構造の記述解剖学」（初版）1732年、パリ刊 1点

以 上

事業報告附属明細書

別表(1) 2022年度研究助成事業概要

別表(2) 2022年度来日外国人留学研究者(国別人数)

別表(3) 2022年度外国人留学研究者明細

別表(4) 国別外国人留学研究者数累計

別表(5) 2022年度医学部博士課程奨学助成者明細

別表(6) 2022年度海外研究留学者明細

別表(7) 第21回生命科学シンポジウムポスター褒賞受賞者明細

2022年度 研究助成 概要

武田報彰医学研究助成

大学、研究機関の研究室立上げ3年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究へ助成
(1件3,000万円 10件)

ハイリスク新興感染症研究助成

人類にとって新たにパンデミックの脅威となりうる感染症の対策に必要な基礎研究、臨床研究、疫学・社会医学的研究等の多様な研究への助成
(1件1,000万円 10件)

生命科学研究助成

満55歳未満の研究者を対象に、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究へ助成
(1件1,000万円 30件)

医学系研究助成

満45歳未満の医学系研究者を対象に、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究へ助成
(1件200万円 242件)

医学系研究継続助成

2019年度および2020年度の医学系研究助成対象者で、卓越した研究へ継続助成 (1件300万円 29件)

薬学系研究助成

満45歳未満の薬学系研究者を対象に、薬学分野の進歩・発展に貢献する独創的かつ先駆的な研究へ助成
(1件200万円 40件)

薬学系研究継続助成

2019年度および2020年度の薬学系研究助成対象者で、卓越した研究へ継続助成 (1件300万円 5件)

ライフサイエンス研究助成

生命科学分野(医学・歯学・薬学を除く)の満45歳未満の研究者を対象に、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究へ助成
(1件200万円 41件)

ライフサイエンス研究継続助成

2019年度および2020年度のライフサイエンス研究助成対象者で、卓越した研究へ継続助成
(1件300万円 5件)

特定研究助成

研究機関を対象に、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む、研究機関内の複数の部署・研究室における共同研究へ助成
(1件3,300~5,000万円 12件)

ビジョナリーリサーチ助成(スタート)

我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する、将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究へ助成
(1件200万円 31件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)

2019年度および2020年度のビジョナリーリサーチ助成(スタート)対象者で、卓越した研究へ継続助成
(1件500万円 10件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)

2019年度および2020年度のビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)対象者で卓越した研究へ継続助成
(1件1,000万円 6件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ジャンプ)

2019年度および2020年度のビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)対象者で卓越した研究へ継続助成
(採択なし)

中学校・高等学校理科教育振興助成

国内の中学校・高等学校(高等専門学校を除く)およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に、中学校・高等学校の理科教育に貢献する研究または実践へ助成
(1件30万円 70件)

杏雨書屋研究助成

日本在住の研究者を対象に杏雨書屋所蔵の資料に関わる研究へ助成
(1件50~100万円 6件)

2022 年度 贈呈対象者一覧

贈呈対象者は五十音順に記載しています（敬称略）
所属機関・職位は応募時のものです

武田報彰医学研究助成

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|--|-------------|--|
| 伊勢 涉 | 大阪大学 感染症総合教育研究拠点 感染症・生体防御研究部門生体 応答学チーム | 教授 | 変異ウイルスに対応可能な液性免疫応答の誘導機序と ヒト免疫システムの研究 |
| 今井 正樹 | 国立国際医療研究センター研究所 国際ウイルス感染症研究センター 呼吸器系ウイルス感染症研究部 | 部長 | 疾患モデル動物を用いた新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の重症化メカニズムの解明 |
| 金川 基 | 愛媛大学 大学院医学系研究科 医化学・細胞生物学講座 | 教授 | リピトールリン酸修飾のメカニズム解明と筋ジストロ フィー治療法開発 |
| 木村 元子 | 千葉大学 大学院医学研究院 実験免疫学 | 教授 | T 細胞の自己認識を起点とした組織特異的な恒常性維 持機構の解明と疾患制御 |
| 鈴木 啓道 | 国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 | 分野長 | 包括的 RNA プロファイリングによる U1 snRNA 変異 型髄芽腫の病態解明と治療標的の同定 |
| 瀬川 勝盛 | 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 医化学分野 | 教授 | 細胞膜脂質の非対称性分布の分子機構とその生理作用 |
| 谷口 浩二 | 北海道大学 大学院医学研究院 分子病理学教室 | 教授 | 炎症記憶の分子基盤の解明と治療応用 |
| 寺尾 知可史 | 理化学研究所 生命医科学研究センター ゲノム解析応用研究チーム | チーム リーダー | 体細胞モザイク地図による老化と癌化の基盤解明 |
| 南後 恵理子 | 東北大学 多元物質科学研究所 量子ビーム構造生物化学研究分野 | 教授 | 細胞膜受容体の活性化機構に関する分子動画解析 |
| 深井 周也 | 京都大学 大学院理学研究科 化学専攻 | 教授 | てんかん関連リガンド受容体複合体 LGI1-ADAM22 を軸とする分子シグナルの構造生命科学 |

計 10 件

ハイリスク新興感染症研究助成

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-----------------|--|-------|--|
| 浦田 秀造 | 長崎大学 感染症共同研究拠点 人材育成部門 浦田研究室 | 准教授 | ルシオウイルス感染症克服に向けた基礎及び応用研究 |
| 菅野 敏生 | かずさ DNA 研究所 先端研究開発部 オミックス医科学研究室 | 特別研究員 | 「免疫-脂質代謝-ウイルス」を基軸とした生体にと って一石二鳥となる抗ウイルス免疫応答の新規制御 法開発 |
| 小林 郷介 | 東京都医学総合研究所 疾患制御研究分野 ウイルス感染プロジェクト | 主席研究員 | 新興エンテロウイルス感染症の重症化に関わる宿主因 子の解析 |
| 佐藤 光 | 東北大学 大学院医学系研究科 感染分子病態解析学分野 | 助教 | 酸化鉄ナノ粒子を用いた新規 COVID-19 ワクチンの開 発 |
| 鈴木 理滋 | 北海道大学 医学研究院 病原微生物学教室 | 助教 | 今後出現する新興コロナウイルスを見据えた研究基盤 の構築 |
| 立石 善隆 | 新潟大学 医学部 医学科 細菌学 | 准教授 | 肺非結核性抗酸菌症に対する新規治療法開発を促進す るための治療標的体内検証システムの構築 |
| Toma Claudia | 琉球大学 大学院医学研究科 細菌学講座 | 准教授 | 人獣共通病原菌レプトスピラの皮膚突破戦略の解明： 早期診断と予防への応用 |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|---------------------|--|-----------------------|--|
| Parrish Nicholas | 理化学研究所 生命医科学研究センター ゲノム免疫生物学理研白眉研究 チーム | 理研白眉研究 チーム リーダー | 新興再興ボルナウイルスの神経病原性を抑制する新たな抗ウイルス免疫機構 |
| 山口 哲央 | 東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座 | 講師 | Hollow-Fiber Infection Model (HFIM) を用いた侵襲性 CA-MRSA 感染症に対する新規治療戦略の検討 |
| 梁 明秀 | 横浜市立大学 大学院医学研究科 微生物学・分子生体防御学 | 教授 | Long COVID 克服のための自己抗体シグネチャーの統合的理解とその応用 |

計 10 件

生命科学研究助成

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|---|-----------------|---|
| 秋山 修志 | 自然科学研究機構 分子科学研究所 協奏分子システム研究センター 階層分子システム解析研究部門 | 教授 | 概日時計タンパク質 KaiC における構造多型の操作と解析 |
| 五十里 彰 | 岐阜薬科大学 生命薬学大講座 生化学研究室 | 教授 | がん微小環境の形成における細胞間タイト結合分子クロードインの役割解明と治療シーズの創出 |
| 井上 詞貴 | 京都大学 高等研究院ヒト生物学高等研究 拠点 bourque グループ | 特定准教授 | 大規模並列レポーターアッセイによるヒト特性と非コードゲノム進化の解明 |
| 上山 健彦 | 神戸大学 バイオシグナル総合研究センター 分子薬理研究分野 | 教授 | 感覚受容（聴覚・視覚）の偏りに起因する脳機能【左右差】の解明及び感覚のクロスモーダル現象における ROS の役割解明 |
| 大崎 雄樹 | 札幌医科大学 医学部 解剖学第一講座 | 教授 | 脂肪滴による核内蛋白質機能制御機構の解明 |
| 大嶋 篤典 | 名古屋大学 細胞生理学研究センター 細胞生理学研究部門 | 教授 | 膜脂質存在下の膜タンパク質の構造創薬研究 |
| 大庭 伸介 | 長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 細胞生物学分野 | 教授 | ヒト多能性幹細胞による軟骨内骨化再現系を用いたヒト骨格幹細胞の再定義 |
| 大森 義裕 | 長浜バイオ大学 大学院バイオサイエンス研究科 ゲノム機能科学研究室 | 教授 | シングルセルオミクス解析による脊椎動物の網膜神経における全ゲノム重複後の視覚機能進化と網膜変性発症機構の解明 |
| 金井 隆太 | 東京大学 定量生命科学研究所 膜蛋白質解析研究分野 | 特任助教 | Na ⁺ ,K ⁺ -ATPase の能動輸送と神経変性疾患における生体膜の役割の構造生物学的研究 |
| 河原 行郎 | 大阪大学 大学院医学系研究科 神経遺伝子学 | 教授 | 内在 2 本鎖 RNA の自己化に不可欠なイノシン化修飾機構の解明 |
| 北原 亮 | 立命館大学 薬学部 創薬科学科 生体分子構造学研究室 | 教授 | 圧力軸から観るタンパク質の液液相分離と創薬展開 |
| 金 尚宏 | 名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子 研究所 動物統合生理学研究室 | 特任講師 (Co-PI) | ミトコンドリア Ca ²⁺ から紐解くカルシウムクロックの振動原理の解明 |
| 酒井 真志人 | 日本医科大学 大学院医学研究科 分子遺伝医学分野 | 教授 | 組織マクロファージの定数維持機構の解明 |
| 坂本 浩隆 | 岡山大学 理学部附属臨海実験所 | 准教授 | 扁形動物“原始脳”の単一細胞トランスクリプトーム解析からひもとく神経内分泌系の進化とその原型 |
| 佐藤 卓 | 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 生体防御学分野 | 准教授 | がんの化学療法耐性を規定するエピゲノム変容の解明 |
| 島村 達郎 | 京都大学 医学研究科 分子生体統御学講座 分子細胞情報学分野 | 特定講師 | GPCR のシグナル選択性を決定する機構の解明 |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------------|---|--------------|--|
| 高田 龍平 | 東京大学 医学部附属病院 薬剤部 | 講師/ 第一副部長 | 水溶性抗酸化物質の全身動態制御機構の統合的理解 |
| 高橋 朋子 | 埼玉大学 大学院理工学研究科 生命科学部門 分子生物学領域 | 助教 | ウイルス感染細胞の運命を決定する小分子 RNA による抗ウイルス生体防御機構 |
| 田口 友彦 | 東北大学 大学院生命科学研究科 細胞小器官疾患学 | 教授 | リサイクリングエンドソームが制御する新規膜タンパク質分解経路の分子基盤の解明 |
| 棚谷 綾 | お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系 | 教授 | 新たな医療応用を志向した非セコステロイド型ビタミンD誘導体の創製 |
| 千原 崇裕 | 広島大学 大学院統合生命科学研究科 | 教授 | 個体老化を制御する嗅覚神経回路の同定と分子メカニズムの解明 |
| 西浜 竜一 | 東京理科大学 理工学部 応用生物科学科 | 教授 | Raf 様キナーゼによる新規光合成シグナル伝達機構の研究 |
| 野島 孝之 | 九州大学 生体防御医学研究所 腫瘍防御学 | 准教授 | 非コード RNA 機能を調節する転写終結機構の解明 |
| 野村 真 | 京都府立医科大学 大学院医学研究科 神経発生生物学 | 准教授 | 哺乳類特異的な皮質間投射神経回路の進化に寄与した転写制御メカニズムの解明 |
| 松尾 直毅 | 九州大学 大学院理学研究院 行動神経科学研究室 | 教授 | 恐怖記憶の永続的な消去法の確立と神経基盤の解析 |
| 宮崎 雅雄 | 岩手大学 農学部 生化学研究室 | 教授 | ネコのマタタピ反応の種差と個体差を生み出す遺伝子同定 |
| 山内 淳司 | 東京薬科大学 生命科学部分子生命科学科 分子神経科学研究室 | 教授 | 発生期における髄鞘化制御の統合的理解を基軸にした末梢神経再生プログラムの惹起 |
| 山口 暢俊 | 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 花発生分子遺伝学研究室 | 助教 | エピゲノムダイナミクスから探る植物の高温応答機構の解明 |
| 齋 史幹 | 理化学研究所 開拓研究本部 Yoo 生理遺伝学研究室 | 主任研究員 | 腸恒常性維持の分子機構の解明 |
| ラウリーノ パオラ | 沖縄科学技術大学院大学 タンパク質工学・進化ユニット | 准教授 | 液滴を用いた酵素の動態と相乗効果の解明 |

計 30 件

医学系研究助成

<がん領域（基礎）>

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|---|-------|---|
| 青山 和正 | 東京大学 医科学研究所 幹細胞分子医学分野 | 特任助教 | ポリコム抑制複合体 2 機能低下型骨髄異形成症候群に対する新規治療標的分子の探索 |
| 浅田 騰 | 岡山大学病院 血液・腫瘍内科 | 研究准教授 | 末梢神経シグナル制御を介した移植後同種免疫調節による白血病治療法の開発 |
| 射場 智大 | 金沢大学 医薬保健研究域医学系 血管分子生理学 | 博士研究員 | 腫瘍血管周皮細胞と微小環境のクロストークを対象とした新規がん治療標的分子の探索 |
| 内原 脩貴 | 群馬大学 未来先端研究機構 内分泌代謝 シグナル学研究部門 柴田研究室 | 研究員 | DNA 損傷が誘導する非翻訳領域を介した新規ネオアンチゲン産生経路の解明 |
| 畝田 篤仁 | 国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 | 研究員 | シングルセルマルチオミクス解析による膠芽腫の時空間的進化機構の解明 |
| 梅村 康浩 | 京都府立医科大学 統合生理学 | 講師 | 腫瘍組織における概日時計破綻原理の解明 |
| 大場 崇旦 | 信州大学 医学部 外科学教室 乳腺内分泌外科学分野 | 助教 | 乳癌患者の免疫機構に化学療法剤が及ぼす効果の解析 - 最適な免疫チェックポイント阻害剤と化学療法の併用療法の構築を目指して - |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|---|--------------|---|
| 岡部 篤史 | 千葉大学 大学院医学研究院 分子腫瘍学 | 助教 | 余剰環状 DNA による転写制御破綻と胃癌進化の解明 |
| 奥村 和弘 | 千葉県がんセンター研究所 がんゲノムセンター 実験動物研究部 | 研究員 | 樹状細胞制御因子 PAK1 を標的としたがん免疫抑制解除の機構解明 |
| 尾松 芳樹 | 大阪大学 大学院生命機能研究科 幹細胞・免疫発生研究室 | 准教授 | 慢性骨髄性白血病における骨髄造血ニッチ変容の分子機構の解明 |
| 香川 慶輝 | 東北大学 大学院医学系研究科 器官解剖学分野 | 助教 | 多価不飽和脂肪酸による薬剤耐性膵がんの病態抑制機構の解明と臨床応用技術の開発 |
| 柏原 大朗 | 国立がん研究センター中央病院 放射線治療科 | 医員 | L 型アミノ酸トランスポーター1 を用いたホウ素中性子捕捉療法の治療効果予測のためのバイオマーカー開発研究 |
| 川上 正敬 | 東京大学 医学部附属病院 呼吸器内科 | 特任講師 | 癌細胞の過剰中心体収束の阻害による癌治療戦略の確立 |
| 桑野 由紀 | 徳島大学 大学院医歯薬学研究部 遺伝情報医学 | 講師 | 大腸がん悪性を左右する超保存領域のエピトランスクリプトーム調節機構 |
| 後藤 覚 | 東京大学 医科学研究所 RNA 医科学社会連携研究部門 | 特任講師 | 新規 RNA アプタマーを用いた腫瘍微小環境内 NK 細胞活性回復戦略 |
| 小林 祥久 | 国立がん研究センター研究所 分子病理分野 | 研究員 | 肺がん分子標的治療の耐性克服 |
| 米谷 達哉 | 国立がん研究センター研究所 がん細胞システム研究ユニット | 特任研究員 | ヒト iPSC 由来ヒト膵臓星細胞を応用したヒト膵がん細胞-ヒト星細胞間相互作用が膵がん進行に及ぼす影響の解析 |
| 清水 広介 | 浜松医科大学 光先端医学教育研究センター フォトンクス医学研究部 分子病態イメージング研究室 | 准教授 | 免疫チェックポイント阻害がん免疫療法の創成とがん治療効果の解明 |
| 白木原 琢哉 | 北里大学 医学部 生化学 | 講師 | FGFR2 活性化型スキルス胃癌の脂質代謝系に対するリン酸化制御機構の解析 |
| 城本 悠助 | 京都大学 医学研究科 分子遺伝学 | 特定助教 | 試験管内発がん系を用いた生殖細胞がんの発生機構の解明と治療法の探索 |
| 神力 悟 | 熊本大学 大学院生命科学研究部 臨床病態解析学講座 | 准教授 | 癌転移におけるメカノセレクション機構の解明 |
| 杉原 英志 | 藤田医科大学 研究支援推進本部 がん医療研究センター 遺伝子制御研究部門 | 准教授 | がん治療抵抗性をもたらす胚休眠の誘導メカニズムの解析 |
| 鈴鹿 淳 | がん研究会 NEXT-Ganken プログラム がん細胞多様性解明プロジェクト | 特任研究員 | がん細胞が潜在的に有する脱分化能を定量的に評価するための手法の開発 |
| 立和名 博昭 | がん研究会 がん研究所 がん生物部 | 研究員 | 乳がん細胞におけるヒストン脱アセチル化酵素阻害剤による転写抑制機構の解明 |
| 田中 伸之 | 慶應義塾大学 医学部 泌尿器科学教室 | 専任講師 | 尿路上皮癌におけるがん免疫療法の逃避機構と時空間シングルセル解析 |
| 田中 伯享 | 関西医科大学 附属生命医学研究所 がん生物学部門 | 助教 | KRAS 阻害剤ががんを取り巻く環境に与える変化に関する解析 |
| 丹下 正一郎 | 札幌医科大学 医学部附属フロンティア医学研究所 ゲノム医科学部門 | 助教 | 膵臓がん進展過程における高等霊長類特異的遺伝子の機能解明 |
| 辻 貴宏 | 名古屋大学 大学院医学研究科 分子細胞学 | 学振特別研究員 (PD) | 脳内免疫応答に着目した転移性脳腫瘍をターゲットとした治療開発 |
| 中岡 博史 | 佐々木研究所 附属佐々木研究所 腫瘍ゲノム研究部 | 部長 | 正常子宮内膜においてマイクロサテライト不安定性を誘導する etiologic field effect |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|---|------------|--|
| 西尾 太宏 | 京都大学 医学研究科 肝胆膵・移植外科 | 医員 | 肝癌微小環境における癌関連線維芽細胞を標的とした肝癌治療の探求 |
| 仁科 隆史 | 東邦大学 医学部 医学科 生化学講座 病態生化学分野 | 助教 | Interleukin-11 産生大腸線維芽細胞を介した大腸がん形成機構の解明 |
| 羽原 誠 | 山口大学 共同獣医学部 獣生化学 | 助教 (特命) | 医療ビッグデータから同定した新規乳がん予後不良因子の解析と治療法の開発 |
| 平林 茂樹 | 九州大学 大学院医学研究院 プレシジョン医療学分野 | 助教 | マルチオミクス解析による家族性骨髄系腫瘍の発症機序解明 |
| 福島 祐二 | 京都大学 医学研究科 免疫老化学共同研究講座 | 特定助教 | 免疫老化関連分子を活用した免疫監視機構の人為的強化 |
| 福村 和宏 | 藤田医科大学 総合医科学研究所 遺伝子発現機構学研究部門 | 講師 | mRNA スプライシング制御機構の破綻によって生じる抗がん剤耐獲得メカニズムの解明と治療戦略 |
| 増井 憲太 | 東京女子医科大学 医学部 病理学講座 (人体病理学・病態神経科学分野) | 准教授 | 環境応答性の遺伝子構造変化が悪性脳腫瘍の“癌幹細胞性”を誘導する |
| 松永 慎司 | 大阪市立大学 大学院医学研究科 分子病態薬理学 | 講師 | 低酸素誘導因子を介した自然免疫細胞活性制御による腫瘍抑制機序の解明 |
| 宮本 崇史 | 筑波大学 医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科 | 助教 | アルギニンコードに基づいたがん抑制メカニズムの理解と制御 |
| 村上 紘一 | 慶應義塾大学 医学部 血液内科 | 助教 | 単一細胞での遺伝子・細胞内蛋白質同時計測による急性骨髄性白血病の病態解明 |
| 村田 憲治 | 札幌医科大学 医学部 病理学第一講座 | 特任助教 | 腫瘍反応性 TCR をプローブとして用いた新たな肉腫抗原同定法の開発 |
| 山岸 良多 | 大阪市立大学 大学院医学研究科 病態生理学 | 助教 | 肝がん微小環境構成細胞のシングルセル RNA 解析データを用いた細胞間ネットワークの解明と治療標的分子の探索 |
| 山下 和成 | 順天堂大学 医学部 病理・腫瘍学講座 | 助教 | がん関連線維芽細胞の性質維持に必須な新規転写因子の機能解析 |
| 山田 大祐 | 岡山大学 学術研究院 医歯薬学域(医学系) 組織機能修復学分野 | 助教 | 増悪因子間の相互作用を標的とした革新的肉腫治療薬の開発 |
| 山田 直生 | 防衛医科大学校 生理学講座 | 助教 | グルタチオン除去能を有する光増感剤前駆体の開発と治療効果の評価 |
| 李 霞 | 物質・材料研究機構 機能性材料研究拠点 スマートポリマーグループ | 主任研究員 | ハウ素を含有する薬剤に基づく低免疫原性腫瘍へのがん免疫療法の開発 |

計 45 件

<がん領域（臨床）>

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------------------|---------------------------|--------------|--|
| 赤穂 宗一郎 | 岡山大学 消化器・肝臓内学 | 助教 | 発生源に基づいた膵癌の新規分類法の提唱 |
| 雨宮 健司 | 山梨県立中央病院 ゲノム解析センター/検査部 | 主任臨床 検査技師 | 超微量腫瘍細胞からでも可能な新たながん遺伝子パネル検査法の開発 -Whole genome amplification 法の細胞診検体への応用- |
| 石原 弘喜 | 東京女子医科大学 泌尿器科 | 助教 | マルチオミクス解析による後天性嚢胞腎随伴腎細胞癌 (ACD-RCC) の発癌・進展機序の解明 |
| 井上 裕介 | 浜松医科大学 臨床薬理学講座 | 助教 | 運命制御転写因子の相互排他的な発現メカニズムに立脚した小細胞肺がんの新規治療戦略の探索 |
| NGUYEN BICHTRAN | 筑波大学 医学医療系 血液内科 | 研究員 | 大腸がん転移における体細胞変異のある微小環境細胞の役割の解明 |
| 上原 慶一郎 | 神戸大学 医学部附属病院 病理診断科 | 助教 | 膵管腺癌における Maspin 発現と上皮性質との関連 |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|---|-------|--|
| 大野 敦司 | 広島大学 大学院医系科学研究科 消化器・代謝内科学 | 助教 | 肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ペバシズマブ治療の奏功性に関する癌微小環境およびそのサロゲートマーカーの研究 |
| 加藤 大悟 | 大阪大学 大学院医学系研究科 器官制御外科学泌尿器科 | 助教 | Off-the-shelf 遺伝子改変ネオアンチゲン特異的 T 細胞療法を目指した迅速ネオアンチゲン特異的 T 細胞受容体スクリーニング法の開発 |
| 木下 智成 | 立川病院 呼吸器外科 | 医長 | 極細径光ファイバースコープを用いた気管支鏡下生検システムの開発 |
| 熊谷 尚悟 | 国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫 TR 分野 | 特任研究員 | 肝胆道系腫瘍における免疫抑制機構に関する詳細検討 |
| 後藤 航 | 大阪市立大学 大学院医学研究科 乳腺・内分泌 外科 | 後期研究医 | 腫瘍免疫微小環境を標的とした脂質代謝コントロールによる新たな乳癌治療戦略 |
| 才田 聡 | 京都大学 小児科 | 助教 | シングルセル解析を用いた小児急性骨髄性白血病の新規治療戦略の基盤開発 |
| 千場 隆 | 熊本大学 国際先端医学研究機構 消化器がん生物学 | 客員講師 | がん幹細胞を標的とする核酸医薬を用いた新規治療戦略の開発 |
| 高根 希世子 | 東京大学 医科学研究所 臨床ゲノム腫瘍学分野 | 助教 | 腹膜偽粘液腫の治療標的遺伝子の同定 |
| 谷岡 真樹 | 岡山大学 医歯薬学域 医療 AI 人材育成プ ロジェクト | 准教授 | 卵巣癌に対するプラチナ含有化学療法の治療効果を勘案した有害事象関連因子の特定と発現予測モデル |
| 遠矢 嵩 | 東京都立駒込病院 血液内科 | 医員 | 遺伝子・染色体異常の包括的解析に基づいた難治性急性リンパ性白血病に対する同種造血幹細胞移植の最適化 |
| 戸島 剛男 | 九州大学病院 別府病院 外科 | 助教 | エンハンサーに着目した時・空間的シングルセル解析を用いた、癌細胞と間質細胞との共局在による悪性度獲得機構の解明と革新的治療標的の同定 |
| 戸田 雄 | 国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍科・リハビリテー ション科 | レジデント | 浸潤性軟部肉腫の術中における腫瘍浸潤の可視化について |
| 中島 良太 | 京都大学 医学部附属病院 放射線部 | 助教 | 放射線治療による好中球細胞外トラップ (NETs) を介したがん遠隔転移メカニズムの解明と予防法開発 |
| 春木 孝一郎 | 東京慈恵会医科大学 外科学講座 肝胆脾外科 | 助教 | 肝癌微小環境における腸内細菌の作用機序解明と革新的治療法開発 |
| 美馬 浩介 | 熊本大学病院 消化器癌先端治療開発学寄附講座 | 特任助教 | 血中マイクロバイオームを標的とした消化器癌の新規バイオマーカーと革新的治療法の開発 |
| 渡辺 隆太 | 愛媛大学 泌尿器科 | 医員 | Intraductal carcinoma of the prostate (IDCP) の病理学的特徴を持つ前立腺癌組織における遺伝子変異解析とプレシジョンメディスンへの応用 |

計 22 件

<精神・神経・脳領域>

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|--|-----------------------------|--|
| 阿部 欣史 | 慶應義塾大学 医学部 先端医科学研究所 脳科学研究部門 | 助教 | 遅発性ジスキネシアの細胞・分子基盤の解明 |
| 雨森 智子 | 京都大学 高等研究院 ヒト生物学高等研究 拠点 精神・神経生物学グループ | 日本学術 振興会 研究員 (RPD) | 不安の神経メカニズムの解明を目指した霊長類線条体ストリオソーム構造の可視化技術の確立 |
| 荒井 格 | 慶應義塾大学 医学部 生理学 | 助教 | シナプス辺縁部におけるナノカラム構造の分子及び機能の総合的解明 |
| 石川 享宏 | 東京都医学総合研究所 基盤技術支援センター | 主席研究員 | 霊長類で多様な表現型の可逆的表出を可能にする有機化学遺伝学の確立 |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|--|--|---|
| 伊藤 卓治 | 愛知医科大学 医学部 神経内科 | 客員研究員 (日本学術 振興会 特別研究員 RPD) | シングル RNA-seq による運動ニューロン疾患の新規 病態関連因子探索システムの構築 |
| 伊藤 日加瑠 | 香川大学 総合生命科学研究センター | 准教授 | 新規うつ病モデル雌マウスを用いた治療法探索 |
| 岩淵 千里 | 国立国際医療研究センター研究所 疾患ゲノム研究部 | 研究員 | 先天性小頭症に対する遺伝子治療に向けた新規候補遺 伝子の病態解析 |
| 植田 禎史 | 東京女子医科大学 医学部 | 准講師 | 視床シナプス改編を制御する抑制性機構の解明 |
| 臼井 紀好 | 大阪大学 大学院医学系研究科 神経細胞生 物学講座 | 准教授 | 薬物依存における新規依存形成メカニズムの解明 |
| 岡 史朗 | 山口大学 医学部 脳神経外科 | 講 師 | クモ膜下出血における glymphatic pathway 機能障害 の解明と新たな治療法の開発 |
| 上窪 裕二 | 順天堂大学 医学部 薬理学講座 | 准教授 | 膜タンパク質超複合体のハッキングによる神経細胞機 能の操作 |
| 河上 緒 | 順天堂大学 医学部大学院 精神医学講座 | 准教授 | 神経変性蛋白に着目した気分障害における神経病理学 的探索 |
| 吉川 貴子 | 東北大学 大学院医学系研究科 発生発達神経科学分野 | 助 教 | 胎生脳の mRNA 調節機構を基盤とした脆弱 X 症候群の 病態解明 |
| 久保田 晋平 | 北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子神経免疫学講座 | 特任講師 | 神経免疫連環機構の解明に資する全身全細胞解析技術 の構築 |
| 古賀 啓祐 | 兵庫医科大学 医学部 生理学 神経生理部門 | 助 教 | 前帯状皮質を介する新しい疼痛制御回路の役割解明 |
| 越山 太輔 | 東京大学 大学院医学系研究科 精神医学分野 | 助 教 | 統合失調症の神経生理学的異常所見と大脳白質構造異 常との関連解析 |
| 後藤 明弘 | 京都大学 大学院医学研究科 システム神経 薬理 | 助 教 | シナプス可塑性の光操作技術による学習回路の解明と PTSD 治療法の開発 |
| 坂井 敦 | 日本医科大学 医学部・薬理学分野 | 講 師 | ヒト一次感覚神経特異的な長鎖非コード RNA の解析 |
| 櫻井 準 | 杏林大学 医学部 精神神経科学教室 | 講 師 | ケタミンの抗うつ効果に関連するバイオマーカーの同 定：メタボローム解析 |
| 笹川 翔太 | 理化学研究所 生命医学研究センター がんゲノム研究チーム | 特別研究員 | 非腫瘍性頭蓋内脳血管疾患における体細胞変異の同定 と治療薬への応用 |
| 笹原 智也 | 神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 神経変性疾患研究部 | 主任研究員 | 脳血管周皮細胞の機能障害によるアルツハイマー病の 増悪機序の解明 |
| 住吉 晃 | 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 量子医科学 研究所 分子イメージング診断治 療研究部 | 主任研究員 | マウス覚醒睡眠サイクルの脳脊髄液分子イメージング 技術の確立 |
| 高木 俊輔 | 東京医科歯科大学 精神行動医科学 | 助 教 | 複雑な記憶課題に対する定位頭蓋内脳波 (sEEG) の反 応解析による脳内記憶機構の解明 |
| 高橋 真有 | 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 システム神経生理学 | 講 師 (キャリア アップ) | 選択的注意を支える眼球運動を抑制する脳内メカニズ ムの解明 |
| 竹内 光 | 東北大学 加齢医学研究所 認知機能発達 寄付研究部門 | 准教授 | 認知症の遺伝的リスク補正後の生活習慣・環境要因と 認知神経メカニズムの老化、認知症リスクとの関連の 検討の縦断研究 |
| 立川 裕之 | 大阪市立大学 大学院医学研究科 放射線診断学・IVR 学 | 講 師 | アルツハイマー病におけるアミロイド PET の代替検査 となり得る MRI シークエンスの評価項目の検討 |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|------------|------------------------------------|-----------|---|
| 田中 寛大 | 国立循環器病研究センター 脳卒中集中治療科 | 医師 | 急性期脳梗塞に対する血栓吸引テクニックと血栓吸引併用ステントリトリーパーテクニックの多施設共同ランダム化比較試験 |
| 檀上 輝子 | 藤田医科大学 医学部 生理学Ⅱ講座 | ポストドクター | マウスにおける感覚情報入力を介した他個体認知のメカニズムの解明 |
| 土居 亜紀子 | 兵庫医科大学 先端医学研究所 神経再生研究部門 | 助教 | 脳内炎症制御による傷害/虚血誘導性神経幹細胞を起点とした神経再生機構の解明 |
| Tu Hung-Ya | 大阪大学 蛋白質研究所 分子発生学研究室 | 助教 | 視床下部において養育行動をつかさどる遺伝子発現制御メカニズムの解明 |
| 戸田 浩史 | 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 (IIS) | 助教 | ストレスによって誘発する睡眠機構の解明 |
| 永田 健一 | 名古屋大学 大学院医学系研究科 機能組織学 | 特任助教 | 新規アルツハイマー病モデルマウスを用いたタウ関連ミクログリアの同定 |
| 中村 善胤 | 大阪医科薬科大学 内科学Ⅳ・脳神経内科 | 助教(准) | 神経細胞における alpha-シヌクレイン細胞外分泌を制御するオートファジー分子機構の解明 |
| 西川 将司 | 愛知県医療療育総合センター 発達障害研究所 分子病態研究部 | リサーチレジデント | 大脳発達における知的障害責任分子 Rac1 の生理機能と分子病態機構の解明 |
| 西原 秀昭 | 山口大学 医学部 神経・筋難病治療学講座 | 助教 | iPS 細胞由来疾患別血液脳関門モデルを用いた神経変性・炎症疾患治療薬の開発 |
| 西本 祥仁 | 慶應義塾大学 医学部 神経内科 | 助教 | 核内非翻訳 RNA 制御による ALS 患者由来運動ニューロン変性抑制の試み |
| 濱田 駿 | 山梨大学 大学院総合研究部 医学域 生化学講座 第一教室 | 助教 | AMPK ファミリー-SIK3 のシナプス局在・機能制御メカニズムの解明 |
| 濱谷 沙世 | 福井大学 子どものこころの発達研究センター | 特命助教 | ADHD 児に対するセルフヘルプ遠隔認知行動療法と客観的評価法の開発 |
| 備前 典久 | 新潟大学 大学院医歯学総合研究科 脳機能形態学分野 | 助教 | オリゴドンドロサイト由来脂質メディエーターによる脳内ホメオスタシス維持機構の解明 |
| 堀内 浩 | 自然科学研究機構 生理学研究所 生体恒常性発達研究部門 | 特任助教 | 集積化バイオイメージセンサによるてんかんの原理解明 |
| 牧野 祐一 | 東京大学 国際高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構 | 特任講師 | 幼若期ストレスによる注意障害の神経メカニズム解明と治療法創出 |
| 栢田 大生 | 千葉大学 大学院医学研究院 脳神経内科学 | 助教 | 血液脳関門に着目した進行型多発性硬化症病態解明へ向けた革新的動物モデル確立 |
| 光澤 志緒 | 東北大学 大学院医学系研究科 神経内科学分野 | 大学院非常勤講師 | 軸索に着目した筋萎縮性側索硬化症の運動ニューロン脆弱性にかかわる病態の探索 |
| 村田 航志 | 福井大学 学術研究院医学系部門 脳形態機能学分野 | 助教 | 感覚入力と内臓出力をつなぐ脳領域の機能解剖学的解析 |
| 森下 登史 | 福岡大学 医学部 脳神経外科 | 診療准教授 | てんかん発作伝播における大脳基底核ネットワーク機能の解明 |
| 山形 朋子 | 東邦大学 医学部医学科 解剖学講座 微細形態学分野 | 有期助教 | 皮質と皮質下のシナプスタンパクリン酸化から見る麻酔・鎮静・睡眠の異同 |
| 山崎 礼二 | 自治医科大学 医学部 解剖学講座 組織学部門 | 助教 | 虚血性白質障害における I 型コラーゲン形成意義の解明 |
| 山梨 豪彦 | 鳥取大学 医学部附属病院 精神科 | 助教 | バイスペクトル脳波 (BSEEG) 法を用いたせん妄モデル動物の評価法の確立 |
| 横田 裕丈 | 新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 | 助教 | 経頭蓋直流電流刺激 (tDCS) と経皮的迷走神経刺激 (tVNS) の同時適用による革新的な慢性疼痛治療法の開発 |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|-------------------------|----|--|
| 和田 真孝 | 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室 | 助教 | 治療抵抗性うつ病に対する、革新的治療を目指した前帯状回ニューロモデュレーションの開発 |

計 50 件

<感染領域>

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|---|------------------|--|
| 相川 知宏 | 京都大学 大学院医学研究科 微生物感染症学分野 | 助教 | A 群レンサ球菌の金属輸送体 MntE の金属選択における柔軟性獲得機構の解明と新たな感染制御法への応用 |
| 阿部 雅広 | 国立感染症研究所 真菌部 | 研究員 | カンジダ属病原性に環境因子が与える影響の解析研究 ーヒト体内条件を模した低酸素環境は病原性亢進に寄与するのカー |
| 荒井 泰葉 | 京都府立医科大学 医学研究科 感染病態学 | 研究員 | ウイルス感染ストレスによる糖鎖パターン変化に着目した病態機序の解明 |
| 今井 孝 | 埼玉医科大学 医学部 微生物学 | 講師 | 宿主ストレス制御に着目したマラリア重症化機序の解明と新しい治療法の開発 |
| 岡野 徳壽 | 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 細菌感染制御学分野 | 助教 | 口腔細菌叢ディスバイオーシスによる多発性硬化症増悪化機構の解明 |
| 兼子 裕規 | 名古屋大学 医学部附属病院 眼科 | 講師 | 網膜の異物認識機構を利用した寄生虫眼感染の新規診断法確立 |
| 神岡 真理子 | 東京大学 医科学研究所 マラリア免疫学分野 | 日本学術振興会 特別研究員 | マラリア感染における消化管粘膜免疫システムの解析 |
| 久留島 潤 | 群馬大学 大学院医学系研究科 細菌学 | 講師 | 日和見病原菌の多剤抗菌薬耐性化を促進する新型プラスミドの細胞内時空間制御の包括的解析 |
| 河野 正充 | 和歌山県立医科大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 講師 | S1PR3/TRP チャンネルを介した感染症重症化制御機序の解明と治療応用 |
| 佐藤 豊孝 | 北海道大学 大学院獣医学研究院 獣医衛生学教室 | 准教授 | 既存抗菌薬の副作用低減に必要な抗菌薬併用剤の最適化 |
| 柴田 岳彦 | 東京医科大学 微生物学分野 | 准教授 | 重症感染症を引き起こす鼻咽頭定着肺炎球菌の増殖機構の解明 |
| 白銀 勇太 | 九州大学 大学院医学研究院 病態制御学講座 ウイルス学 | 助教 | シス受容体が解明する麻疹ウイルス中枢神経病原性発揮メカニズム |
| 住友 倫子 | 大阪大学 大学院歯学研究科 口腔細菌学教室 | 講師 | ウイルス感染気道組織由来の細胞外小胞を介した上気道細菌のニッチ拡大機構の解明 |
| 竹島 功高 | 東京大学 医科学研究所 ウイルス病態制御分野 | 特任研究員 | 単純ヘルペスウイルスの「小胞媒介性核外輸送」と核ラミナの関係に対する詳細な解析 |
| 田村 友和 | 北海道大学 大学院医学研究院 微生物学免疫学分野 病原微生物学教室 | 助教 | フラビウイルスの病原性と感染指向性の比較解析 |
| 平野 港 | 長崎大学 感染症共同研究拠点 ウイルス生態学分野 | 特任研究員 | 宿主 RNA 分解経路のクリミア・コンゴ出血熱ウイルス感染における意義の解析 |
| 福田 佐織 | 藤田医科大学 医学部 ウイルス・寄生虫学講座 | 特別研究員 | 弱毒生ヒトロウイルスワクチン株を基盤とする腸管指向性ベクターの開発 |
| 古山 若呼 | 長崎大学 感染症共同研究拠点 感染病態研究部門 | 助教 | エボラウイルス分泌型糖タンパク質 sGP の生体内動態と病原性発現分子機構の解明 |
| 正谷 達臈 | 岐阜大学 応用生物科学部 共同獣医学科 人獣共通感染症学講座 | 准教授 | 狂犬病ウイルスによるストレス顆粒形成抑制機構が病原性にもたらす役割の解明 |
| 宮川 敬 | 横浜市立大学 医学部 微生物学 | 准教授 | B 型肝炎ウイルスの細胞侵入を標的とするモダリティの創出 |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|---------------------------------|----|--------------------------------------|
| 宮崎 真也 | 長崎大学 熱帯医学研究所 細胞環境構築学 分野 | 助教 | リン脂質代謝を介したマラリア原虫の寄生戦略の解明 |
| 村居 和寿 | 金沢大学 医薬保健研究域 保健学系 病態検査学講座 | 助教 | cccDNA 根絶に向けた宿主因子を標的とする抗 HBV 薬の開発 |
| 門出 和精 | 熊本大学 大学院生命科学研究部 微生物学講座 | 助教 | iPS 細胞における内在性レトロウイルスの転移機構の 解明 |

計 23 件

<基礎>

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|--|--------------|---|
| 浅野 達雄 | 東京女子医科大学 腎臓小児科 | 博士研究員 | 慢性腎不全に伴う免疫不全・造血障害の機序解明：骨 髄およびリンパ節ストローマ細胞の変化に着目して |
| 池戸 葵 | 愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 病態生理解析部門 | 特定研究員 | 脂肪組織中の Aromatase による骨量制御機構の解明 |
| 稲葉 弘哲 | 三重大学 医学系研究科 組織学・細胞生物 学分野 | 講師 | PLCepsilon が担う持続的な Ca ²⁺ シグナルの一次線 毛退縮における機能の解明 |
| 上中 麻希 | 大阪大学 大学院医学系研究科 免疫細胞生物学教室 | 特任研究員 | 細胞外小胞を介した骨の恒常性維持機構の解明 |
| 浦西 洸介 | 埼玉医科大学 医学部 ゲノム基礎医学部門 | 助教 | 非生殖細胞における減数分裂関連遺伝子の安定的な発 現抑制のための分子基盤の解明 |
| 遠藤 健太郎 | 東京医科歯科大学 統合研究機構 再生医療研究セン ター | プロジェクト 助教 | 半月板老化を標的とした変形性膝関節症治療薬の開発 |
| 大原 浩貴 | 島根大学 医学部 病理学講座 病態病理学 | 講師 | 高血圧性臓器障害の発症・進展に作用する免疫調節障 害の新奇分子基盤：ART2b-STIM1 シグナルの可能性 の検討 |
| 小川 亜希子 | 東北大学 加齢医学研究所 モドミクス医学 分野 | 助教 | RNA 由来の新規メタボライトが織り成す生体内代謝 の解明と応用 |
| 奥村 龍 | 大阪大学 大学院医学系研究科 免疫制御学 | 助教 | 生体機能チップを用いた炎症性腸疾患病態の解明 |
| 勝山 恵理 | 岡山大学 学術研究院保健学域 検査技術科 学分野 | 准教授 | シングルセル RNA-seq データベースを用いた全身性 エリテマトーデスにおける活性化 T 細胞の新規亜集団 の同定と、その機能解析 |
| 加藤 大樹 | 九州大学 大学院歯学研究院 口腔常態制御 学講座 分子口腔解剖学分野 | 助教 | 乳歯幹細胞を疾患モデルとした稀少難病の病態機序解 明 |
| 金丸 和典 | 日本大学 医学部 生理学分野 | 准教授 | 生体内インスリン動態とその形成機構を遺伝子改変マ ウスの膵・肝 in vivo カルシウムイメージングから解き 明かす |
| 古賀 友紹 | 熊本大学 発生医学研究所 細胞医学分野 | 講師 | 新規炎症記憶モニターマウスを用いた炎症の細胞記憶 の包括的なエピゲノム解析 |
| 小谷 武徳 | 神戸大学 大学院医学研究科 生化学・分子 生物学講座 シグナル統合学分野 | 助教 | 腸上皮細胞の寿命を制御する分子メカニズムの解析 |
| 小林 美栄 | 慶應義塾大学 医学部 分子生物学教室 | 助教 | 内在性レトロウイルスの制御システムから明かす初期 胚の全能性制御機構 |
| 近藤 健太 | 滋賀医科大学 生化学・分子生物学講座 分子生理化学 | 特任助教 | ビタミン C が DNA 脱メチル化を介してメモリーCD8 T 細胞分化を促進する機構の解明とワクチン療法への 応用 |
| 近藤 直幸 | 関西医科大学 附属生命医学研究所 分子遺伝学 部門 | 講師 | インテグリン-オートファジー経路のクロストークに よる新規免疫細胞間接着制御機構の解明 |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|---|-------|---|
| 近藤 裕史 | 名古屋大学 大学院医学系研究科 分子細胞化学・機能分子制御学 | 助教 | Eogt 発現に基づく血管内皮細胞の不均一性の理解と血管における機能の解明 |
| 齋藤 康太 | 秋田大学 大学院医学系研究科 情報制御学 実験治療学講座 | 教授 | 小胞体出芽部位 (ERES) 形成機構の解析 |
| 齋藤 悠城 | 札幌医科大学 医学部 解剖学第二講座 | 講師 | メカノバイオリロジー機構から読み解く細胞老化の機能とその制御方法 |
| 佐々木 周伍 | 大阪大学 大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学 糖尿病病態医療学 | 特任研究員 | ヒト iPS 細胞を用いた膵 beta 細胞分化における脂肪酸代謝の重要性解明と糖尿病再生医療への応用 |
| 佐藤 亮太 | 東京大学 医科学研究所 感染遺伝学分野 | 助教 | 自己免疫疾患における酸性フォスファターゼの役割 |
| 澤田 雄宇 | 産業医科大学 医学部 皮膚科 | 講師 | エピジェネティクスによる皮膚トランス制御についての解析 |
| 設楽 久志 | 三重大学 医学系研究科 生化学講座 | 助教 | 細胞膜表面分子を光不活化する汎用性の高い CALI 法の開発 |
| 柴田 峻 | 東北大学 大学院医学系研究科 情報遺伝子分野 有馬隆博研究室 | 助教 | 胚着床オルガノイドモデルを用いたヒト胎盤発生シグナル伝達経路の解明 |
| 清水 秀幸 | 東京医科歯科大学 M&D データ科学センター AI システム医科学分野 | 教授 | 任意の分子を標的にできる AI 創薬実現のための基盤研究 |
| 白根 健次郎 | 九州大学 医学研究院 ヒトゲノム幹細胞医学 | 助教 | 配偶子の相互補完性を保証するゲノム機能の解明 |
| 菅原 太一 | 熊本大学 大学院生命科学研究部 生体微細構築学講座 | 助教 | 血液精巣関門によって上皮バリアと上皮極性が形成される意義の解明 |
| 杉浦 大祐 | 東京大学 定量生命科学研究所 分子免疫学 研究分野 | 助教 | PD-L1/CD80 ヘテロ二量体検出法の樹立とその応用 |
| 相馬 悠希 | 九州大学 生体防御医学研究所 付属トランスオミクス医学研究センター | 助教 | 医学的応用に資する定量メタボロミクス技術開発 |
| 武内 謙憲 | 筑波大学 医学医療系 ニュートリゲノミクス スリサーチグループ | 助教 | in vivo イメージングを用いたアミノ酸シグナルが投射する KLF15 遺伝子発現調節機構の解明 |
| 丹藤 由希子 | 東北大学 加齢医学研究所 医用細胞資源センター | 助教 | 精子形成異常を引き起こす生殖細胞の DNA メチル化誘発メカニズムの解明 |
| 陳 以珊 | 和歌山県立医科大学 医学部 薬理学講座 | 講師 | 先天性疾患におけるイオンチャンネル機能異常の機序解明および新規治療薬の開発 |
| 遠山 周吾 | 慶應義塾大学 医学部 循環器内科 | 専任講師 | ヒト心筋細胞のオルガネラホメオスタシスにおける代謝酵素の役割解明と応用 |
| 西園 啓文 | 金沢医科大学 総合医学研究所 動物管理室 | 講師 | 初期発生におけるグリシン代謝の機能解明と生殖補助医療への応用 |
| 白 潔 | 熊本大学 国際先端医学研究機構 白血球転写制御研究室 | 研究員 | HMGA1 による造血幹細胞制御の分子基盤解析 |
| 蓮澤 奈央 | 久留米大学 医学部 内科学講座 内分泌代謝内科部門 | 助教 | 星細胞の ATP 分泌をターゲットとした新しい肝線維化抑制薬の開発 |
| 林 周斗 | 名古屋大学 大学院医学系研究科 システム生物学分野 | 特任准教授 | 深層学習を用いた高速タンパク質構造サンプリング手法の開発 |
| 平野 健一 | 東海大学 医学部生体防御学 穂積ラボ | 特定研究員 | オミクス手法を用いた T 細胞の初期発生を誘導する Notch シグナルの解明 |
| 廣瀬 健太郎 | 国立循環器病研究センター研究所 心臓生理機能部 | 上級研究員 | 心不全治療法の開発を目指した新規ユビキノン制御機構の解明 |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|--|----------------|--|
| 日和 良介 | 京都大学 医学部附属病院 免疫・膠原病内科 | 助教 | 核内受容体 NR4A の低分子アゴニストによる自己免疫疾患の治療効果についての研究 |
| 福重 香 | 愛知医科大学 医学部 解剖学講座 | 助教 | 肺胞をターゲットとした siRNA・ヒアルロン酸含有吸入用マイクロ粒子製剤の開発 - COPD 治療の実現に向けて - |
| 福田 慎一 | 筑波大学 医学医療系 眼科 | 准教授 | マウス網膜神経再生のライブイメージング |
| 藤木 珠美 | 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 腎臓内科学 | 特任助教 | PKA 直接活性化法を用いた肥満症の病態解明および新規治療薬の開発 |
| 藤原 隆行 | 東京大学 医学部附属病院 循環器内科 | 特任助教 | 時空間的マルチスケールイメージングによる難治性循環器疾患の病態解明 |
| 細川 友誠 | 神戸大学 大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学部門 | 医学研究員 | 脂肪組織の健康的増大機構の解析 |
| 細野 加奈子 | 北里大学 医学部 薬理学 | 講師 | 知覚神経系による腸管脂肪吸収と脂肪肝制御 |
| 前田 啓子 | 名古屋大学 医学部附属病院 消化器内科学 | 助教 | PARD6B を介した腸管上皮細胞の抗原認識機構の解明と炎症性腸疾患への治療応用 |
| 松田 研史郎 | 筑波大学 医学医療系 免疫制御医学研究室 | 助教 | C 型レクチン受容体による皮膚マスト細胞活性化制御機構の解明 |
| 松永 麻美 | 京都大学 大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 助教 | 炎症を起点とした蝸牛有毛細胞再生機構の解明 |
| 丸山 和晃 | 三重大学 大学院医学系研究科 修復再生病理学 | 学内講師 | 発生学的解析に基づくリンパ管奇形の病因解明・新規治療法開発 |
| 丸山 慶子 | 国立循環器病研究センター 研究所 分子病態部 | 特任研究員 | 血栓形成抑制に重要な働きをするプロテイン S の新たな発現調節機構の解明 |
| 三宅 雅人 | 徳島大学 先端酵素学研究所 生体機能学分野 | 講師 | 非アルコール性脂肪肝炎の発症と進展における統合的ストレス応答経路の意義 |
| 宮本 大輔 | 長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 移植・消化器外科 | 助教 | 胆管排泄能を有する肝細胞シート移植による肝/胆機能再生 |
| 室 龍之介 | 東京大学 大学院医学系研究科 免疫学 高柳研究室 | 学術振興会 特別研究員 | 胸腺における T 細胞選択の分子基盤 |
| 八代 拓也 | 大阪大学 大学院医学系研究科 感染症・免疫学講座 生体防御学教室 | 助教 | 2 型自然リンパ球依存的なアレルギー疾患に対して外部環境因子が及ぼす影響の解析 |
| 安岡 有理 | 理化学研究所 生命医学科学研究センター 応用ゲノム解析技術研究チーム | 研究員 | 膵ベータ細胞ダイレクトリプログラミングにおけるゲノム・代謝制御機構の解明 |
| 安河内 友世 | 九州大学 大学院歯学研究 OBT 研究センター | PI 准教授 | 胎内栄養が定義するエネルギー代謝異常の経世代エピゲノム解析 |
| 安間 太郎 | 三重大学 大学院医学系研究科 代謝内分泌内科学 | 助教 | 細菌由来ペプチドによる腎線維化促進機序の解明とそれを標的とする治療法の開発 |
| 山内 一郎 | 京都大学 大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 | 助教 | 甲状腺機能亢進症の新規治療開発に向けた分子病態解明 |
| 山川 大史 | 三重大学 大学院医学系研究科 分子生理学分野 | 助教 | ユビキチン化酵素基質受容体 KCTD17 による一次線毛形成制御を介した筋形成・代謝機構の解明 |
| 山室 和彦 | 奈良県立医科大学 精神医学講座 | 学内講師 | ニューロモデュレーションの作用機序解明と ASD モデルマウスへの応用 |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|------------------------------|-----|---|
| 山本 拓也 | 京都大学 iPS 細胞研究所 未来生命科学開拓部門 | 准教授 | 多能性幹細胞における miRNA の細胞内局在制御機構の解明 |
| 横西 哲広 | 川崎医科大学 解剖学 | 講師 | 精巢の発生と再生における移行部セルトリ細胞の機能解明 |
| 吉江 幸司 | 信州大学病院 循環器内科 | 助教 | 心臓感覚神経を介した構造的および電気的心臓リモデリング制御に関わる TRPV1 関連分子経路の解明と新規治療標的の同定 |
| 渡邊 大輔 | 神戸大学 消化器内科 | 医員 | クローン病の腸管線維化に関わる新規制御因子の探索と機能解析 |

計 66 件

<臨床>

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|------------------------------------|-------------------------|---|
| 青景 聡之 | 岡山大学 学術研究院医歯薬学域 救命救急・災害医学分野 | 助教 | 急性呼吸促進症候群の重症化抑制を目的とした水素ガス吸入療法の研究開発（単群・第Ⅱ相 臨床試験） |
| 猪俣 武範 | 順天堂大学 医学研究科 眼科学講座 | 准教授 | スマホアプリ型ドライアイ診断補助用プログラム医療機器の実用化に向けた特定臨床研究の実施 |
| 馬越 真希 | 九州大学 大学院医学研究院 病態制御内科学分野 | 日本学術振興会 特別研究員 RPD | 加齢による副腎由来ホルモンの不均衡に着目したフレイルの病態解明と医学応用 |
| 大網 毅彦 | 千葉大学 大学院医学研究院 救急集中治療医学 | 助教 | 重症急性膵炎における腸管 dysbiosis の解析と感染性合併症の予防を目指した治療への応用 |
| 岡田 寛之 | 東京大学 疾患生命工学センター 臨床医工学部門 | 助教 | 新規 1 細胞内解析の樹立と骨粗しょう症治療創薬 |
| 岡本 祐子 | 東京女子医科大学 膠原病リウマチ内科学分野 | 講師 | Dysbiosis と T 細胞機能に着目した、関節リウマチ発症予防研究 |
| 尾崎 公美 | 福井大学 医学部 病態解析医学講座 放射線医学領域 | 講師 | Dual-energy CT を用いた非アルコール性脂肪肝炎の非侵襲的診断基準の確立 |
| 栗田 威 | 京都大学 医学部附属病院 消化器内科 | 医員 | 潰瘍性大腸炎の新規自己抗体による診断法確立と治療薬開発 |
| 河村 真吾 | 岐阜大学 整形外科 | 助教 | マクロファージ誘導ケモカイン CXCL14 を標的とした線維化制御療法の開発 |
| 小関 宏和 | 東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 | 助教 | 脳動脈瘤と口腔内細菌叢との関連性についての横断的研究、および疾患モデルを用いた口腔内細菌による脳動脈瘤の病態形成機序の解明 |
| 小林 洋輝 | 日本大学 医学部 内科学系 腎臓高血圧内分泌内科学分野 | 専修医 | 体液性因子による内臓脂肪-副腎連関に着目したアルドステロン過剰分泌機構の解明と治療標的の探索 |
| 古目谷 暢 | 横浜市立大学 泌尿器科 | 客員研究員 | 空間的遺伝子発現解析を用いたヒト精子形成メカニズムの解明 |
| 齋藤 佑一 | 千葉大学 医学部附属病院 循環器内科 | 診療講師 | 急性心筋梗塞治療を最適化するシステム確立のための、レジストリデータを活用した包括的検討 |
| 崎元 晋 | 大阪大学 医学部 眼科学教室 | 助教 | 虚血性網膜症における血管内皮細胞階層性の検討 |
| 佐藤 雅 | 北里大学 医学部 免疫学 | 講師 | 肥満による滑膜組織炎症の誘導と変形性膝関節症の新規治療法の開発 |
| 佐藤 洋平 | 東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 基盤研究施設 | テニユア トラック 助教 | CRISPR/Cas9 を用いた先天代謝異常症由来 iPS 細胞に対する新規治療法の開発 |
| 佐野 真規 | 浜松医科大学 第二外科 血管外科 | 助教 | 皮膚状態改善に着目した二次性リンパ浮腫薬物治療の開発 |
| 谷口 智彦 | 神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科 | 医長 | 経カテーテル大動脈弁留置後の弁尖肥厚の影響と至適抗血栓療法を探索する研究 |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|----------------------------------|------|---|
| 田村 高廣 | 名古屋大学 大学院医学系研究科 麻酔蘇生医学講座 | 講師 | 脊椎手術中運動誘発電位モニタリングを用いた、デスフルラン麻酔の忍容性に関する前向きランダム化比較試験 |
| 土屋 遥香 | 東京大学 医学部附属病院 アレルギー・リウマチ内科 | 特任講師 | 滑膜シングルセル解析によるアジア人関節リウマチ患者の層別化と治療抵抗性に関連する細胞間シグナルの探索 |
| 中野 直樹 | 神戸大学 医学部附属病院 整形外科 | 医員 | 人工膝関節単顆置換術における下肢アライメントの影響に関するバイオメカニクスの検討 |
| 西出 真之 | 大阪大学 大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学 | 助教 | 顆粒球細胞外トラップを誘導するガイダンス機構の解明と免疫・アレルギー難病への治療応用 |
| 野嵐 一平 | 信州大学 医学部保健学科 理学療法学専攻 | 准教授 | 小脳性歩行失調患者に対するテラーメイド closed-loop 脳刺激法の開発 |
| 長谷川 洋敬 | 東京大学 医学部 脳神経外科 | 助教 | Radiomics 解析に基づく脳腫瘍増大予測シミュレーションによる治療介入時期の最適化 |
| 春原 浩太郎 | 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 | 助教 | 人工知能を用いた腎糸球体ポドサイト数の推算法 |
| 廣瀬 勝俊 | 大阪大学 大学院歯学研究科 口腔病理学教室 | 助教 | 静脈奇形に対するシロリムス薬承認を見据えた治療効果予測への病理検体の応用 |
| 福田 顕弘 | 大分大学 医学部 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座 | 助教 | ミネラルコルチコイド受容体 (MR) 活性化による糖尿病性腎症進展機序の解明と MR 活性化を反映する尿中バイオマーカーの開発 |
| 藤本 久貴 | 川崎医科大学 眼科学 1 | 講師 | マイクロデバイス埋め込み型の薬剤徐放性治療用ソフトコンタクトレンズの開発 |
| 星山 禎 | 熊本大学病院 循環器内科 | 特任講師 | ALDH2 遺伝子と心房細動再発との関連：心房細動患者における新たなテラーメイド治療の可能性についての検討 |
| 堀内 辰男 | 群馬大学 大学院医学系研究科 麻酔神経科学 | 助教 | 肥満細胞活性化試験 (Mast cell activation test, MAT) を用いたアナフィラキシー原因薬剤の同定 |
| 前原 隆 | 九州大学 大学院歯学研究院 口腔顎顔面腫瘍制御学分野 | 助教 | IgG4 関連疾患とシェーグレン症候群における自己反応性 CD4+T 細胞と B 細胞のエンハンサー RNA についての包括的理解 |
| 萬代 新太郎 | 東京医科歯科大学病院 血液浄化療法部 | 助教 | 慢性腎臓病における循環細胞外小胞を標的とした血管石灰化の病態解明と治療戦略の構築 |
| 三澤 将史 | 昭和大学 横浜市北部病院 消化器センター | 講師 | 大腸内視鏡診療の革新的転換を目指した人工知能の開発と検証 |
| 村上 順一 | 山口大学 医学部附属病院 第 1 外科 | 助教 | 肺切除術における術後感染症に対するプロバイオティクスの予防効果の検証とメカニズムの解明 |
| 門前 暁 | 弘前大学 大学院保健学研究科 放射線技術科学専攻 | 准教授 | 寡転移性肝腫瘍を標的とした血液バイオマーカー監視下での放射線治療技術の開発 |
| 山田 祥岳 | 慶應義塾大学 医学部 放射線科学教室 (診断) | 専任講師 | 近未来の CT 診断学の構築 — 超高齢社会における健康寿命延伸を目指して — |

計 36 件

医学系研究継続助成

<がん領域 (基礎)>

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|-----------------------|-----|--|
| 磯田 健志 | 東京医科歯科大学 発生発達病態学分野 | 講師 | 非コード RNA (ThymoD) の転写障害で生じた T 細胞系腫瘍のスーパーエンハンサー活性化機構の解明 |
| 船戸 洋佑 | 大阪大学 微生物病研究所 | 准教授 | リソソーム系を介したがん細胞の酸性環境適応機構の解明 |

計 2 件

<がん領域（臨床）>

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|---|-----|-------------------------|
| 衣斐 寛倫 | 愛知県がんセンター がん標的治療トランスレーショ ナルリサーチ分野 | 分野長 | BRAF 変異大腸がんに対する個別化医療の開発 |
| 杉本 真也 | 慶應義塾大学 医学部 坂口光洋記念講座 (オルガノイド医学) | 助教 | 慢性炎症を母地とする消化器がん機構の解明 |

計 2件

<精神・神経・脳領域>

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|--------------------------------------|------|--|
| 岡田 正康 | 新潟大学 医歯学総合病院 脳神経外科 | 助教 | 齧歯類から発見した神経成長関連タンパク質のリン酸化発現による霊長類の神経発生と中枢神経疾患解析 |
| 金蔵 孝介 | 東京医科大学 分子病理学分野 | 准教授 | 低分子化合物による ALS 原因蛋白 TDP43 の液液相分離制御技術の開発と液液相分離による神経変性機構の解明 |
| 河寄 麻実 | 新潟大学 医学部 | 特任講師 | 神経成長・再生を制御する成長円錐イノシトールリン脂質制御機構 |
| 國松 淳 | 筑波大学 医学医療系 認知行動神経科学研究室 | 助教 | 無意識下での迅速な意思決定を可能にする脳内メカニズム |
| 鈴木 宏昌 | 東京医科大学 医学部 医学科 薬理学分野 | 講師 | ALS/FTD における Non-coding RNA を介した神経変性メカニズムの解析 |
| 玉田 宏美 | 名古屋大学 大学院医学系研究科 機能組織学 | 助教 | 先端三次元電子顕微鏡技術を用いた腸管神経コネクティクス解析 |
| 橋本 翔子 | 理化学研究所 脳神経科学研究センター 神経老化制御研究チーム | 研究員 | タウ病理伝播過程におけるタンパク質間相互作用の変遷 |
| 宮脇 寛行 | 大阪市立大学 大学院医学研究科 神経生理学 | 助教 | 超大規模電気生理学記録法を用いた記憶情報表現のマルチスケール解析 |

計 8件

<感染領域>

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|---------------------------------|----|---|
| 原 英之 | 徳島大学 先端酵素酵素学研究所 神経変性病態学分野 | 助教 | ウイルス感染をトリガー因子としたプリオン病モデルの構築と異常型プリオン蛋白質産生メカニズムの解明 |
| 廣瀬 亮平 | 京都府立医科大学 感染病態学教室 | 助教 | ヒト粘液中の病原体が外部環境から保護されるメカニズムの解明と季節性インフルエンザの治療・診断・予防への応用 |

計 2件

<基礎>

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|---------------------------------|-----|--|
| 安藤 史顕 | 東京医科歯科大学病院 腎臓内科 | 助教 | 新規 PKA 制御法による疾患治療への応用 |
| 梅本 英司 | 静岡県立大学 薬学部 薬学研究院 免疫微生物学教室 | 教授 | 腸内細菌由来の代謝分子、乳酸・ピルビン酸とその受容体 GPR31 による腸管恒常性維持機構の解明 |
| 大野 美紀子 | 滋賀医科大学 医学部 医学科 薬理学講座 | 准教授 | 多機能タンパク質ナルディライジンの巨核球成熟・血小板産生における意義と分泌メカニズムの解明 |
| 小原 祐太郎 | 山形大学 医学部 薬理学講座 | 教授 | Midnolin 遺伝子の異常によるパーキンソン病の発症機序の解明および創薬を目指した研究 |
| 武田 行正 | 京都府立医科大学 大学院医学研究科 細胞再生医学 | 助教 | 低分子化合物誘導性ベージュ細胞を用いた新規な褐色化メカニズムの解明 |
| 藤巻 慎 | 熊本大学 発生医学研究所 筋発生再生分野 | 助教 | 糖尿病性筋萎縮の克服を目指した新規治療標的の特定：血管-筋線維連関に着目して |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|--|-------|--|
| 望月 研太郎 | 東北大学 大学院医学系研究科 発生発達神経科学分野 (大隅典子研究室) | 非常勤講師 | ヒストン修飾クロストークを介した、生殖細胞運命を規定するエピゲノム動態の解明 |
| 森本 和志 | 九州大学 大学院薬学研究院 生命物理化学分野 | 助教 | 立体構造に基づく新規プロスタグランジン受容体標的化合物の探索 |
| 薬師寺那由他 | 理化学研究所 生命医科学研究センター 免疫器官形成研究チーム | 研究員 | ポリコム複合体による合指症の発症機構の解明 |
| 吉野 剛史 | 九州大学 医学研究院 ヒトゲノム幹細胞医学分野 | 助教 | マウス多能性幹細胞からの機能的な生殖巣オルガノイドの構築 |

計 10件

<臨床>

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|---------------------------------|----|---|
| 片岡 雅晴 | 産業医科大学 医学部 第2内科学 | 教授 | 大規模臨床検体を用いた肺動脈性肺高血圧症の遺伝学的病態基盤解明研究 |
| 中村 昭伸 | 北海道大学 大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室 | 講師 | 膵β細胞内ブドウ糖代謝に着目した新たな2型糖尿病治療法の確立 |
| 細川 晃平 | 金沢大学附属病院 高密度無菌治療部 | 助教 | HLA-B*40:02 が提示する再生不良性貧血自己抗原の同定 |
| 三村 維真理 | 東京大学 医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 | 助教 | TIMP2 を介した、ヒストン修飾酵素 Ezh2 阻害による腎線維化抑制機構の解明 |
| 村田 大紀 | 佐賀大学 医学部 附属再生医学研究センター | 助教 | バイオ 3D プリンタにより創出する靭帯組織体を用いた靭帯再建法の確立 |

計 5件

薬学系研究助成

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|---------------------------------------|---------------|---|
| 阿部 匠 | 岡山大学 学術研究院医歯薬学域 薬学系 精密有機合成化学 | 講師 | 薬剤耐性ガン治療薬の創出を指向した a 置換インドリルアセタミド誘導体の網羅的合成 |
| 天野 大樹 | 北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室 | 准教授 | ニューロン機能の違いに着目した逆薬理的創薬への挑戦 |
| 井上 雅己 | 神戸学院大学 薬学部 生体機能制御学研究室 | 助教 | 制御性 T 細胞を介した免疫寛容強化への蛋白質工学的アプローチ |
| 入江 克雅 | 和歌山県立医科大学 薬学部 薬品物理化学研究室 | 准教授 | ナノ秒スケールで詳らかにする二価カチオンによるイオンチャンネルの活性調節機構 |
| 岩尾 康範 | 和歌山県立医科大学 薬学部 | 教授 | イオン液体を用いた皮内がん細胞への効率的な核酸医薬経皮送達による革新的メラノーマ治療法の開発 |
| 位田 雅俊 | 岐阜薬科大学 薬物治療学研究室 | 教授 | 神経変性疾患における二価鉄動態の制御を標的とした予防・治療薬開発への挑戦 |
| 生長 幸之助 | 東京大学 大学院薬学系研究科 有機合成化学教室 | 講師 | 生体適合エネルギーが駆動するタンパク質化学修飾法 |
| 大津 航 | 岐阜薬科大学 バイオメディカルリサーチ講座 | 特任講師 | エンドサイトーシス経路制御因子を標的とした萎縮型加齢黄斑変性の新規治療薬の開発 |
| 笠井 淳司 | 大阪大学 薬学研究科 神経薬理学分野 | 准教授 | ストレスによる睡眠障害の発症機序の解明 |
| 刀坂 泰史 | 静岡県立大学 薬学部 分子病態学分野 | 講師 | 腎線維化治療を指向するアルギニンメチル化酵素 PRMT5 の機能的役割の解析 |
| 加藤 洋平 | 京都大学 薬学研究科 生体情報制御学分野 | 講師 | 繊毛内タンパク質輸送機構とその破綻による繊毛病発症の分子基盤の解明 |
| 狩野 裕考 | 東北医科薬科大学 薬学部 分子生体膜研究所 機能病態分子学教室 | 助教 | スフィンゴ糖脂質によるリポ多糖受容体制御メカニズムの解明 |
| 亀井 敬泰 | 神戸学院大学 薬学部 | 講師 | 認知症の根本治療に寄与する海馬標的型エクソソーム DDS の開発 |
| 熊谷 直哉 | 慶應義塾大学 薬学部 分子創成科学講座 | 教授 | 特殊ヘテロ環の触媒特性を駆使する医薬合成の刷新 |
| 河野 望 | 東京大学 大学院薬学系研究科 衛生化学 | 准教授 | 非ミトコンドリア型カルジオリピンの産生機構と生理的意義の解明 |
| 小島 慧一 | 岡山大学 学術研究院 医歯薬学域(薬学系) 生体物理化学研究室 | 助教 | 光アポトーシス法を用いた「副作用フリーのがん治療技術」の開発 |
| 座間味 義人 | 岡山大学病院 薬剤部 | 教授 | がん免疫療法関連心筋炎の治療をも可能にするデータベース解析および AI 技術を融合した創薬研究 |
| 神宮司健太郎 | 大阪大学 大学院薬学研究科 細胞生理学分野 | 特任講師 | 細菌由来細胞外小胞を用いた新規免疫療法の開発 |
| 蘇武 佑里子 | 北海道大学 大学院薬学研究院 認知症先進予防・解析学 | 特任助教 | アルツハイマー病治療薬候補 p3-Alcbeta の前駆体 Alcadein beta の神経細胞内輸送機構の解析 |
| 高橋 圭太 | 岐阜薬科大学 薬学部 感染制御学研究室 | 講師 | 病原性大腸菌に対する防御免疫誘導機序の解明とワクチンによる予防戦略の開発 |
| 田口 厚志 | 大阪大学 産業科学研究所 生体分子制御科学研究分野 | 助教 | 細菌解糖系による細胞壁合成制御機構に着目した新規抗菌薬の探索 |
| 立花 雅史 | 大阪大学 大学院薬学研究科 ワクチン・免疫制御学プロジェクト | 特任准教授 (常勤) | TLR4 シグナルからのアプローチによる骨髄由来免疫抑制細胞の制御メカニズムの理解 |
| 辰川 英樹 | 名古屋大学 大学院創薬科学研究科 細胞生化学分野 | 助教 | 線維化を誘導する架橋酵素反応の包括的な修飾部位同定法の開発と分子機構解明研究 |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|--|------|---|
| 田中 健一郎 | 武蔵野大学 薬学部 薬学科 生命分析化学研究室 | 講師 | 大気汚染肺傷害に対するメタロチオネインの機能解析と予防法確立を目指したアプローチ |
| 知念 拓実 | 東京大学 大学院薬学系研究科 薬科学専攻 生物薬科学講座 | 助教 | 微小管-紡錘体極マトリクスからなるLLPS複合体形成を介した、タキソールの抗がんメカニズムの解明 |
| 傳田 将也 | 徳島大学 医歯薬学研究部 薬学域 機能分子合成薬学分野 | 助教 | タンパク質-タンパク質間相互作用解析を加速する新規クロスリンカーの開発 |
| 徳田 栄一 | 日本大学 薬学部 臨床医学研究室 | 講師 | エンドソームのpH制御因子から紐解く神経難病ALSの病態進展機序 |
| 鳥羽 裕恵 | 京都薬科大学 薬学部 病態薬科学系 臨床薬理学分野 | 助教 | SPARC 関連細胞外マトリックスとマトリックス分解酵素からの動脈硬化治療ターゲットの探索 |
| 長尾 耕治郎 | 京都薬科大学 薬品物理化学分野 | 准教授 | 細胞内pH変化への膜脂質を介した適応機構 |
| 中嶋 優 | 富山大学 和漢医薬学総合研究所 天然物創薬学領域 | 助教 | 難治性癌に高発現するAspHを標的とした抗癌剤シード化合物の探索 |
| 西谷 直也 | 金沢大学 医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室 | 助教 | 行動嗜癖モデルマウスの異常な欲求に対するモノアミンを介した側坐核神経活動制御の役割の解明 |
| 西山 和宏 | 九州大学 大学院薬学研究院 生理学分野 | 講師 | 生体内超硫黄動態制御機構の解明および新規心不全治療戦略の構築 |
| 林 久允 | 東京大学 大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室 | 講師 | 肝内胆汁うっ滞を伴う小児肝疾患の予後を規定する因子の探索 |
| 深澤 和也 | 岐阜薬科大学 機能分子学大講座・薬理学研究室 | 助教 | ビタミン代謝を標的とした白血病幹細胞制御戦略の創出 |
| 藤原 広一 | 北海道大学 大学院薬学研究院 創薬有機化学研究室 | 助教 | 強力な炎症収束作用を有するレゾルビン類の芳香族置換型安定等価体の創出 ～安定化における一般的方法論の確立を目指して～ |
| 前川 大志 | 慶應義塾大学 薬学部 代謝生理化学講座 | 専任講師 | 老化抑制剤開発に資するSPOPの機能解析 |
| 三宅 崇仁 | 京都大学 大学院薬学研究科 医薬創成情報科学専攻 システムバイオロジ学分野 | 助教 | 翻訳制御エレメント uORF を介した温度による生物時計位相制御メカニズムの解明 |
| 山田 強 | 岐阜薬科大学 薬学部 薬品化学研究室 | 助教 | 環状エーテルの触媒的転位反応開発とC-配糖体の効率的合成への応用 |
| 横尾 英知 | 京都府立医科大学 医学研究科 医系化学/化学教室 | 助教 | 外来ユピキチンリガーゼを用いるタンパク質分解誘導「パッケージ」の開発 |
| 吉戒 直彦 | 東北大学 大学院薬学研究科 | 教授 | 小員環の活性化を鍵とする光学活性シオールおよび関連物質の網羅的合成法の創出 |

計 40 件

薬学系研究継続助成

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|---------------------------------|-----|-------------------------------------|
| 家田 直弥 | 名古屋市立大学 大学院薬学研究科 薬化学分野 | 講師 | 低エネルギー光で制御可能なケージド化合物群の開発 |
| 川畑 伊知郎 | 東北大学 薬学研究科 先進脳創薬講座 | 准教授 | パーキンソン病の新規治療戦略と超早期予測技術の開発 |
| 平山 祐 | 岐阜薬科大学 薬学部 薬化学研究室 | 准教授 | 生体内へムを「見る」「制御する」新たな分子技術の確立 |
| 深田 宗一郎 | 大阪大学 薬学研究科 細胞生理学 | 准教授 | 筋力トレーニング依存的な筋線維核数増加の根底にある分子メカニズムの解明 |
| 山田 勇磨 | 北海道大学 大学院薬学研究院 薬剤分子設計学研究室 | 准教授 | 心筋症治療用ミトコンドリア DDS の開発 |

計 5 件

ライフサイエンス研究助成

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|---|------------------|--|
| 阿部 玄武 | 東北大学 大学院生命科学研究科 個体ダイナミクス講座 動物発生分野 | 助教 | 魚類正中ヒレの進化発生学で紐解く新たな器官の獲得・形成メカニズム |
| 石田 直樹 | 京都大学 大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 有機金属化学分野 | 准教授 | 光と遷移金属触媒による糖質の化学変換反応の開発 |
| 伊藤 太一 | 九州大学 基幹教育院 自然科学実験系部門 | 助教 | 刺胞動物をモデルとした睡眠制御因子の網羅的同定 |
| 上岡 麗子 | 北里大学 海洋生命科学部 水族機能生物学研究室 | 講師 | Trans-AT ポリケチド生合成遺伝子クラスターを持つ未開拓海洋細菌の探索および新規 trans-AT ポリケチド化合物の発見 |
| 大谷 哲久 | 自然科学研究機構 生理学研究所 細胞構造研究部門 | 助教 | 細胞間接着装置による創傷治癒応答の空間スケールの制御機構の解明 |
| 緒方 元気 | 慶應義塾大学 理工学部化学科 栄長研究室 | 特任講師 | 針状ダイヤモンドセンサを用いたノンラベリング緑内障点眼薬のリアルタイム in vivo 測定法の創出 |
| 岡本 直樹 | 筑波大学 生存ダイナミクス研究センター (TARA) 生理ダイナミクス | 助教 | 全身性カルシウム恒常性調節メカニズムの追究：個体形状変化をモデル系とした研究 |
| 小栗 靖生 | 京都大学 大学院農学研究科 食品生物科学専攻 栄養化学分野 | 助教 | 熟産生脂肪細胞の調節因子の同定と制御機構の解明 |
| 越智 拓海 | 神奈川大学 理学部生物科学科 小谷享研究室 | 特別助教 | 雄の性行動を司る脳-脊髄神経ネットワークとその動作メカニズムに関する研究 |
| 梶谷 卓也 | 福井大学 学術研究院工学系部門 生物化学研究室 | 日本学術振興会 特別研究員 | 遺伝子発現不均質性を生み出す内在性要因の解明 |
| 片岡 研介 | 自然科学研究機構 基礎生物学研究所 クロマチン制御研究部門 | 助教 | トランスポゾン排除する大規模ゲノム再編機構の解明 |
| 勝木 陽子 | 京都大学 大学院生命科学研究科 附属放射線生物研究センター 晩発効果研究部門 | 特定講師 | ファンconi貧血発症を制御するユビキチン化分子ネットワークの解明 |
| 久保 郁 | 国立遺伝学研究所 新分野創造センター システム神経科学研究室 | 准教授 | 視覚マップによる他個体の認識と行動制御メカニズムの解明 |
| 小池 誠一 | 富山大学 工学部 | 特命助教 | 細胞内導入したリボソームの振る舞いから理解する細胞の社会 |
| 小山 喬 | 長崎大学 総合生産科学域 海洋生物機能 | 准教授 | プリ性拮抗選択を遺伝子発現レベルで可視化する |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|------------------|---|-----------------------|--|
| 坂本 勇貴 | 大阪大学 大学院理学研究科 植物細胞生物 研究室 | 助 教 | 核と葉緑体の接着機構の解明 |
| 鈴木 匠 | 茨城大学 理学部理学科 生物化学コース 発生生物学研究室 | 助 教 | 神経幹細胞が多種多様な神経を一つ一つ作り分ける分子機構の解明 |
| Setiamarga Davin | 和歌山工業高等専門学校 生物応用化学科 地域共同テクノ センター | 准教授 | 生きた化石オウムガイのらせん型貝殻の形成メカニズムに関わる初期発生や生体鉱物化関連主要遺伝子の解明 |
| 高浪 景子 | 国立遺伝学研究所 マウス開発研究室 | 助 教 | アトピー性皮膚炎の増悪に関わる脳内メカニズムと性差解析 |
| 竹井 邦晴 | 大阪府立大学 大学院工学研究科 | 教 授 | 遠隔見守り・診断を目指した自動解析型フレキシブル健康管理システム |
| 竹田 弘法 | 理化学研究所 生命機能科学研究センター タンパク質機能・構造研究チーム | 基礎科学 特別研究員 | ミトコンドリア外膜における alpha ヘリカル膜タンパク質の動態解明 |
| 竹俣 直道 | 京都大学 工学研究科 合成・生物化学専攻 生物化学講座 生物化学工学分野 | 助 教 | コンデンシンを基盤としたアーキア染色体の構築機構 |
| 田尻 怜子 | 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻・遺伝システム 革新学分野 | 日本学術 振興会 特別研究員 | ハエ幼虫のコルセットとなる細胞外基質タンパク質群の機能解析 |
| 田中 若奈 | 広島大学 大学院統合生命科学研究所 (生物生産学部) | 助 教 | 植物における胚生幹細胞創生の光制御 |
| 谷藤 一樹 | 京都大学 化学研究所 附属元素科学国際研 究センター 錯体触媒変換化学研 究領域 | 助 教 | 元素置換・特異的ラベリングを利用した窒素還元酵素の成熟過程解析 |
| 田村 康 | 山形大学 理学部 物質生命化学科 | 教 授 | 新規オルガネラ間コンタクト因子の機能解析 |
| 長尾 遼 | 岡山大学 異分野基礎科学研究所 構造解析研究分野 | 特任講師 | カロテノイド改変に伴う光合成光化学系膜タンパク質複合体の機能構造研究 |
| 永田 理奈 | 京都大学 大学院生命科学研究所 システム 機能学分野 | 特定研究員 | スーパーコンペティションによる腫瘍制御機構の解明 |
| 橋本 恵 | お茶の水女子大学 アカデミック・プロダクション | 特任助教 | 脂質代謝異常が神経変性疾患を誘発する機構の解明 |
| 原 昌稔 | 大阪大学 生命機能研究科 染色体生物学研 究室 | 助 教 | 正確な染色体分配を支えるキネトコア複合体の構造と制御の解明 |
| 平池 勇雄 | 東京大学 保健・健康推進本部 | 助 教 | 「エネルギー消費の促進」に基づく肥満の精密医療を目指したゲノム-エピゲノム連関と遺伝子環境相互作用の研究 |
| 福光 甘斎 | 理化学研究所 脳神経科学研究センター 親和性社会行動研究チーム | 基礎科学 特別研究員 | 孤独感受性の性差を生み出す神経基盤の解明 |
| 船水 章大 | 東京大学 定量生命科学研究所 高度細胞多 様性研究センター 神経計算研究 分野 | 講 師 | 脳の単一学習則を実現する皮質-基底核回路の構成論的検証 |
| 松尾 和哉 | 京都工芸繊維大学 分子化学系 | 助 教 (テニュア トラック) | 光薬理学リガンドを効率的に開発するプラットフォームの確立 |
| 丸山 達朗 | 微生物化学研究会 微生物化学研究所 構造生物学研 究部 | 研究員 | マイトファジー初期過程における分子認識機構の解明 |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|---|-------|---|
| 水田 恒太郎 | 理化学研究所 生命機能科学研究センター 脳エピトランスクリプトミクス 研究チーム | 上級研究員 | アルツハイマー病の神経機能回路破綻における mRNA 化学修飾の役割 |
| 向井 康治朗 | 東北大学 大学院生命科学研究所 細胞小器 官疾患学分野 | 助 教 | リガンド非依存的な STING の活性化機構の解明 |
| 元村 一基 | 立命館大学 総合科学技術研究機構 生物資源 研究センター | 助 教 | 独自の植物ツールと多重遺伝子破壊を基盤とした分子 モーターミオシンが駆動する“生殖細胞の輸送動態” の解析 |
| 山元 淳平 | 大阪大学 大学院基礎工学研究科 機能化学 講座 生体機能化学グループ | 准教授 | ハンチントン病 CAG リピート異常伸長の促進因子の 探索 |
| 吉成 祐人 | 群馬大学 生体調節研究所 個体代謝生理学 分野 | 助 教 | 受容体型チロシンキナーゼ ROS1 (Sev) の機能解析 と新規リガンド探索 |
| 米原 圭祐 | 国立遺伝学研究所 多階層感覚構造研究室 | 教 授 | 空間認知機能の形成における網膜入力への役割 |

計 41 件

ライフサイエンス研究継続助成

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|---|-----|---------------------------------|
| 遠藤 裕介 | かずさ DNA 研究所 先端研究開発部 オミックス医科 科学研究室 | 室 長 | 制御性 T 細胞分化をプログラムする脂質代謝地図の解 読 |
| 深谷 雄志 | 東京大学 定量生命科学研究所 生命動態研 究センター | 准教授 | 核内微小環境形成を介した転写制御機構の解明 |
| 前澤 創 | 東京理科大学 理工学部 応用生物科学科 | 准教授 | 哺乳類生殖細胞分化を司るエピゲノム制御機構の解明 |
| 宮本 圭 | 近畿大学 生物理工学部 遺伝子工学科 分子発生工学研究室 | 准教授 | 核内アクチンタンパク質の生物学的意義の解明 |
| 山下 高廣 | 京都大学 大学院理学研究科 生物科学専攻 生物物理学系 分子生体情報学分野 | 講 師 | 眼と脳で受容する光情報の統合メカニズム |

計 5 件

特定研究助成

| 機 関 名 | 代表者 | 部科・職位 | 研 究 題 目 |
|------------------|--------|---|--|
| 金沢大学 | 簗 俊成 | 医学系 教授 | 内因性還元ストレス因子による糖尿病とその合併症の病態形成機構の解明 |
| がん研究会 | 藤田 直也 | がん化学療法センター 所長 | 患者由来腫瘍検体ならびにマウス腫瘍組織を用いた Ex vivo 統合的薬効評価システムの構築と新規治療法開発 |
| 関西医科大学 | 小早川 高 | 附属生命医学研究所 准教授 | 感覚創薬技術による脳、肝臓、腸の保護メカニズムの解明 |
| 群馬大学 | 川辺 浩志 | 大学院医学系研究科 教授 | 統合失調症と自閉スペクトラム症に共通したシナプス病態の解明を目指した学際的研究 |
| 神戸大学 | 内匠 透 | 大学院医学研究科 教授 | 炎症・免疫異常から見たこころの疾患の病態解明 |
| 帝京大学 | 月田 早智子 | 先端総合研究機構 教授 | クローディンを軸とした体系的上皮バリア研究の創薬シーズへの展開 |
| 東海大学 | 幸谷 愛 | 医学部 教授 | 劇症型 NK 白血病の標準治療開発にむけた病態解明と治療標的の同定 |
| 名古屋市立大学 | 澤本 和延 | 医学研究科 教授 | 神経発達・再生と腫瘍浸潤における細胞移動：共通するメカニズムの解明と創薬応用 |
| 名古屋大学 | 鈴木 洋 | 大学院医学系研究科 附属 神経疾患・腫瘍分子医学研 究センター 分子腫瘍学 教授 | 細胞内相分離の学際的研究に基づくヒト疾患の包括的理解 |
| 横浜市立大学 | 松本 直通 | 大学院医学研究科 遺伝学 教授 | ヒトリピート病の包括的研究拠点形成 |
| 琉球大学 | 黒柳 秀人 | 大学院医学研究科 教授 | mRNA プロセッシング制御を標的とした病態の解明と治療法の開発 |
| 量子科学技術研究 開発機構 | 村上 正晃 | 量子生命科学研究所 量子免疫学グループ グループリーダー | 超高感度量子計測による中枢神経疾患の発症機構解明と診断・治療技術開発 |

計 12 件

ビジョナリーリサーチ助成（スタート）

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|--|-------------------|--|
| 大澤 毅 | 東京大学 先端科学技術研究センター | 特任准教授 | 飽食時代の新規栄養感知機構を標的としたがん治療法の開発 |
| 大野 速雄 | 日本女子大学 理学部 化学生命科学科 | 講師 (PI) | エピジェネティック情報を伝達する脂質複合体の理解と利用 |
| 片野坂 友紀 | 岡山大学 学術研究院医歯薬学域 | 講師 | 新しい心不全治療の開発を目指した『心筋剛性制御のしくみ』の解明 |
| 金子 直樹 | 九州大学 大学院歯学研究院 顎顔面腫瘍制御学分野 | 助教 | 自己免疫疾患と COVID-19 の病態形成に関与する特異的 T 細胞・B 細胞の追求 ～多疾患に共通する潜在的な治療標的の探索～ |
| 河津 正人 | 千葉県がんセンター 研究所細胞治療開発研究部 | 部長 | 遺伝子および転写バリエーションの多様性理解に基づく悪性腫瘍のゲノム解析および病態解明 |
| 木岡 秀隆 | 大阪大学 大学院医学系研究科 循環器内科学 | 助教 | 心筋細胞内局所プロテオスタシスの理解と新概念に基づく心不全治療戦略の確立 |
| 北川 大樹 | 東京大学 大学院薬学系研究科 | 教授 | 分子夾雑な細胞内環境における非膜系オルガネラの形成原理の解明 |
| 木谷 友哉 | 京都府立医科大学 循環器内科 | 病院助教 | 心筋細胞の遺伝子制御ネットワーク解明による次世代心不全治療の標的探索 |
| 北西 卓磨 | 東京大学 大学院総合文化研究科 | 准教授 | 空間認識を支える脳領域間伝達の実体解明 |
| 木戸屋 浩康 | 福井大学 学術研究院医学系部門 血管統御学分野 | 教授 | 疾患進展を制御するアンジオクラインシステムの解明 |
| 楠山 譲二 | 東北大学 学際科学フロンティア研究所 新領域創成研究部 | 助教 | 胎盤をターゲットとした口唇口蓋裂の出生前予防 |
| 見學 美根子 | 京都大学 高等研究院 物質-細胞統合システム拠点 | 教授 | 脳の健康寿命の維持に向けたニューロンゲノム損傷防御機構の解明 |
| 佐々木 亮 | 京都大学 医学研究科 | 助教 | 柔軟な意思決定を導く霊長類大規模脳回路ネットワークの光遺伝学的調節 |
| 佐田 亜衣子 | 熊本大学 国際先端医学研究機構 | 特任准教授 | 表皮幹細胞ダイナミクスから紐解く皮膚再生と老化 |
| 佐藤 裕公 | 群馬大学 生体調節研究所 | 准教授 | 卵の老化を理解するための卵母性因子のハイスループット解析 |
| 関谷 元博 | 筑波大学 医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科 | 准教授 | 代謝産物センサー分子の同定によってもたらされた新しい考え方とその医療応用 |
| 高尾 知佳 | 岡山大学 学術研究院医歯薬学域 (医学系) | 助教 | 光 in vivo イメージングを用いた変形性関節症モデル及び薬剤スクリーニングシステムの開発 |
| 高山 賢一 | 東京都健康長寿医療センター 研究所 老化機構研究チームシステム加齢医学 | 専門副部長 | RNA 結合核酸制御因子を標的としたホルモン療法抵抗性がんに対する新規治療法の開発 |
| 竹本 研 | 三重大学 大学院医学系研究科 生化学分野 | 教授 | 生体内の全タンパク質光操作に向けた要素技術の開発 |
| 玉置 應子 | 理化学研究所 脳神経科学研究センター | 理研白眉研究チーム リーダー | 睡眠中の脳活動から、閃きの神経基盤を解明しその応用を探索する |
| 中川 勇人 | 三重大学 大学院医学系研究科 消化器内科学 | 教授 | AFP 陽性肝細胞の発現 signature に基づく新規肝再生・発癌抑止療法の開発 |
| 長谷部 理絵 | 自然科学研究機構 生理学研究所 生体機能調節研究領域 分子神経免疫研究部門 | 特任准教授 | 遠隔炎症ゲートウェイ反射の神経回路機能マーカー分子の同定 ～ニューロモデュレーションによる慢性炎症の予防・治療を目指して |
| 福井 一 | 国立循環器病研究センター研究所 細胞生物学部 | 室長 | 新規力学応答センサーの同定を目指した血流ベクトルを認識する心臓弁形成機構の解明 |
| 藤生 克仁 | 東京大学 大学院医学系研究科 | 特任准教授 | 心血管ストレスの新しい感知・統合機構による恒常性維持機構とその破綻機序の解明 |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|---|-----|--|
| 松井 秀彰 | 新潟大学 脳研究所 | 教授 | 二大神経変性疾患の全く新しい病態仮説 |
| 松下 博和 | 愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫制御 TR 分野 | 分野長 | 肺癌に対する術後再発予防がんワクチン開発に向けた T 細胞受容体-抗原ペア同定システムの改良 |
| 松村 欣宏 | 東京大学 先端科学技術研究センター | 准教授 | エピゲノムを介した世代を超えるエネルギー代謝制御の研究 |
| 宮成 悠介 | 金沢大学 ナノ生命科学研究所 | 准教授 | 単一細胞解析による細胞運命決定機構の理解 |
| 山口 智之 | 東京薬科大学 生命科学部 生命医科学科 | 教授 | 動物発生環境を利用したヒト臓器創出法の確立 |
| 山本 毅士 | 大阪大学 大学院医学系研究科 腎臓内科学 | 医員 | 1 細胞 RNA-seq 解析を用いた AKI to CKD transition の病態解明と治療応用 |
| 和氣 弘明 | 自然科学研究機構 生理学研究所 基盤神経科学研究 領域 多細胞回路動態研究部門 | 教授 | ホログラフィック情報伝送による精神疾患の解明 |

計 31 件

ビジョナリーリサーチ継続助成（ホップ）

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|-------------------------------------|-------|--|
| 大橋 紹宏 | 国立がん研究センター 先端医療開発センター | ユニット長 | 癌細胞における染色体不安定性が引き起こす細胞内ストレス反応 |
| 小田 裕香子 | 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 | 助教 | 生体由来バリア形成因子の作用機序の解明とその応用 |
| 辻田 和也 | 神戸大学 バイオシグナル総合研究センター | 講師 | 細胞膜張力によるがん浸潤・転移の制御機構の解明と治療への応用 |
| 中本 伸宏 | 慶應義塾大学 医学部・消化器内科 | 准教授 | 原発性硬化性胆管炎の病態解明、および新規治療法の開発 |
| 橋本 均 | 大阪大学 大学院薬学研究科 神経薬理学分野 | 教授 | 中枢創薬を加速する全脳細胞研究 |
| 長谷川 恵美 | 筑波大学 医学医療系 | 助教 | ポジティブな感情を欠損させたマウスの睡眠・覚醒と行動変化の関係性の探索 |
| 星野 温 | 京都府立医科大学 循環器内科 | 学内講師 | 疾患抵抗性遺伝子変異ゲノム編集による神経変性疾患克服 |
| 安原 崇哲 | 東京大学 大学院医学系研究科 | 助教 | 転写活性化領域における DNA 二重鎖切断応答の統合的理解を通じたがんゲノム異常発生機構の解明 |
| 谷内田 真一 | 大阪大学 大学院医学系研究科 ゲノム生物学講座・がんゲノム情報学 | 教授 | “Microbiome-based Precision Medicine” を見据えた腸内細菌叢の変動に基づく大腸癌発症機構の解明と予防法の創出 |
| 柳井 秀元 | 東京大学 先端科学技術研究センター | 特任准教授 | 異常自己分子による免疫応答の発動・調節機構の解明と疾患病態との関わり解明 |

計 10 件

ビジョナリーリサーチ継続助成（ステップ）

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|--------------------------------------|---------|---|
| 大石 由美子 | 日本医科大学 生化学・分子生物学 (代謝・栄養学) | 大学院教授 | 筋難病に対する細胞移植治療を見据えた骨格筋幹細胞の新規培養法の開発 |
| 久保田 義頭 | 慶應義塾大学 医学部 解剖学教室 | 教授 | 血管ネットワーク多様性の獲得原理 |
| 小泉 修一 | 山梨大学 大学院総合研究部医学域 | 教授 | グリア細胞の Ca ²⁺ 興奮性異常からみた各種脳疾患の診断及び治療戦略 |
| 柴田 淳史 | 群馬大学 未来先端研究機構 | 准教授 | DNA 修復経路操作を可能とする創薬開発に向けた分子標的的探索 |
| 田中 元雅 | 理化学研究所 脳神経科学研究センター タンパク質構造疾患研究チーム | チームリーダー | アミロイドの人工的制御を目指して |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|------|----------------|-----|----------------------------|
| 丸山 剛 | 早稲田大学 高等研究所 | 准教授 | 新規がん予防薬スクリーニングと変異細胞排除メカニズム |

計 6 件

ビジョナリーリサーチ継続助成（ジャンプ）

（採択なし）

中学校・高等学校理科教育振興助成

<中学校>

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|---------------------|-------|---|
| 新井 直志 | 筑波大学附属中学校 | 教諭 | 南極観測を活用した中学校理科教材の開発と探究的な学習のプログラムの研究 |
| 市原 千明 | 星槎名古屋中学校 | 教諭 | 不登校特例校における、たのしい科学の授業の実践。 ～《もしも原子がみえたなら》を活用した原子論教育を軸として～ |
| 大方 祐輔 | 広島大学附属福山中・高等学校 | 教諭 | 持続可能な地域資源のあり方について科学的な視点から学ぶ「地域共創エコツアー」の開発 |
| 片石 一成 | 青森山田中学高等学校 | 講師 | 中学校理科地学分野における洪水の仕組みの自作モデル及び土砂崩れの仕組みについての自作モデルを用いた自然災害への理解を深め防災意識を高める単元学習の開発 |
| 加藤 伸明 | 山ノ内町立山ノ内中学校 | 教諭 | 生態系の物質循環に関する学習者の概念変容 |
| 河合 信之 | 神戸市立井吹台中学校 | 教諭 | 生徒実験による実測値を使って分解する角度と分力の大きさとの関係を学習する効果の検証 |
| 北澤 太郎 | 洛星中学校 | 教諭 | 生徒1人1人が主体となる、アリを教材とした探究チームの構築 |
| 雑賀 大輔 | 米子市日吉津村中学校組合立箕蚊屋中学校 | 教諭 | 自作3Dモデル教材およびメタパースにおける理科実習空間の作成と活用 |
| 菅原 鮎実 | 啓明学園中学校高等学校 | 教諭 | 野鳥の長期的なモニタリングを通じた自然観察プログラムの策定 |
| 関 勇太 | 坂城町立坂城中学校 | 講師 | 日本の伝統的製鉄法である「たたら製鉄」を学校で実施する簡易法の研究 |
| 中里 直 | 新島村立式根島中学校 | 主幹教諭 | セミ鳴音分析による環境評価方法の開発とSTEAM教育への活用 |
| 奈良 大 | 愛知教育大学附属名古屋中学校 | 教諭 | 中学理科における消化酵素の働きを調べる新たな実験の開発 |
| 南部 竜人 | 追手門学院大手前中・高等学校 | 教諭 | SDGsなどの社会問題をロボット開発による解決を目指した教育活動の展開 －患者を勇気づける医療支援ロボットの開発－ |
| 南里 翔平 | 市川学園市川中学校・高等学校 | 教諭 | 中学校理科演示実験のためのフーコーの振り子実験装置の開発 |
| 西澤 輝 | 千葉大学教育学部附属中学校 | 非常勤講師 | 中学校理科第2分野地学領域における動的デジタル教材の開発と実践 ～生徒個人の端末での使用を目指して～ |
| 藤本 将秀 | 大田区立御園中学校みらい教室 | 教諭 | 中学生の粒子概念を測定するための調査問題の開発と粒子概念の形成を目指した授業実践の提案 |
| 丸山 澄美 | かつやま子どもの村中学校 | 教諭 | 総合学習におけるモノづくりと環境教育 |
| 宮崎 亮平 | 守山市立守山南中学校 | 教諭 | 自己有用感を育む理科授業 ～スマートフォンを活用した顕微鏡観察を通して～ |
| 森岡 啓 | 関西学院千里国際中等部・高等部 | 教諭 | 中学校地学領域における実体顕微鏡での観察 |

計 19 件

<高等学校>

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|-------|--------------|------|---|
| 東 竜一郎 | 沖縄県立辺土名高等学校 | 教諭 | 「学校生き物博物館」を拠点とした環境学習プログラムの構築と在来生物の普及・保存活動 |
| 阿部 勲 | 宮城県古川工業高等学校 | 教諭 | イオン液体及びナノスーツ液を用いた微生物の電子顕微鏡による撮影の試行 |
| 有蘭 愛 | 鹿児島県立鶴丸高等学校 | 実習助手 | 光合成色素の分離実験での、実験方法の検討と、再現性を出すための工夫について |
| 井川 健太 | 石川県立金沢泉丘高等学校 | 教諭 | LEGOでサイエンス! |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|------------------------|-------------------------|--|
| 生田 依子 | 奈良県立青翔中学校・高等学校 | 教諭 スーパーサイエンス部 副部長 | ヤマトマナを低カリウム化し、同時に黄化(クロロフィル減少)を温湯処理で改善する |
| 伊藤 政夫 | 名古屋市立向陽高等学校 | 教諭 | 種子の発芽における光の影響についての実験開発 |
| 乾 大介 | 市川学園市川中学校・高等学校 | 教諭 | 王水溶存金イオンからの顕微鏡下での金樹の作成 |
| 井村 有里 | 大阪教育大学附属高等学校 天王寺校舎 | 教諭 | 屋久島研修旅行における現地高校生との交流地学巡検プログラムの開発 |
| 岩田 浩義 | 大垣工業高等学校(定時制) | 教諭 | ものづくりや実験を通して楽しく主体的に学ぶ理科教育の実践 ～「科学と人間生活(物質の科学、生命の科学)」編～ |
| 岩藤 英司 | 東京学芸大学附属高等学校 | 教諭 | 高等学校化学における新学習指導要領の理念に沿った新しい実験授業の構築～生活と化学の関連を重視した探究実験ユニットの開発～ |
| 大川原 史也 | 京都府立嵯峨野高等学校 | 教諭 | 京都府における地衣類の分布調査と地衣類由来新規生理活性物質の探索 |
| 大倉 香人 | 貞静学園中学校・高等学校 | 教諭 | 高等学校「生物」におけるNGS(次世代シーケンサー)を活用した実践的な授業法の研究 |
| 大野 佑二郎 | 広島県立西条農業高等学校 | 教諭 | 生徒が主体となったものづくり活動の開発と学科間連携の促進 ～廃棄羽毛を利用した新窒素肥料の開発を通して～ |
| 岡原 正直 | 大阪府立佐野工科高等学校 定時制の課程 | 講師 | 工科高校定時制におけるSTEAM教育教材の開発 -個別最適かつ協同的な学びの視点からの防災ラジオの製作- |
| 表 潤一 | 仙台城南高等学校 | 常勤講師 | ウニ卵の保存と成体ウニの恒温環境下における産卵期の維持 |
| 賀澤 勝利 | 千葉県立松戸馬橋高等学校 | 教諭 | 鉱物の分析に関する研究 |
| 加戸 百合 | 東京都立日比谷高等学校 | 主任教諭 | 天然物から香成分を分離抽出・確認法の開発 -生徒の興味関心を高める導入実験、課題研究実験- |
| 亀井 邦彦 | 東洋大学附属姫路高等学校 | 教諭 | 海からの実用的な資源抽出 |
| 川勝 和哉 | 兵庫県立姫路東高等学校 | 部長、 主幹教諭 | サボテンの系統樹上における種間距離と刺座の配列の規則性の関係 |
| 河田 淳一 | 北海道滝川高等学校 | 教諭 | 安全な超音速体感実験とマイクロストップウォッチの普及 |
| 北迫 拓史 | 鹿児島県立錦江湾高等学校 | 教諭 | BSアンテナで局地的豪雨予測 |
| 木村 健太郎 | 愛媛県立宇和島水産高等学校 | 教諭 | 生物学実験及び実習の動画教材化 |
| 倉田 亮輔 | 長野県須坂高等学校 | 教諭 | 高等学校教育現場における生徒実験教材の開発(光の干渉実験機、スターリングエンジン、ウィムズハースト起電機) |
| 佐々木 徹 | 北海道紋別高等学校 | 教諭 | ラズベリーパイを用いた教育実践 |
| 佐藤 功 | 都立久留米西高等学校 | 指導教諭 | コイル内の磁束の変化による交流発生説明器と黒板上で交流回路(RLC回路)を説明する工夫 |
| 佐藤 崇之 | 山形県立高島高等学校 | 教諭 | ウナギの原産地は本当?ウナギの品種を判別する実験の実施にむけて |
| 讃岐 斉 | 鹿児島県立国分高等学校 | 教諭 | 霧島ジオパークの自然を探る! ～鹿児島県天降川水系を中心とした淡水性エビ類の分布と生態に関する研究～ |
| 杉戸 大樹 | 三重県立四日市南高等学校 | 教諭 | 日常生活の身近な素材を用いた授業および課外活動における探究学習の開発 ～分野・科目・教科横断的な視点をもって～ |

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|---------------|--------------|---|
| 鈴木 朋子 | 茗溪学園高等学校 | 教諭 | 外来植物ナガミヒナゲシのアレロパシー作用の解明 |
| 高田 将一 | 北海道文教大学附属高等学校 | 教諭 | 食物科と理科の連携による、“キッチン・サイエンス”の授業プログラムの構築と実践 |
| 高橋 和成 | 岡山龍谷高校 | 非常勤講師 | 粘菌から見た人為的創成環境の生態系機能評価 |
| 辻本 将太 | 滝川第二高等学校 | 教諭 | 実験実習の個別化のための条件整備 |
| 槌谷 大作 | 土佐女子中学高等学校 | 教諭 | 高知県西南地域の中小型野生動物の生態調査 ～学年間の相乗効果による主体的な探究心の育成～ |
| 東城 秀人 | 白梅学園高等学校 | 教諭 | 高校における定量的測定を通して学ぶ光合成 |
| 外ノ岡 和政 | 二松学舎大学附属高等学校 | 専任教諭 (理科) | 都市鉱山から金 (GOLD) 資源を採掘する体験教育の構築 |
| 馬場 吉弘 | 新潟県立十日町高等学校 | 教諭 | ペットショップで販売されている野生メダカ (クロメダカ) の出身地を調べる! |
| 平井 俊男 | 大阪府立長尾高校 | 教諭 | 淀川水系における複数河川の RpH (Reserved pH) に関する研究 |
| 廣瀬 僚太 | 山形県立村山産業高等学校 | 学科長:教諭 | ソバにおけるエンドファイトの生育促進効果に影響する要因の評価 |
| 福島 伸一 | 長野県下高井農林高等学校 | 教諭 | 里山における自然観察教育の試み |
| 藤津 亜季子 | 埼玉県立熊谷西高等学校 | 教諭 | Hemerocallis 属における生息地の違いと種分化に関する系統解析 |
| 藤原 正人 | 兵庫県立小野高等学校 | 教諭 | 里山のクスノキ科植物の利用 ～より快適な生活環境の創造に向けて～ |
| 藤原 将智 | 広島市立沼田高等学校 | 教諭 | 生ごみコンポストを活用した土壌中の化学成分の変化とその有用性 ～地域社会と環境問題を捉えた実践的研究～ |
| 別木 政彦 | 島根県立宍道高等学校 | 教諭 | 来待石に潜在するサイエンスアート -石のためきが宍道湖を美しくする?- |
| 前田 学 | 石川県立小松高等学校 | 教諭 | 想像力で未来創造! 3D モデリング& 3D プリントによる教材開発と探究活動 |
| 間世田 雄人 | 岐阜県立大垣養老高等学校 | 教諭 | 出芽酵母のスクリーニングと醸造特性および醤油酵母による速醸試験 |
| 末栄 良弘 | 石川県立津幡高等学校 | 非常勤講師 | バネ振動の周期からバネ定数 k を求める実験探究学習の開発 |
| 松久 恵巳子 | 神奈川大学附属中・高等学校 | 教諭 | ルーツを探れ! -好奇心が育むバイオテクノロジーの学び- |
| 松本 現 | 茨城県立土浦第三高等学校 | 教諭 | 地表付近の地電流の測定 (2 年目) |
| 三代 智子 | 島根県立安来高等学校 | 教諭 | 宍道 (しんじ) 湖 (こ) ・中海 (なかうみ) ・汽水湖電池 ～汽水湖の塩分濃度の違いから電圧を得る一工夫～ |
| 森口 佳凜 | 京都府立桃山高等学校 | 教諭 | 京都市伏見区日野の地質学的特徴を活かした地学教材の開発 |
| 和田 真由美 | 高知県立高知小津高等学校 | 教諭 | 高大連携の協働研究を通して思考力・判断力を養う ～冬の北陸上空に発生する高高度発光現象をテーマに～ |

計 51 件

杏雨書屋研究助成

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|-------------------------------|------------|--|
| 顧 嘉晨 | 東京大学 大学院人文社会系研究科 | 博士課程 後期 | 日本医学史における明遺民の歴史的位置づけ －遺民医師戴曼公に関する研究－ |
| 島野 達雄 | 関西学院大学 共通教育センター | 非常勤講師 | 吉田宗恂『医方大成論抄』の成立 |
| 成高雅 | 京都大学 大学院人間・環境学研究科 | 博士課程 後期 | 江戸後期医学における考証学派の成立と展開 |
| 西留 いずみ | 國學院大學 大学院文学研究科 史学専攻 | 特別研究員 | 蘭学者の知識形成に関する研究 －佐賀藩蘭学者を中心に |
| 松崎 範子 | 熊本大学医学部同窓会（熊杏会） 肥後医育ミュージアム | 研究員 | 村井椿寿（琴山）の医論と吉益南涯 |
| 丸山 裕美子 | 愛知県立大学 日本文化学部 | 教授 | 東アジアにおける『銅人腧穴鍼灸図経』の出版と普及 －宋から明、朝鮮・日本－ |

計 6 件

2022年度 応募件数・採択件数・採択率

| プログラム名 | 応募件数 | 採択件数 | 採 択 率 |
|----------------------|--------------|------------|------------|
| 武田報彰医学研究助成 | 26 | 10 | 38% |
| ハイリスク新興感染症研究 | 66 | 10 | 15% |
| 生命科学研究助成 | 199 | 30 | 15% |
| 医学系研究助成（がん領域・基礎） | 116 | 45 | 39% |
| 医学系研究助成（がん領域・臨床） | 51 | 22 | 43% |
| 医学系研究助成（精神・神経・脳領域） | 128 | 50 | 39% |
| 医学系研究助成（感染領域） | 60 | 23 | 38% |
| 医学系研究助成（基礎） | 168 | 66 | 39% |
| 医学系研究助成（臨床） | 91 | 36 | 40% |
| 医学系研究助成（小計） | 614 | 242 | 39% |
| 医学系研究継続助成（がん領域・基礎） | 7 | 2 | 29% |
| 医学系研究継続助成（がん領域・臨床） | 4 | 2 | 50% |
| 医学系研究継続助成（精神・神経・脳領域） | 19 | 8 | 42% |
| 医学系研究継続助成（感染領域） | 6 | 2 | 33% |
| 医学系研究継続助成（基礎） | 23 | 10 | 43% |
| 医学系研究継続助成（臨床） | 11 | 5 | 45% |
| 医学系研究継続助成（小計） | 70 | 29 | 41% |
| 薬学系研究助成 | 135 | 40 | 30% |
| 薬学系研究継続助成 | 17 | 5 | 29% |
| ライフサイエンス研究助成 | 175 | 41 | 23% |
| ライフサイエンス研究継続助成 | 14 | 5 | 36% |
| 特定研究助成 | 31 | 12 | 39% |
| ビジョナリーリサーチ助成 | 421 | 31 | 7% |
| ビジョナリーリサーチ継続助成（ホップ） | 32 | 10 | 31% |
| ビジョナリーリサーチ継続助成（ステップ） | 12 | 6 | 50% |
| ビジョナリーリサーチ継続助成（ジャンプ） | 6 | 0 | 0% |
| 中学校理科教育振興助成 | 22 | 19 | 86% |
| 高等学校理科教育振興助成 | 60 | 51 | 85% |
| 杏雨書屋研究助成 | 9 | 6 | 67% |
| 合計 | 1,909 | 547 | 29% |

2022年度来日外国人留学研究者(国別人数)

〈2023年3月31日現在〉

| 国 別 | 2022年度 計画 (人数) | 2022年度 承認 (人数) | 実 績 (人数) | | | | 備 考 |
|---------|----------------------|----------------------|----------|-----------|-----------|----|--------------|
| | | | 本年度 | 前年度 繰越 | 次年度 繰上 | 計 | |
| 台 湾 | 3 | 2 | 1 | 5 | | 6 | 1名次年度繰越 |
| タ イ | 6 | 6 | 5 | 15 | | 20 | 1名次年度繰越 |
| フィリピン | 6 | 6 | 6 | 12 | | 18 | |
| 韓 国 | 3 | 1 | 0 | 4 | | 4 | 1名次年度繰越 |
| 中 国 | 8 | 8 | 6 | 14 | | 20 | 2名次年度繰越 |
| インドネシア | 6 | 2 | 2 | 10 | | 12 | |
| ベトナム | 3 | 3 | 2 | 4 | | 6 | 1名次年度繰越 |
| 7ヵ国 小計 | 35 | 28 | 22 | 64 | | 86 | |
| 上記7ヵ国以外 | 10 | 7 | 5 | 8 | | 13 | 1名次年度繰越、1名辞退 |
| 総 計 | 45 | 35 | 27 | 72 | | 99 | |

2022年度外国人留学研究者明細

2022/4/1-2023/3/31来日者

| 氏 名 | 所 属 | 研究機関 |
|-------------------------------|--|---|
| 中 国 | | |
| Huan Wang 王煥 2019年度 | The First Affiliated Hospital of Harbin Medical University | 新潟大学大学院医歯学総合研究科 機能再生医学講座整形外科学分野 |
| Yan Wang 王岩 2020年度 | The Fourth Hospital of Harbin Medical University | 藤田医科大学ばんたね病院 循環器内科 |
| Hongwei Huang 黄红维 2020年度 | The People's Hospital of Guangxi Zhuang Autonomous Region | 順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科 |
| Tao Xiao 肖焘 2020年度 | The First Affiliated Hospital of Nanchang University | 東京大学医学部附属病院 胃食道外科 |
| Hui Ye 叶暉 2020年度 | Affiliated Hospital of Guizhou Medical University | 東京医科歯科大学 頭頸部外科学分野 |
| Shuaifeng Yang 杨帅峰 2020年度 | The First People's Hospital of Yunnan Province | 東京大学医学部附属病院 脳神経外科 |
| Jun Jiang 姜隼 2020年度 | The Affiliated Hospital of Southwest Medical University | 順天堂大学医学部附属順天堂医院 乳腺科 |
| Yihuan Wu 吴毅欢 2020年度 | Fujian Maternity and Child Health Hospital | 慶應義塾大学医学部 麻酔学教室 |
| Yanying Ren 任延英 2021年度 | The Second Hospital of Dalian Medical University | 東京大学医学部附属病院 大腸・肛門外科 |
| Wei Xu 徐巍 2021年度 | The First Affiliated Hospital of Fujian Medical University | 愛知医科大学病院 眼科 |
| Chang Dong 董昶 2021年度 | Hainan General Hospital | 熊本大学大学院生命科学研究部 知覚生理学教室 |
| Jingwei Wang 王静威 2021年度 | The First Affiliated Hospital of Guangxi Medical University | 東京医科歯科大学大学院 運動器外科学 |
| Junhua Du 杜俊华 2021年度 | The First Affiliated Hospital of Anhui Medical University | 順天堂大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 |
| Dong Li 李栋 2021年度 | Shandong Provincial Hospital affiliated to Shandong First Medical University | 慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 |
| Zhaohui Guo 郭朝暉 2021年度 | The Fourth Affiliated Hospital of Harbin Medical University | 静岡てんかん・神経医療センター |
| Hui Yang 杨暉 2021年度 | The Affiliated Cancer Hospital of Zhengzhou University | 京都大学大学院生命科学研究科 がん細胞生物学分野 |
| Rong Li 李蓉 2021年度 | The First Affiliated Hospital of Xi'an Medical University | 東京医科歯科大学病院 眼科 |
| Shengze Deng 邓圣泽 2021年度 | The First Affiliated Hospital of Nanchang University | 大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経外科学教室 |
| Xi Lin 林曦 2021年度 | Fujian Provincial Hospital | 慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 |
| Jinjian Yao 姚津剑 2021年度 | Hainan General Hospital | 順天堂大学大学院医学研究科 救急・災害医学 |
| 小 計 | 20名 | |
| 台 湾 | | |
| Po-Sen Huang 黄柏森 2020年度 | Chi-Mei Medical Center | 札幌心臓血管クリニック 循環器内科 |
| Tzu-Yen Chang 張子彦 2020年度 | National Cheng Kung University Hospital | 広島大学病院 国際リンパ浮腫治療センター |
| Min-Ling Hsieh 謝旻玲 2020年度 | National Cheng Kung University Hospital | 神奈川県立こども医療センター 循環器内科・心臓血管外科 |
| Yu-Ying Chu 朱育瑩 2021年度 | Chang Gung Memorial Hospital, Linkou | 東京大学大学院医学系研究科 感覚・運動機能医学講座 口腔顎顔面外科学分野 |
| Yi-Chun Wu 鄔逸群 2021年度 | Shuang Ho Hospital | 広島大学病院 国際リンパ浮腫治療センター |
| Chun-Sheng Shen 沈群勝 2021年度 | Kaohsiung Municipal Siaogang Hospital | NTT東日本 関東病院 消化器内科 |
| 小 計 | 6名 | |

| 氏 名 | 所 属 | 研 究 機 関 |
|-----|-----|---------|
|-----|-----|---------|

韓 国

| | | |
|--------------------------|--------------------------------------|---|
| Seung Kak Shin 2020年度 | Gachon University Gil Medical Center | 筑波大学 トランスポーター医学研究センター統合医科学研究部門がん免疫治療研究分野 |
| Goohyeon Hong 2021年度 | Dankook University Hospital | 名古屋医療センター 呼吸器内科 |
| Suk-Kyoon Song 2021年度 | Daegu Catholic University | 産業医科大学若松病院 整形外科 |
| Sangho Shin 2021年度 | Korea University Ansan Hospital | 九州大学大学院医学研究院 精神病態医学 |
| 小 計 | 4名 | |

ベトナム

| | | |
|-----------------------------------|---|----------------------------------|
| Nghiep Chan Ngo 2020年度 | City Children's Hospital | 国立成育医療研究センター 手術・集中治療部 |
| Truong Phan Xuan Nguyen 2020年度 | Cho Ray Hospital | 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部 |
| Nhu Thi Hanh Vu 2020年度 | University of Medicine & Pharmacy | 広島大学病院 内視鏡診療科 |
| Phu Ngoc Dao 2020年度 | Hanoi Medical University | 国立国際医療研究センター病院 第二呼吸器内科 |
| Trung Viet Nguyen | Bach Mai Hospital | 国際医療福祉大学医学部 病理学 |
| Tho Ngoc Qu nh L | University Medical Center at Ho Chi Minh City | 公益財団法人がん研究会 がん研究所病理部 |
| 小 計 | 6名 | |

フィリピン

| | | |
|---|--|-----------------------------------|
| Corrine Sison de Jesus 2020年度 | Quirino Memorial Medical Center | 京都大学大学院医学研究科 皮膚科学講座 |
| Francia Victoria Abarcar De Los Reyes 2020年度 | The University of the East Ramon Magsaysay Memorial Medical Center (UERMMMC) | 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部 |
| Pacifico Eric Eusebio Calderon 2020年度 | St Luke's Medical Center College of Medicine | 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 基礎看護学講座 |
| Preeti Purna Mahbubani Vaswani 2020年度 | Providence Hospital | 北海道大学病院 血液内科 |
| Karla Mae Ramento Sarmiento 2020年度 | | ひろしば耳鼻咽喉科 |
| Eleanor Palonpon Bernas 2020年度 | Jose B. Lingad Memorial Regional Hospital | ひろしば耳鼻咽喉科 |
| Juan Armando Dorion Diaz 2021年度 | Our Lady of Mt. Carmel Medical Center | 札幌心臓血管クリニック 循環器内科 |
| Jenna Marie Carreon Quiroga 2021年度 | Quirino Memorial Medical Center | 東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| Jay-V James Gatdula Barit 2021年度 | Medical Center Imus | 大阪市立大学大学院医学研究科 皮膚病態学 |
| Maria Rosa Noliza Felizardo Encarnacion 2021年度 | East Avenue Medical Center | 大阪市立大学大学院医学研究科 皮膚病態学 |
| Mark Malalay Ando 2021年度 | University of the Philippines, Philippine General Hospital | 国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科 |
| Leighnette Leviste Geronimo 2021年度 | | ひろしば耳鼻咽喉科 |
| Redentor Bate Magdayao | Eastern Visayas Medical Center | 東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| Martin Louie Sagmit Bangcoy | Metro Rizal Doctors Hospital | 金沢大学附属病院 整形外科 |
| Jerre Co De Guzman | Tayug Family Hospital | 奈良県立医科大学 スポーツ医学講座 |
| Anne Marie Mayo Milo | University of Santo Tomas Hospital | 奈良県立医科大学 整形外科科学教室 |
| Mabel Angela Tiongson Sarita | St. Luke's Medical Center | 神戸大学大学院医学研究科 内科学講座消化器内科学分野 |
| Sherwin Nadonga Agustin | Isshiki Memorial Voice Center Manila | 京都耳鼻咽喉音聲手術医院 |
| 小 計 | 18名 | |

| 氏 名 | 所 属 | 研 究 機 関 |
|---|------------------------------------|------------------------------------|
| タ イ | | |
| Anukoon Kaewborisutsakul 2019年度 | Songkhlanagerind Hospital | 東京女子医科大学附属足立医療センター 脳神経外科 |
| Duangmontree Rojdamrongratana 2020年度 | Thammasat University | オキユロフェイシャルクリニック東京 |
| Danunan Jiraviboon 2020年度 | Chumphae Hospital | 東京医科歯科大学医学部附属病院 生体集中管理学分野 |
| Chainarong Treewattanakul 2020年度 | Chiang Kham Hospital | 東京慈恵会医科大学 泌尿器科 |
| Tanan Bejrananda 2020年度 | Songkklanagarind Hospital | 藤田医科大学 腎泌尿器外科学 |
| Piyanun Wangkulangkul 2020年度 | Prince of Songkla University | 大分大学医学部 消化器・小児外科学講座 |
| Pakornkit Phrueksaodomchai 2020年度 | Thammasat University Hospital | 日本医科大学 眼科学教室 |
| Suppakorn Malikhao 2020年度 | Maharat Nakhon Ratchasima Hospital | 愛知県がんセンター 病院 消化器内科部 |
| Chorthip Wattanasutthipong 2020年度 | Pranangklae Hospital | 日本医科大学付属病院 小児科 |
| Nattawut Keeratibharat 2020年度 | Suranaree University of Technology | 名古屋大学大学院医学系研究科 肝胆膵外科学分野 |
| Vich Yindeedej 2021年度 | Thammasat University | 大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経外科学教室 |
| Wanrattha Tangkitwanitch 2021年度 | Nongkhai Hospital | 藤田医科大学医学部 リハビリテーション医学I講座 |
| Patsaree Pattanasuwanna 2021年度 | Nakhon Pathom Hospital | 藤田医科大学医学部 リハビリテーション医学I講座 |
| Kanlaya Thanaphiphatchai 2021年度 | Maesot General Hospital | 大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学教室 |
| Wiwantanee Kusuwan 2021年度 | Jainad Narendra Hospital | 島根大学医学部 手術部 |
| Saran Phophruksawong | Phothong Hospital | 島根大学医学部医学科 総合医療学 |
| Krerkrit Kijpongpan | Naresuan University Hospital | 東京女子医科大学 消化器病センター消化器・一般外科 肝胆膵外科 |
| Punnawat Chandrachamng | Vajira Hospital | 国立がん研究センター 東病院 大腸外科 |
| Chantana Polprasert | Chulalongkorn University | 福井大学医学部 病態制御医学講座 |
| Suttasinee Petsakul | Prince of Songkla University | 亀田総合病院 集中治療科 |
| 小 計 | 20名 | |

インドネシア

| | | |
|------------------------------------|-------------------------|-----------------------------------|
| Ade Yonata 2020年度 | Abdul Moeloek Hospital | 東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 |
| Eustachius Hagni Wardoyo 2020年度 | Mataram University | 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター |
| Mia Milanti Dewi 2020年度 | Hasan Sadikin Hospital | 神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野 |
| Zulvikar Syambani Ulhaq 2020年度 | University of Malang | 九州大学大学院農学研究院 附属国際農業教育・研究推進センター |
| Raisul Maarif 2020年度 | Maba Hospital | 東京女子医科大学東医療センター 脳神経外科 |
| Faisal Parlindungan 2020年度 | University of Indonesia | 慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科 |
| Perdana Aditya Rahman 2020年度 | Universitas Brawijaya | 慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科 |
| Saptadi Yulianto 2020年度 | Saiful Anwar Hospital | 国立成育医療研究センター病院 手術・集中治療部集中治療科 |
| Adiguno Suryo Wicaksono 2020年度 | Sardjito Hospital | 虎の門病院 脳神経血管内治療科 |
| Andi Dian Permana 2021年度 | Hasanuddin University | 九州大学大学院工学研究院応用化学部門 機能組織化学講座 |
| Riski Muhaimin | Universitas Indonesia | 東京医科歯科大学 小児科 |
| Kristy Iskandar | Universitas Gadjah Mada | 神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野 |
| 小 計 | 12名 | |

| 氏 名 | 所 属 | 研究機関 |
|--|---|--------------------------------------|
| そ の 他 | | |
| Karthick Velu 2020年度 インド | Sathyabama Institute of Science and Technology | 物質・材料研究機構 MANA超分子グループ |
| Avaz Alisher o'g'li Ismailov 2020年度 ウズベキスタン | Republican Research Center of Emergency Care | 杏林大学医学部附属病院 形成外科 |
| Shadil Ibrahim Wani 2021年度 インド | Sheri-Kashmir Institute of Medical Sciences | 富山大学学術研究部工学系 中村研究室 |
| Galymzhan Baurzhan Issabekov 2021年度 カザフスタン | Neurological Rehabilitation Shashkin Clinic | 熊谷総合病院 |
| Soo Lin Chuah 2021年度 マレーシア | University Malaya | 国立成育医療研究センター 手術・集中治療部 |
| Sushmita Pradhan 2021年度 ネパール | | 大阪市立大学大学院医学研究科 皮膚病態学 |
| Flora Ruth Aigbe 2021年度 ナイジェリア | University of Lagos | 大阪大学 蛋白質解析先端研究センター 計算生物学研究室 |
| Francis Chukwuebuka Campbell 2021年度 ナイジェリア | Memfys Hospital | 信州大学医学部 脳神経外科学教室 |
| Nusret Kaya トルコ | Izmir Katip Celebi University | 熊本大学生命科学研究部 サイエンスファーム生体機能化学共同研究講座 |
| Maruf Makhsudovich Matmusaev ウズベキスタン | Republican Specialized Scientific Practical Medical Center of Neurosurgery | 名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 |
| Gaurav Harshadbhai Bavadiya インド | Hanumant Hospital | 東京慈恵会医科大学 泌尿器科 |
| Sayantani Misra インド | Jawaharlal Nehru Hospital and Research Centre | 国立成育医療研究センター 臓器・運動器病態外科部 |
| Mariana Silva de Almeida Araujo ブラジル | Hospital Metropolitano Sul Dom Helder Camara | 国立成育医療研究センター 整形外科 |
| 小 計 | 13名 | |
| 合 計 | 99名 | |

国別外国人留学研究者数累計

2023/3/31現在
(来日ベース)

| 国別 | 期 間 | 25ヵ月 &以上 | 24ヵ月 &以下 | 12ヵ月 &以下 | 6ヵ月 &以下 | 3ヵ月 | 3ヵ月 未満 | 合計 | 制度発足年 |
|----------|-----|-------------|-------------|-------------|------------|-----|-----------|-------|-------|
| 台湾 | | 22 | 52 | 114 | 61 | 318 | 2 | 569 | 1964 |
| タイ | | | 8 | 13 | 126 | 88 | | 235 | 1966 |
| フィリピン | | | 6 | 15 | 115 | 41 | | 177 | 1971 |
| 韓国 | | | 4 | 113 | 19 | 4 | | 140 | 1972 |
| 中国 | | | 35 | 125 | 124 | | | 284 | 1981 |
| インドネシア | | | 10 | 22 | 62 | 86 | 3 | 183 | 1982 |
| ベトナム | | | | 3 | 26 | 52 | 1 | 82 | 1998 |
| アフガニスタン | | | | 1 | | | | 1 | |
| アメリカ | | | 3 | | | 1 | | 4 | |
| アルバニア | | | | | 1 | | | 1 | |
| イギリス | | | 1 | 1 | | | | 2 | |
| イタリー | | | 1 | 3 | 1 | | | 5 | |
| イラン | | | | 1 | | | | 1 | |
| インド | | | 2 | 24 | 10 | 2 | | 38 | |
| ウズベキスタン | | | | 3 | | | | 3 | |
| エジプト | | | | 13 | 3 | 1 | | 17 | |
| オーストラリア | | | | 2 | | | | 2 | |
| ガーナ | | | | 1 | | | | 1 | |
| カザフスタン | | | | 1 | | | | 1 | |
| カナダ | | | | 2 | 1 | | | 3 | |
| ケニア | | | | 1 | 1 | | | 2 | |
| コンゴ | | | | 1 | | | | 1 | |
| シリア | | | | 1 | | | | 1 | |
| スイス | | | | 1 | | | | 1 | |
| スウェーデン | | | | 2 | | | | 2 | |
| セネガル | | | | | 1 | | | 1 | |
| チュニジア | | | | 1 | | | | 1 | |
| ドイツ | | | 4 | 4 | 3 | | | 11 | |
| トルコ | | | | 2 | 4 | | 1 | 7 | |
| ナイジェリア | | | | 2 | 2 | | | 4 | |
| ニュージーランド | | | | | 1 | | | 1 | |
| ネパール | | | | 3 | 2 | | | 5 | |
| パキスタン | | | | 3 | | | | 3 | |
| パラグアイ | | | | 1 | 2 | | | 3 | |
| バングラデシュ | | | | 9 | 8 | 3 | | 20 | |
| ブラジル | | | | 2 | | 1 | | 3 | |
| フランス | | | 2 | 5 | 3 | 1 | | 11 | |
| ベネズエラ | | | | 1 | | | | 1 | |
| ベラルーシ | | | | 1 | | | | 1 | |
| ペルー | | | 1 | 1 | 2 | | | 4 | |
| ベルギー | | | | | 1 | | | 1 | |
| マレーシア | | | | 2 | 1 | 1 | | 4 | |
| ミャンマー | | | 1 | 1 | 3 | 3 | | 8 | |
| メキシコ | | | 1 | | | | | 1 | |
| モロッコ | | | | 1 | | | | 1 | |
| モンゴル | | | | | 1 | | | 1 | |
| ロシア | | | 1 | 1 | | | 1 | 3 | |
| 合計 | | 22 | 132 | 503 | 584 | 602 | 8 | 1,851 | |

医学部博士課程奨学助成者

2022年度 新規奨学助成者

| 氏名 | 博士課程進学後の所属講座・教室 |
|--------|--------------------------------|
| 久野 将也 | 名古屋大学大学院医学系研究科 細胞生理学教室 |
| 深津 紀暁 | 名古屋大学大学院医学系研究科 システム生物学 |
| 中島 京介 | 東京大学大学院医学系研究科 細胞構築学教室 |
| 中務 由彦 | 東京大学大学院医学系研究科 病因・病理学 |
| 大瀬戸 恒志 | 東北大学大学院医学系研究科 分子疫学分野 |
| 小熊 陽 | 東北大学大学院医学系研究科 細胞組織学分野 |
| 伊勢 昂生 | 北海道大学大学院医学研究院 腫瘍病理学教室 |
| 足立 俊一 | 九州大学大学院医学系学府 幹細胞再生修復医学分野 |
| 松本 崇雅 | 九州大学大学院医学系学府 形態機能病理学教室 |
| 石尾 政宜 | 京都大学大学院医学研究科 神経生物学 |
| 小倉 理奈 | 京都大学大学院医学研究科 細胞機能制御学 |
| 増尾 優輝 | 京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学 |
| 岡本 雅志 | 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 自然免疫学教室 |
| 杉原 礼一 | 大阪大学大学院医学系研究科 神経遺伝子学教室 |

2022年度 海外研究留学生

| 氏名 | 所属機関 | 海外研究機関・受入責任者名 |
|-------|---|---|
| 市川 啓之 | 岡山大学病院 循環器内科 | University of California, Los Angeles Division of Cardiology, CA USA Prof. Matthew Jay Budoff |
| 植松 沙織 | 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命科学専攻 情報生命科学群生物情報科学分野 | Cornell University, NY USA Prof. Shu-Bing Qian |
| 北野 貴也 | 市立豊中病院 神経内科 | Krembil Research Institute, University Health Network, Canada Sr. Scientist, Dr. Michael Tymianski |
| 佐藤 晋彰 | 九州がんセンター 頭頸科 | University of California San Diego, Moore's Cancer Center, CA USA Prof. J. Silvio Gutkind |
| 諏訪 達也 | 京都大学大学院生命科学研究科 附属放射線生物研究センター | MRC Oxford Institute for Radiation Oncology, University of Oxford, UK Group leader, Dr. Monica Olcina |
| 田野崎 翔 | 慶應義塾大学医学部 循環器内科 | Perelman School of Medicine, University of Pennsylvania, PA USA Prof. Zolt Arany |
| 七松 東 | 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 腎臓内科学 | Division of Nephrology, Indiana University School of Medicine, IN USA Prof. Tarek M. Ashkar |
| 藤野 智大 | 近畿大学医学部外科学教室 呼吸器外科部門 | Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, MA USA Assistant Prof. Aaron N. Hata |
| 安田 忠仁 | 熊本大学 大学院生命科学研究部 | University of Texas, TX USA Assistant Prof. Y. Alan Wang |
| 山村 雄太 | 金沢大学 大学院医薬保健学総合研究科 腎臓内科学 | Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, MA USA Prof. Reza Abdi |

The 21st Takeda Science Foundation Symposium on Bioscience

Excellent Poster Awardee

| | Family Name | First Name | Institution | Abstract Title |
|-----|-------------|------------|---|---|
| Dr. | Bhagat | Shruti | Kyoto University, Institute for the Advanced Study of Human Biology (ASHBi) | Elucidating the differences in grammar between human promoters and enhancers |
| Dr. | Hamidi | Sofiane | Kyoto University, Institute for the Advanced Study of Human Biology (ASHBi) | Reconstituting human somitogenesis in vitro |
| Dr. | Kuwayama | Naohiro | The University of Tokyo, Faculty of Pharmaceutical Sciences | HMGA2 directly mediates chromatin condensation in association with neuronal fate regulation |
| Dr. | Lawrence | Moyra | Kyoto University, Center for iPS Cell Research and Application | Molecular characterisation of totipotency |
| Mr. | Nosaka | Yoshiaki | Kyoto University, Department of Anatomy and Cell Biology | A reconstitution of oogenesis under a defined condition from mouse pluripotent stem cells |

処務の概要

2023年3月31日現在

| 氏名 | | 就任 | | 再任 | | 基本給 (月額) 単位：円 | 職名 |
|--------------------|--------|---|----------------|----------------|----------------|---|-------------------------------------|
| | | 就任年月日 | 登記年月日 | 再任年月日 | 登記年月日 | | |
| 1. 理事、監事に関する事項 | | 理事 定数：5人～10人 現在：常勤 非常勤 計 2人 7人 9人 任期：2年 | | | | 監事 定数：2人 現在：非常勤 計 2人 2人 任期：4年 | |
| 理事 (理事長) 常勤 | 飯澤 祐史 | 2017. 6. 9 | 2017. 6. 22 | 2021. 6. 11 | 2021. 6. 28 | 807,000 | |
| 理事 (常務理事) 常勤 | 酒井 清彦 | 2021. 6. 11 | 2021. 6. 28 | — | — | 757,000 | |
| 理事 非常勤 | 伊藤 貞嘉 | 2015. 6. 12 | 2015. 6. 24 | 2021. 6. 11 | 2021. 6. 28 | なし | 公立刈田総合病院 特別管理者 東北大学 名誉教授 |
| 理事 非常勤 | 近藤 孝男 | 2015. 6. 12 | 2015. 6. 24 | 2021. 6. 11 | 2021. 6. 28 | なし | 名古屋大学 名誉教授 |
| 理事 非常勤 | 武田 直久 | 2016. 6. 10 | 2016. 6. 21 | 2021. 6. 11 | 2021. 6. 28 | なし | (公財)発酵研究所 評議員 元武田薬品工業株式会社 常勤監査役 |
| 理事 非常勤 | 中谷 敏 | 2021. 6. 11 | 2021. 6. 28 | — | — | なし | 社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会千里病院 院長 |
| 理事 非常勤 | 前原 喜彦 | 2021. 6. 11 | 2021. 6. 28 | — | — | なし | 公立学校共済組合 九州中央病院 病院長 |
| 理事 非常勤 | 村上 善則 | 2021. 6. 11 | 2021. 6. 28 | — | — | なし | 東京大学ゲノム医科学研究機構 機構長 東京大学医科学研究所 教授 |
| 理事 非常勤 | 山縣 ゆり子 | 2019. 6. 7 | 2019. 6. 21 | 2021. 6. 11 | 2021. 6. 28 | なし | 尚綱大学・尚綱大学短期大学部 学長 熊本大学 名誉教授 |
| 監事 非常勤 | 池田 裕彦 | 2017. 6. 9 | 2017. 6. 22 | 2021. 6. 11 | 2021. 6. 28 | なし | 弁護士 |
| 監事 非常勤 | 夏住 要一郎 | 2011. 6. 17 | 2011. 6. 30 | 2019. 6. 7 | 2019. 6. 21 | なし | 弁護士 |

2023年3月31日現在

| 2. 評議員に関する事項 | | 評議員 定数：10人～15人 現在：非常勤 計 11人 11人 任期：4年 | | |
|--------------|-------|---|-------------|---|
| | 氏名 | 就任 年月日 | 再任 年月日 | 職名 |
| 評議員 | 飯野 正光 | 2022. 6. 10 | — | 東京大学 ニューロインテリジェンス国際研究機構 機構長特別補佐 東京大学 名誉教授 |
| 評議員 | 稲葉 カヨ | 2018. 6. 8 | 2022. 6. 10 | 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 監事 |
| 評議員 | 堅田 利明 | 2022. 6. 10 | | 武蔵野大学 客員教授 東京大学 名誉教授 |
| 評議員 | 門脇 孝 | 2022. 6. 10 | | 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長 東京大学 名誉教授 |
| 評議員 | 武田 京子 | 2018. 6. 8 | 2022. 6. 10 | 株式会社 K&H 代表取締役 |
| 評議員 | 千葉 勉 | 2022. 6. 10 | | 関西電力病院 名誉院長 |
| 評議員 | 長田 重一 | 2022. 6. 10 | | 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 栄誉教授 |
| 評議員 | 鍋島 陽一 | 2018. 6. 8 | 2022. 6. 10 | 京都大学大学院医学研究科 健康加齢医学講座 特任教授 京都大学 名誉教授 |
| 評議員 | 平野 俊夫 | 2018. 6. 8 | 2022. 6. 10 | 量子科学技術研究開発機構 理事長 |
| 評議員 | 藤吉 好則 | 2018. 6. 8 | 2022. 6. 10 | 東京医科歯科大学 高等研究院 特別栄誉教授 |
| 評議員 | 柳瀬 敏彦 | 2022. 6. 10 | | 医療法人社団 誠和会牟田病院 院長 |

| 3. 職員に関する事項 | | | |
|-------------|-----|---------------|------------|
| | 人 数 | 基本給合計月額（単位：円） | 備 考 |
| 事務職員 | 7 | 3,338,000 | 全員が専任者である。 |

| 4. 会議に関する事項 | |
|--|--|
| 〈理事会〉 | |
| 第50回定時理事会 2022年5月23日 | 議案 ・ 2021年度事業報告および財務諸表等承認の件 ・ 定時評議員会開催の件 ・ 報告事項 業務の執行状況の報告の件 |
| 第51回臨時理事会 2022年6月17日 | 議案 ・ 武田薬品の株主総会の議案について |
| 第52回臨時理事会 2022年11月14日 | 議案 ・ 2023年度事業計画の件 ・ 選考委員選任の件 |
| 第53回定時理事会 2023年3月3日 | 議案 ・ 2023年度事業計画および2023年度予算の件 ・ 臨時評議員会開催の件 ・ 報告事項 業務の執行状況の報告の件 |
| 〈評議員会〉 | |
| 第28回定時評議員会 2022年6月10日 | 議案 ・ 評議員 11名選任の件 ・ 2021年度事業報告および決算内容報告の件 |
| 第29回臨時評議員会 2023年3月24日 (みなし報告による) | 議案 ・ 2023年度事業計画および2023年度予算の件 |

| 5. 寄附金に関する事項 | | |
|--------------|-------------|--------|
| 寄附者 | 寄附の目的 | 寄附金額 |
| 中尾 靖 様 1件 | 公益事業目的発展のため | 50,000 |

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|---------------|------------------|------------------|------------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 195,753,625 | 179,546,395 | 16,207,230 |
| 前払金 | 23,000,000 | 23,000,000 | 0 |
| 流動資産合計 | 218,753,625 | 202,546,395 | 16,207,230 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 現金預金 | 15,816,244 | 15,007,044 | 809,200 |
| 投資有価証券 | 69,205,109,500 | 56,213,536,500 | 12,991,573,000 |
| 図書資料 | 3,017,255,288 | 2,994,656,773 | 22,598,515 |
| 基本財産合計 | 72,238,181,032 | 59,223,200,317 | 13,014,980,715 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 助成基金 | 16,985,130,323 | 14,862,542,011 | 2,122,588,312 |
| 杏雨基金 | 248,636,558 | 254,731,558 | -6,095,000 |
| 資産取得資金 | 268,337,000 | 257,693,000 | 10,644,000 |
| 寄附者指定特定基金 | 4,092,497,997 | 4,065,569,556 | 26,928,441 |
| 建物 | 109,250,562 | 113,955,780 | -4,705,218 |
| 特定資産合計 | 21,703,852,440 | 19,554,491,905 | 2,149,360,535 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 建物 | 67,329,291 | 71,862,489 | -4,533,198 |
| 什器備品 | 83,399,751 | 90,171,683 | -6,771,932 |
| ソフトウェア | 18,997,474 | 20,176,606 | -1,179,132 |
| 保証金 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| その他固定資産合計 | 169,776,516 | 182,260,778 | -12,484,262 |
| 固定資産合計 | 94,111,809,988 | 78,959,953,000 | 15,151,856,988 |
| 資産合計 | 94,330,563,613 | 79,162,499,395 | 15,168,064,218 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 11,936,104 | 20,182,900 | -8,246,796 |
| 未払費用 | 1,162,556 | 1,341,494 | -178,938 |
| 預り金 | 1,790,178 | 1,943,381 | -153,203 |
| 流動負債合計 | 14,888,838 | 23,467,775 | -8,578,937 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 役員退職慰労引当金 | 6,095,500 | 4,531,500 | 1,564,000 |
| 退職給付引当金 | 8,427,000 | 9,012,000 | -585,000 |
| 固定負債合計 | 14,522,500 | 13,543,500 | 979,000 |
| 負債合計 | 29,411,338 | 37,011,275 | -7,599,937 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 受贈投資有価証券 | 66,583,275,000 | 53,542,137,000 | 13,041,138,000 |
| 基本財産受取配当金利息 | 4,505,492,717 | 4,460,670,979 | 44,821,738 |
| 指定正味財産合計 | 71,088,767,717 | 58,002,807,979 | 13,085,959,738 |
| (うち基本財産への充当額) | (66,887,403,045) | (53,823,666,530) | (13,063,736,515) |
| (うち特定資産への充当額) | (4,201,364,672) | (4,179,141,449) | (22,223,223) |
| 2. 一般正味財産 | 23,212,384,558 | 21,122,680,141 | 2,089,704,417 |
| (うち基本財産への充当額) | (5,350,777,987) | (5,399,533,787) | (-48,755,800) |
| (うち特定資産への充当額) | (17,502,487,768) | (15,375,350,456) | (2,127,137,312) |
| 正味財産合計 | 94,301,152,275 | 79,125,488,120 | 15,175,664,155 |
| 負債及び正味財産合計 | 94,330,563,613 | 79,162,499,395 | 15,168,064,218 |

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-------------------|---------------|---------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 2,736,431,729 | 2,573,761,295 | 162,670,434 |
| 基本財産受取配当金 | 2,710,348,262 | 2,547,684,898 | 162,663,364 |
| 基本財産受取利息 | 26,083,467 | 26,076,397 | 7,070 |
| 特定資産運用益 | 515,661,468 | 515,788,452 | -126,984 |
| 特定資産受取配当金 | 468,964,080 | 468,964,080 | 0 |
| 特定資産受取利息 | 46,697,388 | 46,824,372 | -126,984 |
| 受取寄付金 | 50,000 | 110,000 | -60,000 |
| 受取寄付金 | 50,000 | 110,000 | -60,000 |
| 雑収益 | 8,598,361 | 10,865,280 | -2,266,919 |
| 受取利息 | 8,090 | 10,855 | -2,765 |
| 返還助成金 | 8,590,271 | 10,854,425 | -2,264,154 |
| 経常収益計 | 3,260,741,558 | 3,100,525,027 | 160,216,531 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 3,191,816,890 | 3,028,405,809 | 163,411,081 |
| 武田報彰医学研究助成金 | 300,000,000 | 300,000,000 | 0 |
| ハイリスク新興感染症研究助成金 | 100,000,000 | 100,000,000 | 0 |
| 生命科学研究助成金 | 300,000,000 | 300,000,000 | 0 |
| 医学系研究助成金 | 571,000,000 | 570,000,000 | 1,000,000 |
| 薬学系研究助成金 | 95,000,000 | 95,000,000 | 0 |
| ライフインス研究助成金 | 97,000,000 | 96,000,000 | 1,000,000 |
| 特定研究助成金 | 500,000,000 | 600,000,000 | -100,000,000 |
| ビジネスリサーチ助成金 | 172,000,000 | 196,000,000 | -24,000,000 |
| 中学校・高等学校理科教育振興助成金 | 21,000,000 | 21,000,000 | 0 |
| 杏雨書屋研究助成金 | 4,700,000 | 3,400,000 | 1,300,000 |
| 外国人留学助成金 | 140,601,641 | 20,391,318 | 120,210,323 |
| 医学部博士課程奨学助成 | 192,600,000 | 180,000,000 | 12,600,000 |
| 海外研究留学助成 | 154,520,220 | 129,600,000 | 24,920,220 |
| 武田医学賞褒賞金 | 60,000,000 | 40,000,000 | 20,000,000 |
| シホジウムスター褒賞金 | 2,500,000 | 0 | 2,500,000 |
| 助成金等費用 | 35,717,681 | 35,597,681 | 120,000 |
| 役員報酬 | 11,194,960 | 11,194,960 | 0 |
| 給料手当 | 35,380,326 | 35,478,144 | -97,818 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 799,640 | 735,219 | 64,421 |
| 退職給付費用 | 675,000 | 1,015,000 | -340,000 |
| 福利厚生費 | 7,479,811 | 8,221,448 | -741,637 |
| 会議費 | 46,807,150 | 6,566,344 | 40,240,806 |
| 旅費交通費 | 76,703,883 | 7,010,890 | 69,692,993 |
| 通信運搬費 | 5,215,701 | 6,116,780 | -901,079 |
| 減価償却費 | 30,157,372 | 35,868,409 | -5,711,037 |
| 消耗品費 | 10,390,024 | 4,288,335 | 6,101,689 |
| 修繕費 | 30,861,457 | 14,608,847 | 16,252,610 |
| 印刷製本費 | 46,271,398 | 45,135,010 | 1,136,388 |
| 光熱水料費 | 3,351,766 | 2,231,784 | 1,119,982 |
| 賃借料 | 53,023,447 | 52,856,594 | 166,853 |
| 保険料 | 10,349,558 | 6,824,935 | 3,524,623 |
| 諸謝金 | 10,401,144 | 7,979,148 | 2,421,996 |
| 委託費 | 64,477,678 | 36,487,687 | 27,989,991 |
| 租税公課 | 4,000 | 34,000 | -30,000 |
| 広報費 | 650,550 | 58,263,100 | -57,612,550 |
| 雑費 | 982,483 | 500,176 | 482,307 |

| | | | |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|
| 管理費 | 48,926,668 | 48,298,218 | 628,450 |
| 役員報酬 | 13,047,040 | 12,851,540 | 195,500 |
| 給料手当 | 10,639,177 | 12,145,279 | -1,506,102 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 764,360 | 702,781 | 61,579 |
| 役員退職金 | 600,000 | 1,131,800 | -531,800 |
| 退職給付費用 | 520,000 | 917,000 | -397,000 |
| 福利厚生費 | 4,791,751 | 5,253,437 | -461,686 |
| 会議費 | 2,276,190 | 576,291 | 1,699,899 |
| 旅費交通費 | 2,384,428 | 844,174 | 1,540,254 |
| 通信運搬費 | 434,649 | 424,392 | 10,257 |
| 減価償却費 | 343,758 | 372,364 | -28,606 |
| 消耗品費 | 1,492,224 | 1,349,925 | 142,299 |
| 修繕費 | 34,644 | 0 | 34,644 |
| 印刷製本費 | 352,169 | 875,877 | -523,708 |
| 光熱水料費 | 2,132,944 | 1,420,227 | 712,717 |
| 賃借料 | 3,161,390 | 3,095,296 | 66,094 |
| 保険料 | 132,082 | 126,275 | 5,807 |
| 会計監査報酬 | 2,200,000 | 2,200,000 | 0 |
| 委託費 | 2,922,232 | 3,343,668 | -421,436 |
| 租税公課 | 0 | 4,000 | -4,000 |
| 雑費 | 697,630 | 663,892 | 33,738 |
| 経常費用計 | 3,240,743,558 | 3,076,704,027 | 164,039,531 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 19,998,000 | 23,821,000 | -3,823,000 |
| 基本財産評価損益等 | -49,419,117 | -53,721,748 | 4,302,631 |
| 基本財産評価損益等 | -49,419,117 | -53,721,748 | 4,302,631 |
| 特定資産評価損益等 | 2,119,125,534 | -1,363,783,913 | 3,482,909,447 |
| 特定資産評価損益等 | 2,119,125,534 | -1,363,783,913 | 3,482,909,447 |
| 評価損益等計 | 2,069,706,417 | -1,417,505,661 | 3,487,212,078 |
| 当期経常増減額 | 2,089,704,417 | -1,393,684,661 | 3,483,389,078 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | 2,089,704,417 | -1,393,684,661 | 3,483,389,078 |
| 一般正味財産期首残高 | 21,122,680,141 | 22,516,364,802 | -1,393,684,661 |
| 一般正味財産期末残高 | 23,212,384,558 | 21,122,680,141 | 2,089,704,417 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 基本財産運用益 | 2,755,170,000 | 2,755,170,000 | 0 |
| 基本財産受取配当金 | 2,755,170,000 | 2,755,170,000 | 0 |
| 特定資産運用益 | 42,133 | 39,563 | 2,570 |
| 特定資産受取利息 | 42,133 | 39,563 | 2,570 |
| 基本財産評価損益 | 13,041,138,000 | -7,454,265,500 | 20,495,403,500 |
| 基本財産評価損益 | 13,041,138,000 | -7,454,265,500 | 20,495,403,500 |
| 一般正味財産への振替額 | -2,710,390,395 | -2,547,724,461 | -162,665,934 |
| 一般正味財産への振替額 | -2,710,390,395 | -2,547,724,461 | -162,665,934 |
| 当期指定正味財産増減額 | 13,085,959,738 | -7,246,780,398 | 20,332,740,136 |
| 指定正味財産期首残高 | 58,002,807,979 | 65,249,588,377 | -7,246,780,398 |
| 指定正味財産期末残高 | 71,088,767,717 | 58,002,807,979 | 13,085,959,738 |
| III 正味財産期末残高 | 94,301,152,275 | 79,125,488,120 | 15,175,664,155 |

正味財産増減計算書内訳表

2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | | | | | | 法人会計 | 内部取引 消去 | 合 計 |
|-------------------|---------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|---------------|---------------|------------|------------|---------------|
| | 研究助成 | 奨学助成 | 武田医学賞 | 国際シンポジウム | 本草医書発刊 | 本草医書公開 | 共 通 | 小 計 | | | |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | | | | | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | | | | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | | | | | | | |
| 基本財産運用益 | 26,083,467 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,661,458,895 | 2,687,542,362 | 48,889,367 | | 2,736,431,729 |
| 基本財産受取配当金 | | | | | | | 2,661,458,895 | 2,661,458,895 | 48,889,367 | | 2,710,348,262 |
| 基本財産受取利息 | 26,083,467 | | | | | | | 26,083,467 | | | 26,083,467 |
| 特定資産運用益 | 512,847,435 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,771,847 | 12,975 | 515,632,257 | 29,211 | | 515,661,468 |
| 特定資産受取配当金 | 468,964,080 | | | | | | | 468,964,080 | | | 468,964,080 |
| 特定資産受取利息 | 43,883,355 | | | | | 2,771,847 | 12,975 | 46,668,177 | 29,211 | | 46,697,388 |
| 受取寄付金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50,000 | 50,000 | 0 | | 50,000 |
| 受取寄付金 | | | | | | | 50,000 | 50,000 | | | 50,000 |
| 雑収益 | 6,625,271 | 1,965,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8,590,271 | 8,090 | | 8,598,361 |
| 受取利息 | | | | | | | | 0 | 8,090 | | 8,090 |
| 返還助成金 | 6,625,271 | 1,965,000 | | | | | | 8,590,271 | | | 8,590,271 |
| 経常収益計 | 545,556,173 | 1,965,000 | 0 | 0 | 0 | 2,771,847 | 2,661,521,870 | 3,211,814,890 | 48,926,668 | | 3,260,741,558 |
| (2) 経常費用 | | | | | | | | | | | |
| 事業費 | 2,293,525,905 | 564,484,255 | 87,329,327 | 66,893,313 | 31,088,885 | 148,494,875 | 330 | 3,191,816,890 | | | 3,191,816,890 |
| 武田報彰医学研究助成金 | 300,000,000 | | | | | | | 300,000,000 | | | 300,000,000 |
| ハイリスク新興感染症研究助成金 | 100,000,000 | | | | | | | 100,000,000 | | | 100,000,000 |
| 生命科学研究助成金 | 300,000,000 | | | | | | | 300,000,000 | | | 300,000,000 |
| 医学系研究助成金 | 571,000,000 | | | | | | | 571,000,000 | | | 571,000,000 |
| 薬学系研究助成金 | 95,000,000 | | | | | | | 95,000,000 | | | 95,000,000 |
| ライフサイエンス研究助成金 | 97,000,000 | | | | | | | 97,000,000 | | | 97,000,000 |
| 特定研究助成金 | 500,000,000 | | | | | | | 500,000,000 | | | 500,000,000 |
| ビジョナリーリサーチ助成金 | 172,000,000 | | | | | | | 172,000,000 | | | 172,000,000 |
| 中学校・高等学校理科教育振興助成金 | 21,000,000 | | | | | | | 21,000,000 | | | 21,000,000 |
| 杏雨書屋研究助成金 | 4,700,000 | | | | | | | 4,700,000 | | | 4,700,000 |
| 外国人留学助成金 | | 140,601,641 | | | | | | 140,601,641 | | | 140,601,641 |
| 医学部博士課程奨学助成 | | 192,600,000 | | | | | | 192,600,000 | | | 192,600,000 |
| 海外研究留学助成 | | 154,520,220 | | | | | | 154,520,220 | | | 154,520,220 |
| 武田医学賞賞資金 | | | 60,000,000 | | | | | 60,000,000 | | | 60,000,000 |
| シンポジウムポスター賞資金 | | | | 2,500,000 | | | | 2,500,000 | | | 2,500,000 |
| 助成金等費用 | 26,100,000 | 1,150,000 | 2,550,000 | 120,000 | 0 | 5,797,681 | | 35,717,681 | | | 35,717,681 |
| 役員報酬 | 4,379,200 | 2,365,580 | 981,820 | 437,920 | 218,960 | 2,811,480 | | 11,194,960 | | | 11,194,960 |
| 給料手当 | 11,447,778 | 6,747,425 | 1,271,975 | 2,891,754 | 1,302,139 | 11,719,255 | | 35,380,326 | | | 35,380,326 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 312,800 | 168,970 | 70,130 | 31,280 | 15,640 | 200,820 | | 799,640 | | | 799,640 |
| 退職給付費用 | 405,000 | 38,500 | 45,000 | 16,500 | 17,000 | 153,000 | | 675,000 | | | 675,000 |
| 福利厚生費 | 1,822,791 | 1,020,599 | 781,196 | 1,020,599 | 0 | 2,834,626 | | 7,479,811 | | | 7,479,811 |
| 会議費 | 10,689,745 | 13,403,428 | 7,881,517 | 13,026,410 | 0 | 1,806,050 | | 46,807,150 | | | 46,807,150 |
| 旅費交通費 | 19,722,383 | 30,001,556 | 4,147,927 | 19,593,614 | 0 | 3,238,403 | | 76,703,883 | | | 76,703,883 |
| 通信運搬費 | 2,007,398 | 267,901 | 81,810 | 55,174 | 2,338,811 | 464,607 | | 5,215,701 | | | 5,215,701 |
| 減価償却費 | 4,783,489 | 1,379,108 | 343,755 | 343,755 | 343,755 | 22,968,510 | | 30,157,372 | | | 30,157,372 |
| 消耗品費 | 3,024,460 | 2,895,805 | 2,214,036 | 319,782 | 0 | 1,935,961 | | 10,390,024 | | | 10,390,024 |
| 修繕費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30,861,457 | | 30,861,457 | | | 30,861,457 |
| 印刷製本費 | 15,064,960 | 217,708 | 1,796,863 | 62,098 | 23,337,292 | 5,792,477 | | 46,271,398 | | | 46,271,398 |
| 光熱水料費 | 853,177 | 457,059 | 365,647 | 457,059 | 0 | 1,218,824 | | 3,351,766 | | | 3,351,766 |
| 賃借料 | 3,102,483 | 3,850,061 | 2,957,461 | 2,968,957 | 2,949,633 | 37,194,852 | | 53,023,447 | | | 53,023,447 |
| 保険料 | 5,722 | 3,929,583 | 5,722 | 5,722 | 5,722 | 6,397,087 | | 10,349,558 | | | 10,349,558 |
| 諸謝金 | 4,482,717 | 1,311,758 | 712,924 | 1,285,620 | 467,754 | 2,140,371 | | 10,401,144 | | | 10,401,144 |
| 委託費 | 23,939,847 | 6,870,641 | 977,074 | 21,756,319 | 76,454 | 10,857,343 | | 64,477,678 | | | 64,477,678 |
| 租税公課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,000 | 0 | | 4,000 | | | 4,000 |
| 広報費 | 182,600 | 375,250 | 62,700 | 0 | 0 | 30,000 | | 650,550 | | | 650,550 |
| 雑費 | 499,355 | 311,462 | 81,770 | 770 | 11,725 | 77,071 | 330 | 982,483 | | | 982,483 |

正味財産増減計算書内訳表

2022年4月1日から2023年3月31日まで

| | | | | | | | | | | | |
|-----------------|----------------|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|----------------|----------------|---------------|--|----------------|
| 管理費 | | | | | | | | | 48,926,668 | | 48,926,668 |
| 役員報酬 | | | | | | | | | 13,047,040 | | 13,047,040 |
| 給料手当 | | | | | | | | | 10,639,177 | | 10,639,177 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | | | | | | | | | 764,360 | | 764,360 |
| 役員退職金 | | | | | | | | | 600,000 | | 600,000 |
| 退職給付費用 | | | | | | | | | 520,000 | | 520,000 |
| 福利厚生費 | | | | | | | | | 4,791,751 | | 4,791,751 |
| 会議費 | | | | | | | | | 2,276,190 | | 2,276,190 |
| 旅費交通費 | | | | | | | | | 2,384,428 | | 2,384,428 |
| 通信運搬費 | | | | | | | | | 434,649 | | 434,649 |
| 減価償却費 | | | | | | | | | 343,758 | | 343,758 |
| 消耗品費 | | | | | | | | | 1,492,224 | | 1,492,224 |
| 修繕費 | | | | | | | | | 34,644 | | 34,644 |
| 印刷製本費 | | | | | | | | | 352,169 | | 352,169 |
| 光熱水料費 | | | | | | | | | 2,132,944 | | 2,132,944 |
| 賃借料 | | | | | | | | | 3,161,390 | | 3,161,390 |
| 保険料 | | | | | | | | | 132,082 | | 132,082 |
| 会計監査報酬 | | | | | | | | | 2,200,000 | | 2,200,000 |
| 委託費 | | | | | | | | | 2,922,232 | | 2,922,232 |
| 租税公課 | | | | | | | | | 0 | | 0 |
| 雑費 | | | | | | | | | 697,630 | | 697,630 |
| 経常費用計 | 2,293,525,905 | 564,484,255 | 87,329,327 | 66,893,313 | 31,088,885 | 148,494,875 | 330 | 3,191,816,890 | 48,926,668 | | 3,240,743,558 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | -1,747,969,732 | -562,519,255 | -87,329,327 | -66,893,313 | -31,088,885 | -145,723,028 | 2,661,521,540 | 19,998,000 | 0 | | 19,998,000 |
| 基本財産評価損益等 | -49,419,117 | | | | | | | -49,419,117 | | | -49,419,117 |
| 基本財産評価損益等 | -49,419,117 | | | | | | | -49,419,117 | | | -49,419,117 |
| 特定資産評価損益等 | 2,125,229,894 | | | | | -6,104,360 | | 2,119,125,534 | | | 2,119,125,534 |
| 特定資産評価損益等 | 2,125,229,894 | | | | | -6,104,360 | | 2,119,125,534 | | | 2,119,125,534 |
| 評価損益等計 | 2,075,810,777 | | | | | -6,104,360 | | 2,069,706,417 | | | 2,069,706,417 |
| 当期経常増減額 | 327,841,045 | -562,519,255 | -87,329,327 | -66,893,313 | -31,088,885 | -151,827,388 | 2,661,521,540 | 2,089,704,417 | 0 | | 2,089,704,417 |
| 2. 経常外増減の部 | | | | | | | | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | | | | | | | | |
| 経常外収益計 | | | | | | | | 0 | 0 | | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | | | | | | | | | |
| 経常外費用計 | | | | | | | | 0 | 0 | | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | 327,841,045 | -562,519,255 | -87,329,327 | -66,893,313 | -31,088,885 | -151,827,388 | 2,661,521,540 | 2,089,704,417 | 0 | | 2,089,704,417 |
| 一般正味財産期首残高 | | | | | | | | | | | 21,122,660,141 |
| 一般正味財産期末残高 | | | | | | | | | | | 23,212,384,558 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | | | | | | | | |
| 基本財産運用益 | | | | | | | 2,468,070,000 | 2,468,070,000 | 287,100,000 | | 2,755,170,000 |
| 基本財産受取配当金 | | | | | | | 2,468,070,000 | 2,468,070,000 | 287,100,000 | | 2,755,170,000 |
| 特定資産運用益 | | | | | | | 12,975 | 12,975 | 29,158 | | 42,133 |
| 特定資産受取利息 | | | | | | | 12,975 | 12,975 | 29,158 | | 42,133 |
| 基本財産評価損益 | | | | | | | 11,682,198,000 | 11,682,198,000 | 1,358,940,000 | | 13,041,138,000 |
| 基本財産評価損益 | | | | | | | 11,682,198,000 | 11,682,198,000 | 1,358,940,000 | | 13,041,138,000 |
| 一般正味財産への振替額 | | | | | | | -2,661,471,870 | -2,661,471,870 | -48,918,525 | | -2,710,390,395 |
| 一般正味財産への振替額 | | | | | | | -2,661,471,870 | -2,661,471,870 | -48,918,525 | | -2,710,390,395 |
| 当期指定正味財産増減額 | | | | | | | | 11,488,809,105 | 1,597,150,633 | | 13,085,959,738 |
| 指定正味財産期首残高 | | | | | | | | | | | 58,002,607,979 |
| 指定正味財産期末残高 | | | | | | | | | | | 71,088,767,717 |
| III 正味財産期末残高 | | | | | | | | | | | 94,301,152,275 |

貸借対照表を会計区分していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高及び、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高並びに正味財産期末残高は合計欄に記載している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

| 科 目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|-----------|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 役員退職慰労引当金 | 4,531,500 | 1,564,000 | 0 | 0 | 6,095,500 |
| 退職給付引当金 | 9,012,000 | 1,070,000 | 1,655,000 | 0 | 8,427,000 |

キャッシュ・フロー計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|----------------------|---------------|---------------|--------------|
| I 事業活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | |
| 基本財産運用収入 | 2,780,590,150 | 2,780,590,149 | 1 |
| 配当金収入 | 2,755,170,000 | 2,755,170,000 | 0 |
| 利息収入 | 25,420,150 | 25,420,149 | 1 |
| 特定資産運用収入 | 518,293,690 | 518,419,911 | -126,221 |
| 配当金収入 | 468,964,080 | 468,964,080 | 0 |
| 利息収入 | 49,329,610 | 49,455,831 | -126,221 |
| 寄付金収入 | 50,000 | 110,000 | -60,000 |
| 雑収入 | 8,598,361 | 10,865,280 | -2,266,919 |
| 利息収入 | 8,090 | 10,855 | -2,765 |
| 返還助成金 | 8,590,271 | 10,854,425 | -2,264,154 |
| 事業活動収入計 | 3,307,532,201 | 3,309,985,340 | -2,453,139 |
| 2. 事業活動支出 | | | |
| 研究助成事業支出 | 2,288,072,664 | 2,375,837,728 | -87,765,064 |
| 奨学助成事業支出 | 563,333,836 | 381,452,963 | 181,880,873 |
| 武田医学賞褒賞事業支出 | 86,892,336 | 64,101,472 | 22,790,864 |
| 国際シンポジウム事業支出 | 66,374,521 | 8,600,846 | 57,773,675 |
| 本草医書発刊事業支出 | 30,712,190 | 26,050,405 | 4,661,785 |
| 本草医書公開事業支出 | 133,248,655 | 146,811,496 | -13,562,841 |
| 公益目的事業共通費支出 | 330 | 1,060 | -730 |
| 管理費支出 | 49,207,833 | 56,656,515 | -7,448,682 |
| 事業活動支出計 | 3,217,842,365 | 3,059,512,485 | 158,329,880 |
| 事業活動によるキャッシュ・フロー | 89,689,836 | 250,472,855 | -160,783,019 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | |
| 基本財産取崩収入 | 0 | 0 | 0 |
| 基本財産普通預金収入 | 0 | 0 | 0 |
| 基本財産投資有価証券償還収入 | 0 | 0 | 0 |
| 特定資産取崩収入 | 301,789,315 | 1,068,907,910 | -767,118,595 |
| 特定資産普通預金収入 | 139,190,800 | 500,292,500 | -361,101,700 |
| 特定資産投資有価証券償還・売却収入 | 140,000,000 | 501,592,500 | -361,592,500 |
| 特定資産寄附者指定特定基金取崩収入 | 22,598,515 | 67,022,910 | -44,424,395 |
| 投資活動収入計 | 301,789,315 | 1,068,907,910 | -767,118,595 |
| 2. 投資活動支出 | | | |
| 基本財産取得支出 | 22,598,515 | 67,022,910 | -44,424,395 |
| 基本財産普通預金支出 | 0 | 0 | 0 |
| 基本財産投資有価証券取得支出 | 0 | 0 | 0 |
| 図書資料取得支出 | 22,598,515 | 67,022,910 | -44,424,395 |
| 特定資産取得支出 | 339,361,756 | 1,231,356,134 | -891,994,378 |
| 特定資産普通預金支出 | 140,000,000 | 501,592,500 | -361,592,500 |
| 特定資産投資有価証券取得支出 | 139,190,800 | 500,292,500 | -361,101,700 |
| 特定資産資産取得資金取得支出 | 10,644,000 | 16,665,000 | -6,021,000 |
| 特定資産寄附者指定特定基金取得支出 | 49,526,956 | 212,806,134 | -163,279,178 |
| 固定資産取得支出 | 13,311,650 | 14,800,500 | -1,488,850 |
| 建物購入支出 | 2,970,000 | 0 | 2,970,000 |
| 什器備品購入支出 | 4,722,850 | 506,000 | 4,216,850 |
| ソフトウェア購入支出 | 5,618,800 | 14,294,500 | -8,675,700 |
| 投資活動支出計 | 375,271,921 | 1,313,179,544 | -937,907,623 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | -73,482,606 | -244,271,634 | 170,789,028 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 1. 財務活動収入 | | | |
| 財務活動収入計 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 財務活動支出 | | | |
| 財務活動支出計 | 0 | 0 | 0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 0 | 0 | 0 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | 0 | 0 |
| V 現金及び現金同等物の増減額 | 16,207,230 | 6,201,221 | 10,006,009 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 179,546,395 | 173,345,174 | 6,201,221 |
| VII 現金及び現金同等物の期末残高 | 195,753,625 | 179,546,395 | 16,207,230 |

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
- ① その他有価証券
(時価のあるもの) 期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は正味財産増減として処理し、売却原価は移動平均法により算定)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却方法
- ① 建物 定額法によっている。
② 什器備品 定額法によっている。
③ ソフトウェア 定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
- ① 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、理事・監事報酬等規程に基づく期末要支給額を計上している。
② 退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期において発生していると認められる額を計上している。
- (4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
資金の範囲には、手元現金及び随時引き出し可能な預金を含めている。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|-------------------|----------------|----------------|-------------|----------------|
| 基本財産 | | | | |
| 現 金 預 金 | 15,007,044 | 809,200 | 0 | 15,816,244 |
| 投 資 有 価 証 券 | 56,213,536,500 | 13,041,138,000 | 49,565,000 | 69,205,109,500 |
| 図 書 資 料 | 2,994,656,773 | 22,598,515 | 0 | 3,017,255,288 |
| 小 計 | 59,223,200,317 | 13,064,545,715 | 49,565,000 | 72,238,181,032 |
| 特定資産 | | | | |
| 助 成 基 金 | 14,862,542,011 | 2,219,763,312 | 97,175,000 | 16,985,130,323 |
| 杏 雨 基 金 | 254,731,558 | 0 | 6,095,000 | 248,636,558 |
| 資 産 取 得 資 金 | 257,693,000 | 10,644,000 | 0 | 268,337,000 |
| 寄 附 者 指 定 特 定 基 金 | 4,065,569,556 | 49,526,956 | 22,598,515 | 4,092,497,997 |
| 建 物 | 113,955,780 | 0 | 4,705,218 | 109,250,562 |
| 小 計 | 19,554,491,905 | 2,279,934,268 | 130,573,733 | 21,703,852,440 |
| 合 計 | 78,777,692,222 | 15,344,479,983 | 180,138,733 | 93,942,033,472 |

- (注) 1. 基本財産の投資有価証券の当期増加額は株式の時価評価益、当期減少額はその他債券の時価評価損及び償却原価等である。
2. 特定資産の投資有価証券の当期増加額は株式の時価評価益、当期減少額はその他債券の時価評価損及び償却原価等である。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産 からの充当額) | (うち一般正味財産 からの充当額) | (うち負債に 対応する額) |
|-----------|----------------|----------------------|----------------------|------------------|
| 基本財産 | | | | |
| 現金 | 15,816,244 | (0) | (15,816,244) | (0) |
| 有価証券 | 69,205,109,500 | (66,583,275,000) | (2,621,834,500) | (0) |
| 図書資料 | 3,017,255,288 | (304,128,045) | (2,713,127,243) | (0) |
| 小 計 | 72,238,181,032 | (66,887,403,045) | (5,350,777,987) | (0) |
| 特定資産 | | | | |
| 助成基金 | 16,985,130,323 | (0) | (16,985,130,323) | (0) |
| 杏雨基金 | 248,636,558 | (0) | (248,636,558) | (0) |
| 資産取得資金 | 268,337,000 | (0) | (268,337,000) | (0) |
| 寄附者指定特定基金 | 4,092,497,997 | (4,092,114,110) | (383,887) | (0) |
| 建物 | 109,250,562 | (109,250,562) | (0) | (0) |
| 小 計 | 21,703,852,440 | (4,201,364,672) | (17,502,487,768) | (0) |
| 合 計 | 93,942,033,472 | (71,088,767,717) | (22,853,265,755) | (0) |

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|---------|-------------|-------------|-------------|
| 特定資産 | | | |
| 建物 | 166,165,775 | 56,915,213 | 109,250,562 |
| その他固定資産 | | | |
| 建物 | 182,965,183 | 115,635,892 | 67,329,291 |
| 什器備品 | 325,820,966 | 242,421,215 | 83,399,751 |
| ソフトウェア | 76,783,537 | 57,786,063 | 18,997,474 |
| 合 計 | 751,735,461 | 472,758,383 | 278,977,078 |

5. 金融商品の状況

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源を受取配当金、受取利息によって賄うため、安全性の高い有価証券及び定期預金等により資産運用している。なお、投機目的の取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びリスク

有価証券は、主に公社債及び寄附者からの出損・増資により保有する株式であり、配当方針、市場価格の変動リスク及び発行体の信用リスクに晒されている。

定期預金は、預入先の信用リスクに晒されているが、預入先は信用度の高い銀行である。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①金融商品の取引は、当法人の資金運用規則に基づき行っている。

②信用リスクの管理

有価証券については、発行体の財務状況や格付機関による格付状況を定期的に把握し、理事会等に報告している。

③市場リスクの管理

有価証券については、時価を定期的に把握し、理事会等に報告している。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 内 容 | 金 額 |
|--------------------------|---------------|
| 経常収益への振替額 | |
| 基本財産受取配当金（目的達成による指定解除額） | 2,705,643,044 |
| 基本財産受取配当金（減価償却費計上による振替額） | 4,705,218 |
| 特定資産受取利息（目的達成による指定解除額） | 42,133 |
| 合 計 | 2,710,390,395 |

7. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

| 前 期 末 | | 当 期 末 | |
|------------------|-------------|------------------|-------------|
| 現金預金勘定 | 179,546,395 | 現金預金勘定 | 195,753,625 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 0 | 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 0 |
| 現金及び現金同等物 | 179,546,395 | 現金及び現金同等物 | 195,753,625 |

(2) 重要な非資金取引は以下のとおりである。

| 前 期 末 | 当 期 末 |
|-------|-------|
| — | — |

財 産 目 録

2023年3月31日現在

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---------------|--|--|-----------------------|
| (流動資産) | | | |
| 現金預金 | | | 195,753,625 |
| 現金 | 手元保管 | 運転資金として | 51,178 |
| 普通預金 | 三井住友信託銀行大阪本店営業部 | " | 41,127,143 |
| 普通預金 | 三井住友銀行十三支店 | " | 154,575,304 |
| 前払金 | | | 23,000,000 |
| 前払金 | 三井住友海上火災保険 | 外国人留学研究者対象 海外旅行保険包括契約 前払金 | 3,000,000 |
| 前払金 | 海外研究留学生 | 海外研究留学助成金前払金 | 20,000,000 |
| 流動資産合計 | | | 218,753,625 |
| (固定資産) | | | |
| 基本財産 | | | 72,238,181,032 |
| 現金預金 | | | 15,816,244 |
| 普通預金 | 三井住友信託銀行大阪本店営業部 | 公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。 | 15,816,244 |
| 投資有価証券 | | | 69,205,109,500 |
| 株式 | (武田薬品株)15,306,500株 | | 66,583,275,000 |
| 公益目的事業会計 | 13,711,500株 | 59.6%は公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の共通の財源として使用している。 | 59,645,025,000 |
| 法人会計 | 1,595,000株 | 10.4%は公益目的事業に必要な管理費の財源として使用している。 | 6,938,250,000 |
| 公社債 | | 公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。 | 2,621,834,500 |
| その他債券 | 第131回利付国債(20年) | | 279,275,000 |
| | 第10回利付国債(30年) | | 106,760,000 |
| | 第11回利付国債(30年) | | 270,504,000 |
| | 第143回利付国債(20年) | | 167,415,000 |
| | 第62回利付国債(20年) | | 100,210,000 |
| | 第329回利付国債(10年) | | 250,525,000 |
| | 第333回利付国債(10年) | | 246,739,500 |
| | 第151回利付国債(20年) | | 430,040,000 |
| | 第152回利付国債(20年) | | 107,480,000 |
| | 第155回利付国債(20年) | | 146,874,000 |
| | 第157回利付国債(20年) | | 378,280,000 |
| | 第181回利付国債(20年) | | 137,732,000 |
| 図書資料 | | 公益目的保有財産であり、本章医書公開事業に供している不可欠特定財産である。 | 3,017,255,288 |
| | | (公益認定前取得額合計) | 2,041,811,323 |
| | 本草関係書類 | (故) 武田長兵衛氏 寄贈 2,488部 | 409,230,000 |
| | 東洋学善本 | (故) 武田長兵衛氏 寄贈 1,337部 | 570,816,000 |
| | 本草・医書・関係書籍 | 武田薬品工業(株) 寄贈 16,586部 | 339,860,500 |
| | 医家墨蹟類 | 武田薬品工業(株) 寄贈 589点 | 23,745,000 |
| | 医療器具類 | 武田薬品工業(株) 寄贈 150点 | 3,700,000 |
| | 武田家文書 | 武田家 寄贈 2,396部 | 232,500 |
| | 村上文書 | 武田家 寄贈(書状5,000通合) 909部 | 8,990,000 |
| | 洗心文庫追加 | 武田家 寄贈 195部 | 154,935,000 |
| | 羽田文庫 | 武田家 寄贈 758部 | 62,000,000 |
| | 医書関係書籍 | 1978年度購入阿知波文庫 1333部 | 8,665,350 |
| | 医書関係書籍 | 1991年度購入 4部 | 1,313,250 |
| | 半井家本医心方 | 1992年度購入 8部 | 236,900 |
| | Siebold's Florilegium of Japanese Plants | 1994年度購入 5部 | 937,300 |
| | 未版 経史證類備急本草 | 1997年度購入 5部 | 203,940 |
| | 中葉大辞典 | 1999年度購入 5部 | 308,700 |
| | 本草図譜 | 1999年度購入 1部 | 506,520 |
| | 東洋医学書善本叢書 | 2000年度購入 20冊 | 681,345 |
| | 本草肉摺 | 2000年度購入 4帙23冊 | 8,925,000 |
| | 黄帝内経素問診解他 | " | 29冊 873,600 |
| | 医心方続編 | 2000年度購入 12冊 | 488,250 |
| | 萬金産業袋 | 2001年度購入 5冊 | 189,000 |
| | 中国本草全書 | 2001~2002年度購入 411冊 | 8,908,333 |
| | 金陵本 本草綱目 | 2002年度購入 7 | 236,250 |
| | 「蘭」川澄理三郎彩色肉筆画 | 2002年度購入 109枚 | 1,260,000 |
| | BOTANICAL CABINET | " | 20冊2000枚 4,725,000 |
| | HOOKEE'S EXOTIC FLORA | " | 3冊233枚 892,500 |
| | THE BOTANICAL REGISTER | 2003年度購入 34冊 | 7,875,000 |
| | 鴻寶秘要抄 | " | 1冊 682,500 |
| | 続添鴻宝秘要抄抜書 | " | 1冊 262,500 |
| | 江馬榴園書状集 | 2003年度購入 1冊 | 357,710 |
| | 衍義本草 | 2004年度購入 21冊 | 9,450,000 |
| | 医方大成 | " | 5冊 2,100,000 |
| | 医林類証集要 | " | 20冊 4,200,000 |
| | 世医得効方 | " | 20冊 4,200,000 |

図書資料

| | | | |
|--|-----------------------|--------|-------------|
| 植物誌のナニ図書館 歳本ワカシ版 | 2005年度購入 | 1冊 | 1,197,000 |
| 補遺雷公炮製便覧 | " | 13冊 | 350,000 |
| 東洋医学雑誌復刻彙書 | " | 8冊 | 257,250 |
| 常陸文庫 | " | 571部 | 74,970,000 |
| Grondbeginselen der scheikunde door A. L. Lavoisier | 2006年度購入 | 1部 | 2,200,000 |
| 長崎西家由緒書 | " | 1冊 | 252,000 |
| 野間玄珠書状 | " | 1冊 | 170,000 |
| 奈須玄忠・玄竹書状集 | " | 1冊 | 420,000 |
| 帆足万里書状 | " | 1冊 | 252,000 |
| 権田直助書状集 | " | 1冊 | 220,000 |
| ヘボン氏手術図以下 | 2007年度購入 | 126点 | 22,050,000 |
| キニホフ植物印影図譜 | " | 1冊 | 4,200,000 |
| 本草品彙精要写本 | " | 6冊 | 367,500 |
| 松本文庫 | 2008年度購入 | 207点 | 126,000,000 |
| 一神論・序聴迷詩所経 | " | 2巻 | 577,500 |
| 曲直瀬道三自筆啓迪集 | " | 2冊 | 7,000,000 |
| 森鷗外書簡巻 | " | 1通 | 1,400,000 |
| ベルセリウス：化学教書 | " | 6冊 | 660,000 |
| エウスタキオ画：解剖図表 | " | 1冊 | 450,000 |
| 森鷗外自筆書簡 | 2009年度購入 | 1通 | 1,489,000 |
| 香葉抄 | " | 1冊 | 7,896,000 |
| 小関仁一郎書簡巻 | " | 1巻 | 300,000 |
| Molecular Structure of Nucleic Acids, Nature 171:1~3, 1953 Watson JD and Crick FHC他 | " | 19冊 | 15,579,900 |
| 二宮文庫 | " | 268点 | 52,500,000 |
| 医方考 | 2010年度4月~11月購入 | 6冊 | 4,800,000 |
| 意伝抄 | " | 1冊 | 360,000 |
| ローベル：草木誌 | " | 1冊 | 2,173,500 |
| ラノウ：博物陳列室 | " | 1冊 | 282,555 |
| シヨメル：家政事典 初版（フランス語） | 2010年度4月~11月購入 | 1冊 | 724,500 |
| 田中彌性園文庫 | " | 700点 | 65,724,750 |
| 沢庵宗彭自筆刺針要致 | " | 1巻 | 1,260,000 |
| 配済録他 | " | 3冊 | 1,462,960 |
| 医心方提要他 | " | 13冊 | 2,276,960 |
| | (以上、公益認定前取得) | | |
| | (以下、公益認定後取得) | | |
| | (公益認定後取得額合計) | | 975,443,965 |
| 方業順次要 | 2010年度1月購入 | 3冊 | 262,500 |
| lenec Stethoscope. c. 1819 | 2010年度1月購入 | 1冊 | 1,575,000 |
| 森鷗外草稿 | 2011年度購入 | 2冊 | 615,980 |
| 石原保秀文庫 | 2011年（財）日本漢方医学研究所より寄附 | 2384冊 | 44,231,250 |
| 新編俗解八十一難経図要 | 2011年度購入 | 1冊 | 1,200,000 |
| 解剖学蘭訳初版 | " | 1冊 | 6,500,000 |
| 小曾戸文庫 | " | 1802点 | 261,092,470 |
| Ontleding des Menschelyken | " | 1冊 | 1,995,000 |
| 外科学入門 | " | 1冊 | 367,500 |
| トーマス・バルトリン「解剖学」 | " | 1冊 | 262,500 |
| 師弟問答 | " | 1冊 | 4,500,000 |
| 曲直瀬道三書状 | " | 1冊 | 650,000 |
| 合葉直伝集 | " | 1冊 | 350,000 |
| 岡本玄治書状 | " | 1部 | 157,500 |
| 方肥劑 | " | 1冊 | 340,980 |
| 古医書写本 | " | 9冊 | 560,980 |
| 医学正伝 | " | 8冊 | 945,980 |
| 證類本草序列 | " | 1冊 | 2,250,000 |
| ショル：日用百科事典 | 2012年度購入 | 16冊 | 1,575,000 |
| ハットゥン：リンネの体系にもとづく自然誌 | " | 37冊 | 2,100,000 |
| マルチット：自然の教理問答 | " | 4冊 | 81,900 |
| バスター：科学の楽しみ | " | 1冊 | 441,000 |
| シュアレンゲル：植物学入門 | " | 3冊 | 126,000 |
| ジャウリン：植物学入門 | " | 1冊 | 79,800 |
| デハニス：王立植物園での実演による血液循環および 新発見に基づく人体の解剖 | " | 1冊 | 56,133 |
| 橋本高秀静山、建吉巨梅、宗建和山、高連峽山像 | " | 4幅対 | 100,000 |
| 浅田栗園先生母堂栗園宛消息 | " | 4通 | 85,000 |
| 鈴木松塘・菜園 浅田栗園宛書簡他 | " | 26通 | 250,000 |
| 長崎医師笠戸正胤・西道仙 浅田栗園宛書簡他 | " | 10通 | 200,000 |
| 名家書簡 | " | 46通54紙 | 2,625,000 |
| マリン：哲学教師または現代実験自然学概説 | " | 1冊 | 94,500 |
| 医学正伝 | " | 8冊 | 7,500,000 |
| 奥田・藤平文庫 | " | 668点 | 13,760,460 |
| 古文孝経 | " | 1巻 | 12,055,970 |
| 神農皇帝真伝灸図 | " | 1冊 | 285,990 |
| 校正本 救荒本草・救荒野譜 | " | 3冊 | 395,990 |
| 草之名集 秋之部 | " | 1冊 | 175,990 |
| 新刊 大観本草 | " | 20冊 | 1,759,990 |
| 日本植物図譜 | " | 1冊 | 1,088,990 |

図書資料

| | | | |
|---|----------|-------|-------------|
| 察病指南 | " | 1冊 | 285,990 |
| 意伝普救録 | " | 1冊 | 285,990 |
| 節斎漫録 | " | 3冊 | 2,210,990 |
| 大成論抄 | " | 1冊 | 340,990 |
| 禽獸魚介蟲図譜 | " | 4冊 | 1,759,990 |
| 医家本草家書状 | " | 1巻 | 420,000 |
| 大塚修琴堂文庫 | " | 2985点 | 139,987,890 |
| 中西深斎 尺牘 | 2013年度購入 | 1軸 | 380,000 |
| 曲直瀬道三自筆所持本 醫方大成論・宜禁本草 | " | 2冊 | 9,000,000 |
| 素問入式運氣論奥 | " | 1冊 | 3,500,000 |
| 重修政和經史證類備用本草（卷十五～十七） | " | 1冊 | 252,000 |
| 吉雄辛作・俊蔵書簡 | " | 1巻 | 420,000 |
| 江馬春齡・蘭斎書簡 | " | 1巻 | 330,000 |
| ターヘル・アナトミア | " | 1冊 | 290,200 |
| 日本医史学会文庫 | " | 38点 | 7,980,500 |
| 大阪華岡塾合水堂文庫 | " | 319点 | 42,765,760 |
| レメリン「小宇宙図譜」ラテン語&オランダ語 第3版 | 2014年度購入 | 1冊 | 1,296,000 |
| 刈谷藩士本草学者穴戸昌 自筆文書 | " | 12冊 | 525,000 |
| 伊藤（圭介・延吉・篤太郎）家伝来文書 | " | 9幅 | 5,450,000 |
| 射駒山観花書画 | " | 1巻 | 270,000 |
| 蘭腕摘芳草稿 | " | 1冊 | 1,700,000 |
| 大阪華岡塾合水堂文庫 | " | 12点 | 20,422,500 |
| 本間玄調肖像 | " | 1幅 | 315,000 |
| ニーランド「ネーデルラント薬用草木誌」 | 2015年度購入 | 1冊 | 540,000 |
| クルムス「ターヘル・アナトミア」 | " | 1冊 | 3,078,000 |
| 難波抱節自筆稿本・旧蔵写本・版本一括 | " | 21冊 | 367,500 |
| 二十八宿三微垣並星象畧図 | " | 1冊 | 84,000 |
| 家宝全書・清嘉録・医謬正俗難波抱節自筆本 | " | 7冊 | 148,500 |
| 解体新書 | " | 5冊 | 4,000,000 |
| 古文孝経 | " | 1冊 | 8,500,000 |
| 玉機微義 | " | 12冊 | 6,500,000 |
| 杉立文庫 | " | 26点 | 5,990,560 |
| 古訓医伝薬能方法辨 | " | 5冊 | 36,750 |
| 傷寒論国字辨 | " | 1冊 | 31,500 |
| 傷寒論辨正 | " | 1冊 | 15,750 |
| 傷寒外伝 | " | 1冊 | 42,000 |
| 五書別巻 | " | 1冊 | 63,000 |
| 傷寒論識 | " | 6冊 | 15,750 |
| 傷寒論特解 | " | 1冊 | 73,500 |
| 家刻傷寒論 | " | 1冊 | 63,000 |
| 傷寒貫珠集 | " | 1冊 | 73,500 |
| 喻嘉言先生傷寒尚論篇全書 | " | 1冊 | 63,000 |
| 金匱正辨 | " | 1冊 | 10,500 |
| 傷寒論劉氏伝 | " | 1冊 | 15,750 |
| 傷寒論權義 | " | 1冊 | 94,500 |
| 傷寒論大意 | " | 1冊 | 31,500 |
| キニホフ「Botanica in Originali Pharmaceutica」 | " | 1冊 | 997,207 |
| 温知堂文庫 | " | 619点 | 19,440,000 |
| 解体新書 | " | 5冊 | 3,591,000 |
| 經史證類大観本草 | " | 25冊 | 1,200,000 |
| 本間玄調松延定雄（松延年）往復書簡・青山延光本 | 2016年度購入 | 2巻 | 210,000 |
| 問玄調宛書簡 | " | 1冊 | 31,500 |
| 千魚一観録 | " | 1冊 | 31,500 |
| 小曾戸文庫 | " | 632点 | 80,935,050 |
| スメリー「産科学解剖図録」 | " | 1冊 | 1,404,000 |
| 時選説我書捷見 | " | 1冊 | 270,000 |
| 参製口訣稿本 二種 | " | 2冊 | 270,000 |
| 宋本素問版心文字録 | " | 1冊 | 162,000 |
| 遊仙窟 | " | 1冊 | 270,000 |
| 劉向新序 十巻 | " | 2冊 | 432,000 |
| 素女妙論 | " | 1冊 | 64,800 |
| 素女妙論 | " | 1冊 | 37,800 |
| 黄素之妙論 | " | 1冊 | 129,600 |
| 黄素妙論 | " | 1冊 | 129,600 |
| 釋系付釋麻 | " | 1冊 | 210,000 |
| 東大寺古文書 | " | 1幅 | 105,000 |
| 多紀元簡自画像 | 2017年度購入 | 1幅 | 70,000 |
| 医心方 | " | 30冊 | 3,240,000 |
| 三医聖画像（三幅対） | " | 3幅 | 54,000 |
| 黄帝秘要良方 | " | 1冊 | 270,000 |
| 扁鵲倉公列伝剖解 | " | 1冊 | 162,000 |
| 傷寒論述義 | " | 1冊 | 378,000 |
| 業雅 | " | 1冊 | 194,400 |
| 新刊京本活人心法 | " | 1冊 | 486,000 |
| 増修無冤録大全 | " | 1冊 | 216,000 |
| 医学院学範 第一編三巻 | " | 3冊 | 31,500 |
| 温疫論 | " | 2冊 | 8,400 |
| 温疫論私評 | " | 2冊 | 36,750 |

図書資料

| | | | |
|-------------------------------------|------------|------|------------|
| 華氏解剖摘要九卷 | " | 2冊 | 42,000 |
| 金鶏医談 | " | 1冊 | 31,500 |
| 種痘傳習録 | " | 1冊 | 31,500 |
| 内科新説 | " | 3冊 | 6,300 |
| 博物新編 三刻 | " | 3冊 | 5,250 |
| 京都典薬寮医師大野家旧蔵資料 | " | 一括 | 840,000 |
| 杉田玄白肖像画 | " | 1幅 | 20,000 |
| 神農像 | " | 1幅 | 80,000 |
| 神農像 附肖像木版画 | " | 2幅 | 150,000 |
| ルードヴィヒ「植物学講義」初版 | " | 1冊 | 248,400 |
| 嘗一学士入余門云々 | " | 1軸 | 550,000 |
| 伊藤圭介葉書・書状 | 2018年度購入 | 一括 | 150,000 |
| 長井長義朝鮮視察時写真帖 | " | 1冊 | 105,000 |
| 察病指南 室町中期刊 五山版 | " | 1冊 | 10,800,000 |
| 羽田文庫 | " | 116点 | 40,503,750 |
| 察病指南 | " | 1冊 | 126,000 |
| 養生月覧 | " | 1冊 | 63,000 |
| 香川修徳書状 | " | 1通 | 30,240 |
| 富士川藩書 | " | 1幅 | 108,000 |
| 列仙傳巻物 (小曾戸文庫追加) | 小曾戸 洋 氏 寄贈 | 2巻 | 2,835,000 |
| 神農図 月巻画 | 2019年度購入 | 1幅 | 48,600 |
| 三医神像 | " | 1幅 | 108,000 |
| 神農像 様同斉筆 | " | 1幅 | 84,240 |
| 張仲景像 吉益北洲画并題 | " | 1幅 | 130,600 |
| 新宮涼閣コレラ病詩 | " | 1幅 | 62,640 |
| 北山寿安医事消息 | " | 1幅 | 175,987 |
| 京都医塾有功館門人姓名録並由緒書 | " | 1組 | 153,986 |
| 月巻画 三国志治療之図 | " | 1幅 | 175,987 |
| ヨンケル「瑞穂草」 | " | 3冊 | 183,600 |
| シヨイベ「日本における病気の臨床所見」 | " | 1冊 | 64,800 |
| シヨイベ「日本人の脚気」 | " | 1冊 | 84,240 |
| 田代玄快肖像画幅 | " | 1幅 | 28,000 |
| 増地長喬肖像画幅 | " | 1幅 | 4,400 |
| 増地長喬肖像画幅 | " | 1幅 | 3,600 |
| 切紙下巻 | " | 1冊 | 32,000 |
| 浅田宗伯書簡 | " | 1通 | 220,000 |
| 頼松庵肖像画幅 | " | 1幅 | 20,000 |
| スメリー「産科論」初版 | " | 1冊 | 594,000 |
| 新刊万病回春 | " | 5冊 | 1,660,983 |
| 大坂狭山藩医笠原玄策・浅田宗伯他書簡 | " | 1巻 | 725,987 |
| ツェンベリ「ヨーロッパ、アフリカ、アジア旅行記 1770-1779年」 | " | 4冊 | 682,000 |
| 延寿帯効用略記 | " | 1冊 | 8,900 |
| 矢数家所蔵温知社及び浅井家遺品 | " | 37点 | 9,555,000 |
| 結壘居別集序 | " | 1巻 | 220,000 |
| 神農像掛軸 (小曾戸文庫追加) | 小曾戸 洋 氏 寄贈 | 4幅 | 698,250 |
| 各務小木骨 | 2020年度購入 | 一括 | 7,700,000 |
| カウパー「人体解剖図説」ラテン語初版 1739年 | " | 1冊 | 1,650,000 |
| ライデン刊 | " | 1冊 | |
| 椿庭隨筆 | " | 1冊 | 88,000 |
| 古方類按 | " | 3冊 | 715,000 |
| 学晦堂医話 | " | 2冊 | 220,000 |
| 瘍科広要 巻之一 | " | 1冊 | 495,000 |
| 内科闡微私評 | " | 1冊 | 275,000 |
| 結壘居別集 巻三・四 | " | 1冊 | 385,000 |
| 医範提綱内象銅版図 | " | 1冊 | 395,980 |
| 病草紙 | " | 1巻 | 385,000 |
| オスカンプ等篇「薬用植物図譜」全6巻 | " | 6冊 | 1,430,000 |
| 蘭訳版初版 1796-1800年 | " | | |
| 丸亀尾池家医学関係資料 | " | 9幅1冊 | 4,614,750 |
| 矢数文庫 | " | 54点 | 37,059,750 |
| 敦煌莫高窟秘本一神論殘巻 | " | 1冊 | 198,000 |
| 貴目帖 | 2021年度購入 | 1帖 | 495,000 |
| 仁斎直指 | " | 7冊 | 4,630,983 |
| 寒窓吟嚙 | " | 2冊 | 230,989 |
| 瓊桃集 | " | 1冊 | 340,988 |
| 黄帝内經太素 | " | 1巻 | 49,500,000 |
| 延寿類要 | " | 1冊 | 935,000 |
| 藩本医説抄録 | " | 1冊 | 38,500 |
| 神農図 延寿院橘玄澗画識 | " | 1幅 | 110,000 |
| 福井棟園(晋)遠雁余声五言律詩 | " | 1幅 | 41,800 |
| ヨンストン「動物図説」蘭語版・初版 1660年 | " | 1冊 | 2,420,000 |
| 長野文庫 | " | 28点 | 5,281,500 |
| 読書漫録 | " | 3冊 | 450,980 |
| 多紀元堅 | " | 1幅 | 151,000 |
| 漫遊雜記 巻上 | " | 1冊 | 38,500 |
| 医嚙 欠有 | " | 4冊 | 495,000 |
| 成章堂家蔵方 | " | 1冊 | 71,500 |
| 栗園日抄 | " | 1冊 | 66,000 |
| 栗園録稿并掌記 二 | " | 1冊 | 385,000 |
| 読書漫録 巳 | " | 1冊 | 220,000 |
| ロツテルタム薬局方第3版1736年 | " | 1冊 | 242,000 |
| 浅田恭祝書簡 | " | 1通 | 13,000 |
| 森立之書簡 | " | 1通 | 84,000 |
| ブラッハ「ベルギー薬局方の調剤帳」初版 1829年 | " | 1冊 | 242,000 |

| | | | | |
|------------------|---|--|--|---|
| | 和智新妻文庫医学関係書 和智・新妻文庫 瘟疫論刊誤 巻四 延寿院家丸散方・山科家丸散方 栗園脱稿 浅田宗伯伝記（付中野康章身上資料） 神農像刀剣柄頭 当流酬医頌得 恵徳方 巻三上 ライレッセ「大西法書」（蘭語版）1740年 傷寒論拆義 五冊・皇朝医叢統篇 一冊 刀眼録 神農本経記聞 曲直漸玄鑑書状 曲直漸玄澗書状 小野蘭山書状 福井恒斎書幅 本草関係写本 中野康章資料 医心方 ゴルテル「新精選外科学」（蘭訳・第3版）1762年 格致餘論鈔 全五巻 升采丹製法秘伝 浅田宗伯書幅 神農図 三好退蔵書簡巻 佐伯理一郎宛4通 司馬凌海書幅 白澤図 ウインスロウ「人体構造の記述解剖学」初版 1732年 バリ刊 | ” 2022年度購入 | 一括 263点 1冊 2巻 1冊 6冊(付1冊2枚) 1組 1冊 1冊 洋1冊 6冊 4冊 3冊 1幅 1幅 1通 1幅 32冊一括 1箱一括 19冊 1冊 5冊 1冊 2幅 1幅 1巻 1幅 1幅 洋1冊 | 539,170 10,783,500 330,000 153,988 593,985 285,987 316,500 192,585 170,385 220,000 454,989 888,000 300,699 333,000 333,000 322,998 222,111 454,989 367,299 4,400,000 363,000 100,000 25,000 170,000 63,000 70,000 73,500 60,000 550,000 |
| 特定資産 | | | | 21,703,852,440 |
| 助成基金 | | | | 16,985,130,323 |
| 普通預金 | 三井住友信託銀行大阪本店営業部 | 公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。 | 31,254,723 | |
| 定期預金 | 三井住友信託銀行大阪本店営業部 | 公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。 | 800,000,000 | |
| 投資有価証券 | | 公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。 | 16,153,875,600 | |
| 株式 | 武田薬品(株) 2,605,356株 | | 11,333,298,600 | |
| 公社債 | | | 4,820,577,000 | |
| その他債券 | 第11回利付国債(30年) 第137回利付国債(20年) 第139回利付国債(20年) 第141回利付国債(20年) 第148回利付国債(20年) 第149回利付国債(20年) 第151回利付国債(20年) 第152回利付国債(20年) 第155回利付国債(20年) 第157回利付国債(20年) 第8回東京電力パワーグリッド債 第25回東京電力パワーグリッド債 第39回東京電力パワーグリッド債 第515回関西電力債 第484回九州電力債 第489回九州電力債 第404回中国電力債 第227回神奈川県公債 第471回大阪府公債 北海道令和2年度第21回公募公債 広島県令和3年度第5回公募公債 | | 169,065,000 224,920,000 669,360,000 225,060,000 443,440,000 110,860,000 322,530,000 214,960,000 104,910,000 283,710,000 199,040,000 199,460,000 99,190,000 198,160,000 97,140,000 388,360,000 296,310,000 90,072,000 386,400,000 49,060,000 48,570,000 | |
| 杏雨基金 | | | | 248,636,558 |
| 普通預金 | 三井住友信託銀行大阪本店営業部 | 公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。 | 1,432,558 | |
| 公社債 | | | 247,204,000 | |
| その他債券 | 第152回利付国債(20年) | 公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。 | | |
| 資産取得資金 | | | | 268,337,000 |
| 現金預金 | 公益目的事業会計 | 公益目的事業の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。 | 262,917,000 | |
| 現金預金 | 法人会計 | 管理業務の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。 | 5,420,000 | |
| 寄附者指定特定基金 | | | | 4,092,497,997 |
| 現金預金 | 公益目的事業会計 | 公益目的保有財産であり、寄附者から指定された基金として公益目的事業及び公益目的事業に必要な管理業務の財源として使用している。 | 1,285,562,701 | |
| 現金預金 | 法人会計 | | 2,806,935,296 | |
| 建物 | 公益目的事業会計 | | 109,250,562 | |
| | 新南館書庫 | 公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。 | 109,250,562 | |
| その他固定資産 | | | | 169,776,516 |
| 建物 | | | 67,329,291 | |
| 公益目的事業会計 | 道修町ビル | 公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。 | 12,761,565 | |
| 法人会計 | 道修町ビル | 公益目的事業に必要な管理業務に使用している。 | 54,567,726 | |

| | | | | |
|-----------|---------------------|--|---------------------------------------|----------------|
| 什器備品 | | | | 83,399,751 |
| 公益目的事業会計 | | | | 81,879,027 |
| | 自動化書庫装置一式 | | 公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の什器備品として使用している。 | 76,952,466 |
| | 道修町ビル1F展示室備品 | | " | 505,063 |
| | 道修町ビル4F 書架 | | " | 2,474,910 |
| | 奨学助成事業DVD | | 公益目的保有財産であり、奨学助成事業の什器備品として使用している。 | 294,938 |
| | サーバー1台 | | " | 1,651,650 |
| 法人会計 | | | | 1,520,724 |
| | サーバー1台 | | 公益目的事業に必要な管理業務に使用している。 | 226,908 |
| | サーバーラック | | " | 343,507 |
| | 武田科学振興財団DVD | | " | 950,309 |
| ソフトウェア | | | | 18,997,474 |
| 公益目的事業会計 | 研究助成システム | | 公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。 | 12,291,883 |
| 公益目的事業会計 | 自動化書庫関連システム | | 公益目的保有財産であり、本草医書公開事業のソフトウェアとして使用している。 | 563,201 |
| 公益目的事業会計 | 外国人留学助成支援システム | | 公益目的保有財産であり、奨学助成事業のソフトウェアとして使用している。 | 364,009 |
| 法人会計 | 公益法人会計システム、財団Webサイト | | 公益目的事業に必要な管理業務のソフトウェアとして使用している。 | 5,778,381 |
| 保証金 | | | | |
| 法人会計 | セコム警備保証金 | | 公益目的事業に必要な管理業務に使用している。 | 50,000 |
| 固定資産合計 | | | | 94,111,809,988 |
| 資産合計 | | | | 94,330,563,613 |
| (流動負債) | | | | |
| 未払金 | | | | 11,936,104 |
| 未払金 | 有限責任監査法人トーマツ | | 監査費用未払分 | 2,200,000 |
| | 常勤役員に対するもの | | 給与未払分 | 1,564,000 |
| | 職員に対するもの | | 給与未払分 | 3,426,900 |
| | インドネシア武田 | | 外国人留学助成40周年記念事業 未払分 | 4,745,204 |
| 未払費用 | | | | 1,162,556 |
| 未払費用 | 常勤役員・職員に対するもの | | 給与・期末手当 福利厚生費未払分 | 1,162,556 |
| 預り金 | | | | 1,790,178 |
| 預り金 | | | 住民税の預り金 | 267,500 |
| | | | 給与・期末手当等 所得税 預り金 | 973,885 |
| | | | 給与・期末手当 社会保険預り金 | 548,793 |
| 流動負債合計 | | | | 14,888,838 |
| (固定負債) | | | | |
| 役員退職慰労引当金 | 役員に対するもの | | 常勤理事に対する退職慰労金の支払に備えたもの | 6,095,500 |
| 退職給付引当金 | 職員に対するもの | | 職員に対する退職金の支払に備えたもの | 8,427,000 |
| 固定負債合計 | | | | 14,522,500 |
| 負債合計 | | | | 29,411,338 |
| 正味財産 | | | | 94,301,152,275 |

独立監査人の監査報告書

2023年 4月 20日

公益財団法人武田科学振興財団

理 事 会 御 中

有限責任監査法人トーマツ
大 阪 事 務 所

指定有限責任社員 公認会計士 高 見 勝 文
業務執行社員

<財務諸表等監査>

監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）、キャッシュ・フロー計算書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが

含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2023年3月31日現在の2022年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査報告書

2023年5月9日

公益財団法人 武田科学振興財団

理事長 飯澤 祐史 殿

監事 夏住 要一郎 ㊟

監事 池田 裕彦 ㊟

私たち監事は、当財団の2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法第197条において準用する第99条第1項）並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査計画及び実施した監査手続等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確かめました。

以上の方法によって、当該年度に係る貸借対照表及び正味財産増減計算書（正味財産増減計算書内訳表を含む。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記（以下「財務諸表等」という。）及び財産目録を監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行は、相当であると認めます。

(2) 財務諸表等及び財産目録の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上